

82  
629

高知縣案內









# 計

工 産 物		製 造 数	重 量	価 値
和 紙	其 他			
和紙	其 他	1,011	—	1,011
絹 織 物	其 他	1,011	—	1,011
酒 類	其 他	1,011	—	1,011
砂 糖	其 他	1,011	—	1,011
其 他	其 他	1,011	—	1,011
計	計	1,011	—	1,011

## 高知縣廳

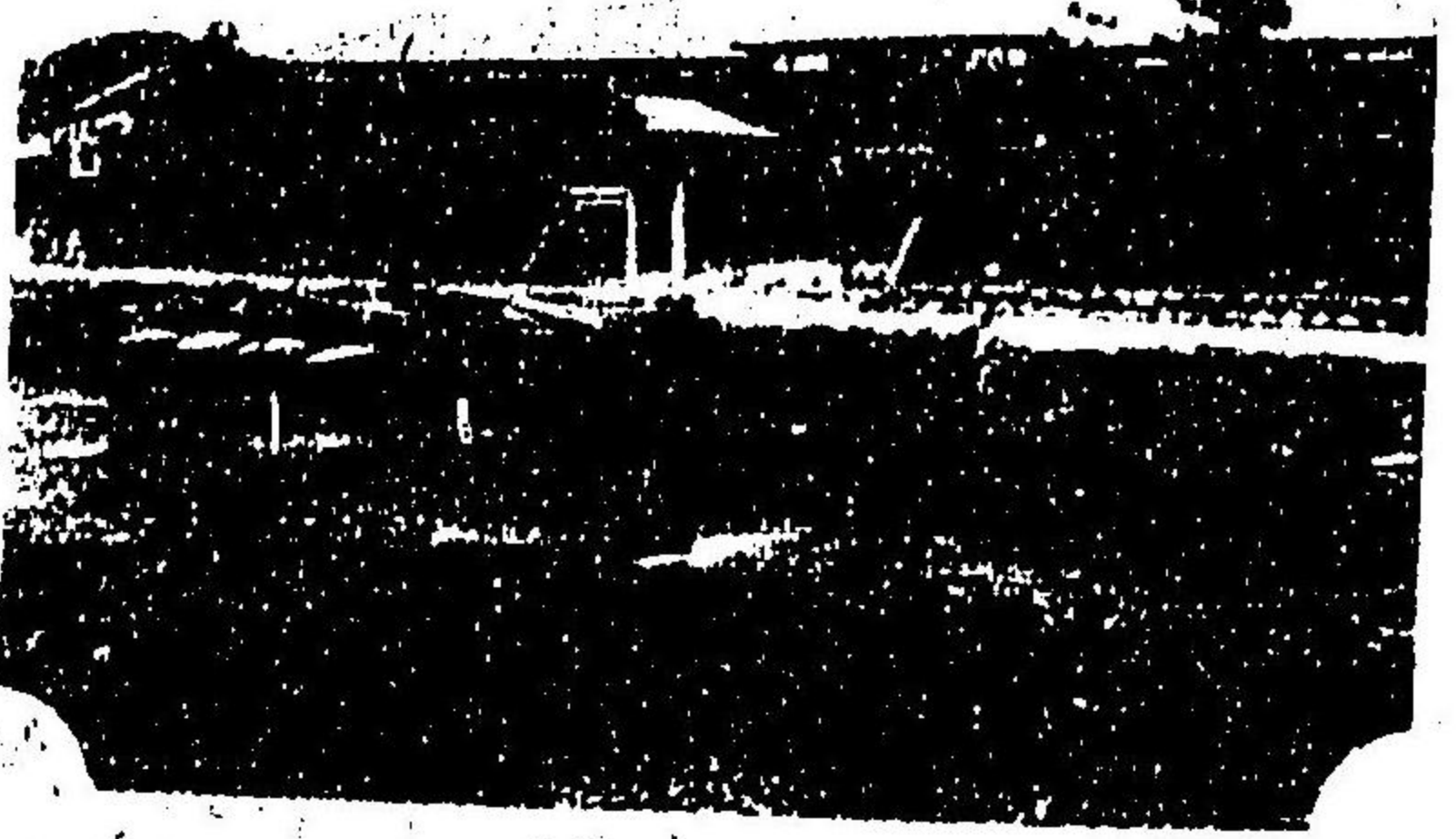
市内帯屋町に在り元と病院  
なりしを此處に移轉し一時  
師範學校中學校等に充てた  
りしが明治十七年より縣廳  
舎に変更し今日に至れり

## 山内侯爵邸

舊藩主山内侯爵邸は市内鷹  
匠町に在り鏡川を控へ湖江  
山を望み邸内廣瀬四圍閑靜  
なり

## 師範學校

土佐郡小高坂村に在り明治  
七年の創立にして數度の變  
遷を経茲に越築せり生徒定  
員四百名とす



# 計

合計 1,000,000  
 市内 800,000  
 市外 200,000

物産		和紙		絹織物		雑貨		その他	
計	1,000,000	200,000	100,000	150,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000
市内	800,000	150,000	75,000	100,000	75,000	75,000	75,000	75,000	75,000
市外	200,000	50,000	25,000	50,000	25,000	25,000	25,000	25,000	25,000

高快線

山内線

南線

市内 800,000  
 市外 200,000  
 合計 1,000,000

縣立第一中學校

市内追手筋に在り明治十一年の創立にして生徒定員六百名とす

縣立中學

海南學校

市内九反田に在り明治九年舊藩主山内家創立し今縣立となれるも經費は同家の寄附に係れり生徒定員四百五十名とす

縣立高等女學校

市内帶屋町に在り明治廿六年創立元と醫學校なりしを後増築せり生徒定員四百五十名とす

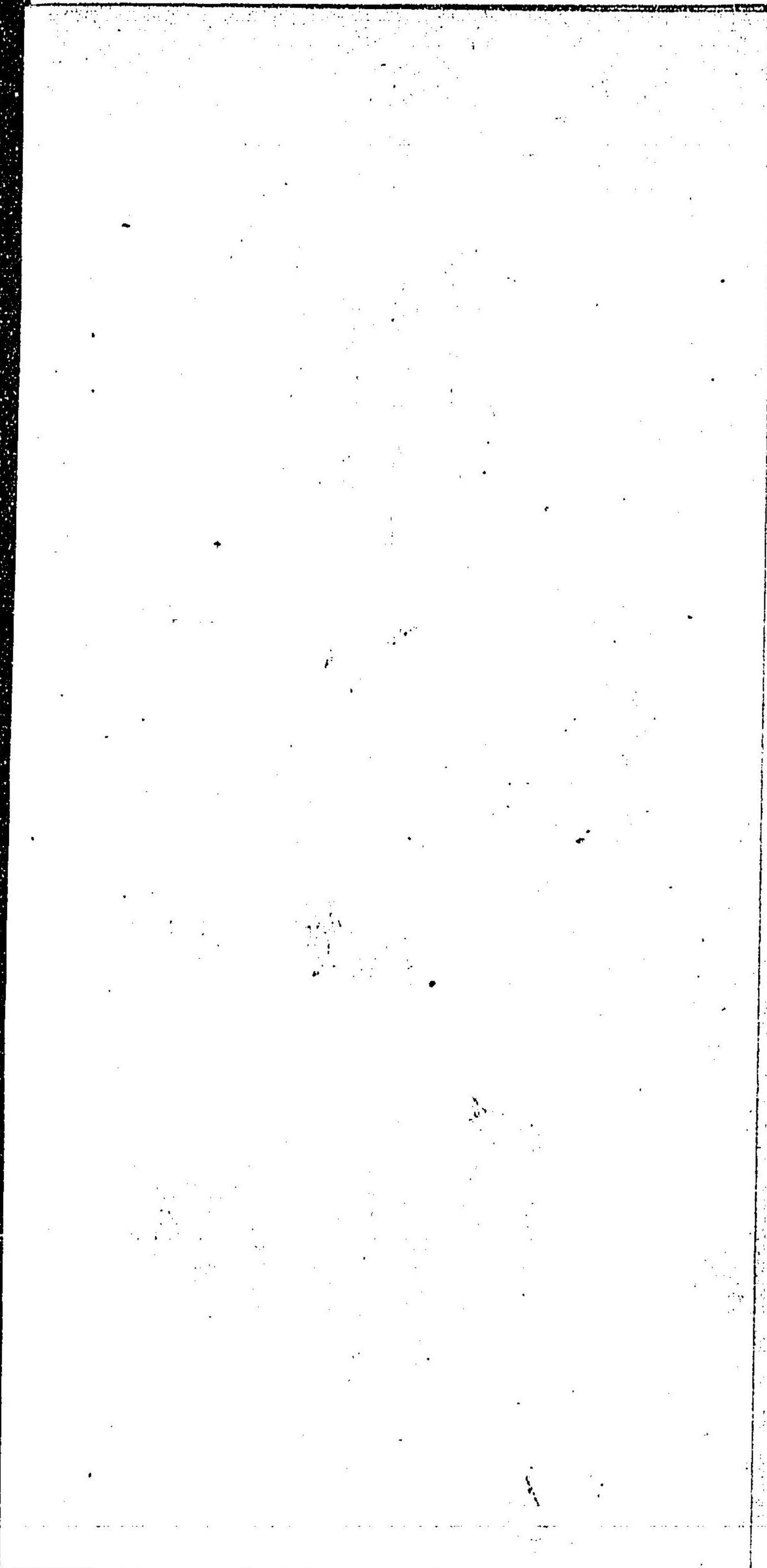


百餘人  
 市の設立して半世紀を  
 市内最年輩の亦り開校十一  
 年  
 設立後一中校

十餘人  
 市の設立して半世紀を  
 市内最年輩の亦り開校十一  
 年  
 設立後一中校

十餘人  
 市の設立して半世紀を  
 市内最年輩の亦り開校十一  
 年  
 設立後一中校





縣立農林學校

市内北門筋に在り明治廿三年の創立にして生徒定員凡百五十名とす

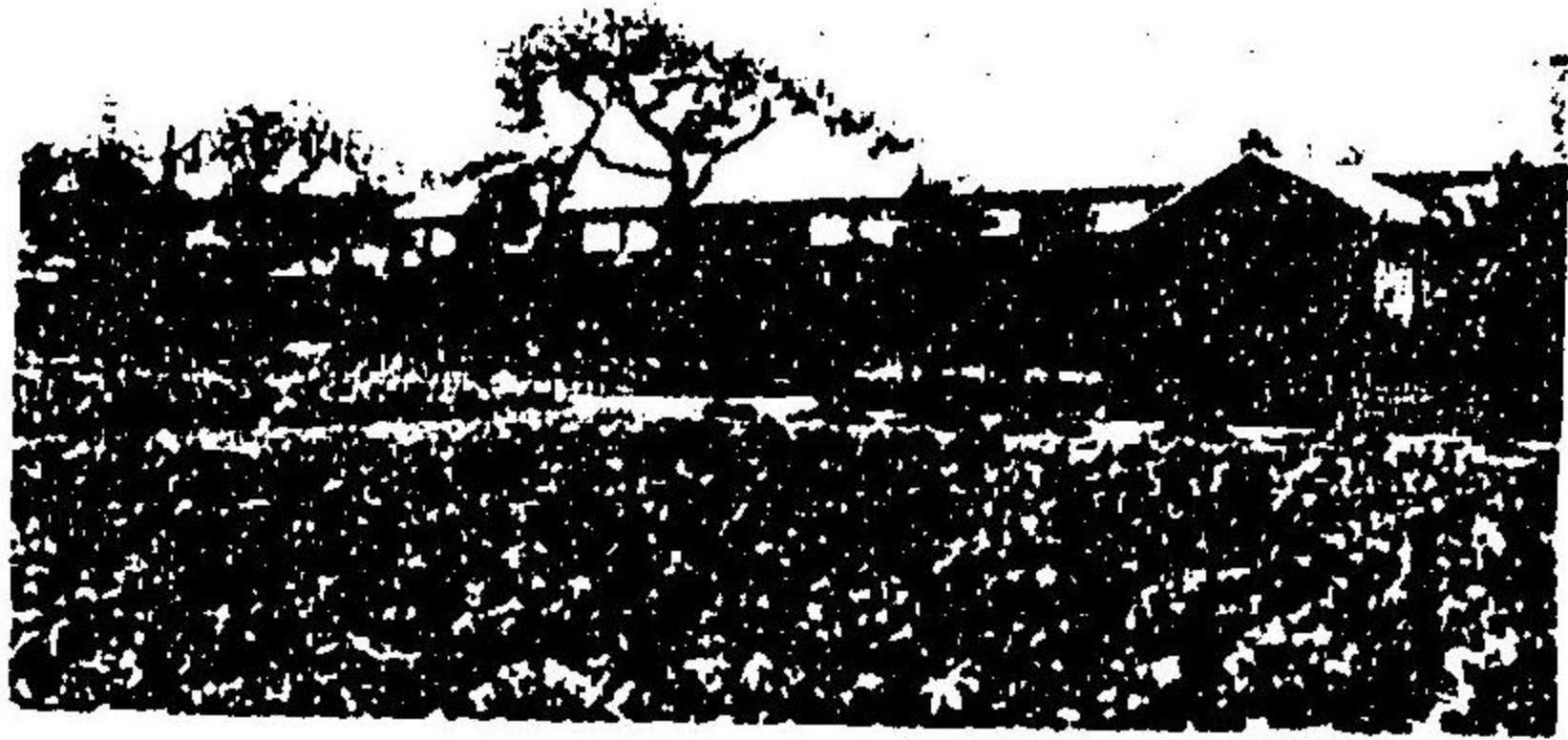
官祭招魂社

長岡郡五箇山村大島岬に在りて殉國の士を祀る社前老樹多く四時の風景亦絶佳なり

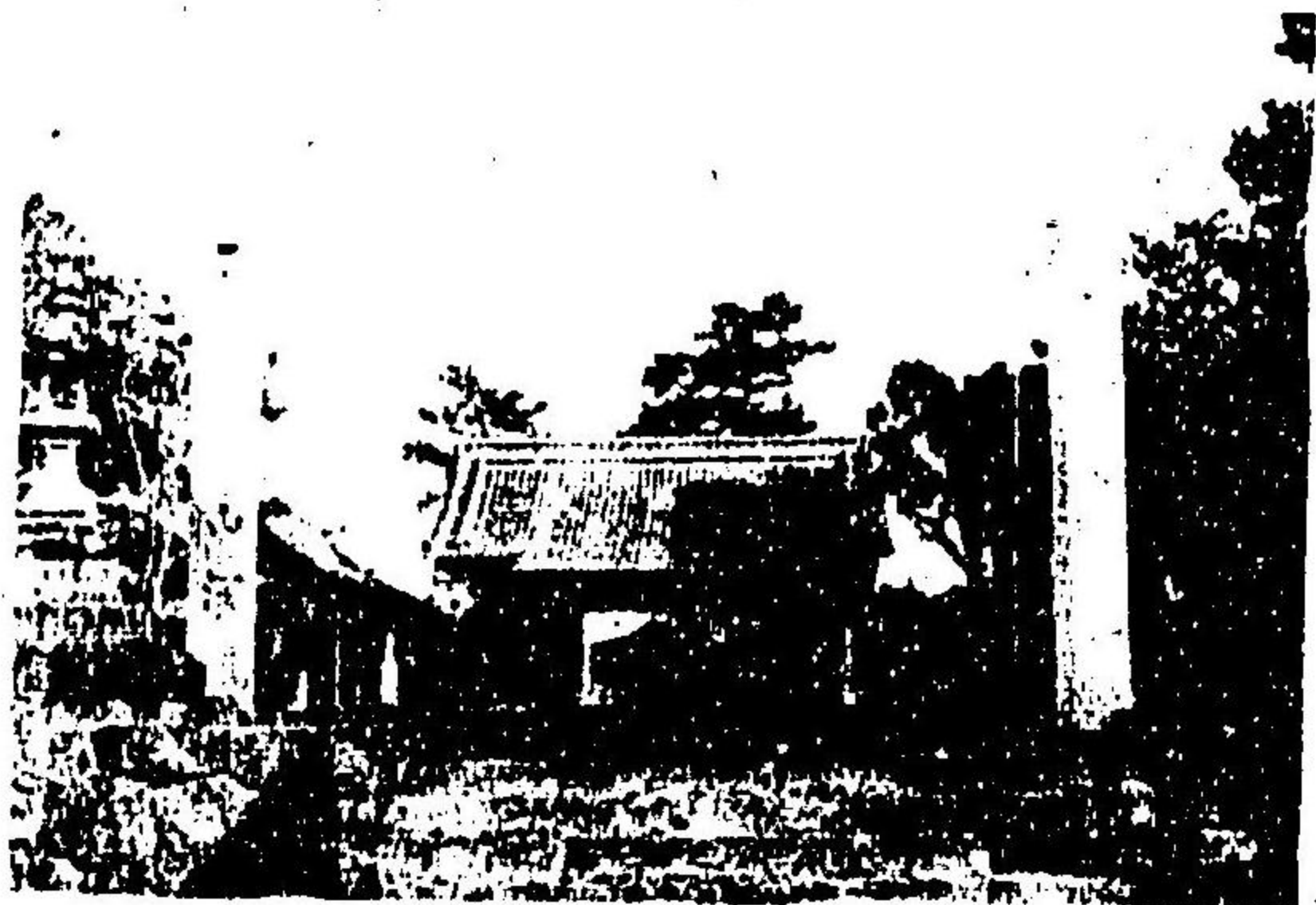
高知公園

附藤並神社

高知公園は舊藩主山内家累代の居城地にして眺眺開濶遠近の風景悉く一眸の裏に落つ公園の傍なる藤並神社には藩祖山内一豊夫妻及二代藩主忠義を合祭せり



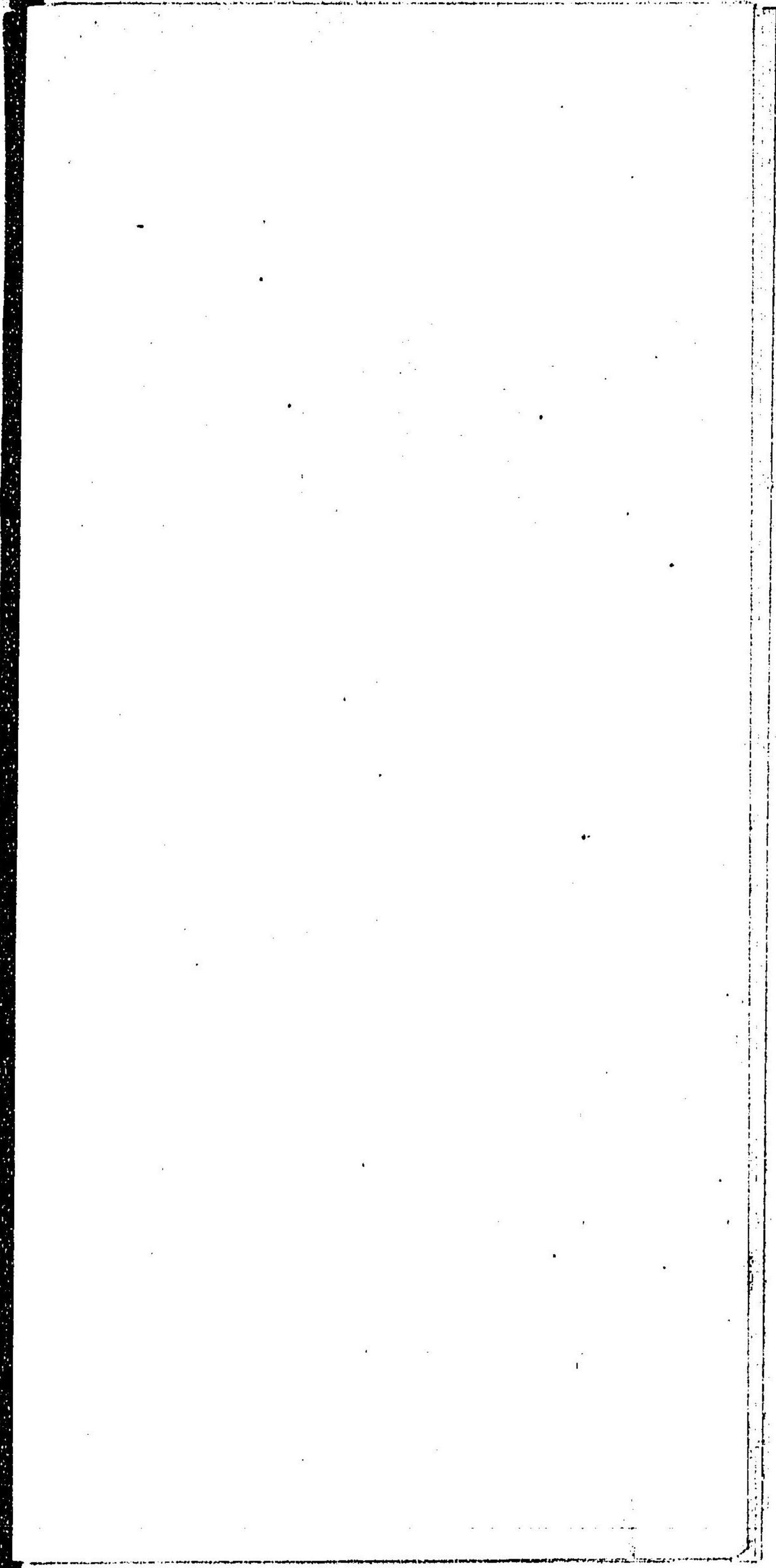
百五十多  
 市の設立にして法政委員  
 市内並四線に於て昭和廿三  
 練立農林學対



り  
 學を以て四種の風物本縣出が  
 りて其國の士を誦と其國を  
 其國正靈山并大島嶼に於  
 官祭跡地也



外縣主忠義水合祭り  
 二に縣内山内一登夫家及二  
 將之公園の樹と縣中轉坂  
 其國の風景を以て一の其  
 外の風景を以て一の其國  
 高城公園の靈靈主山内家  
 其國並轉坂  
 高城公園



### 高知市全景

東南浦戸港に臨み東西約一  
里南北約十町戸數七千九百  
九十一、人口三万六千餘に  
して縣廳所在の地たり

### 國分寺

長岡郡國府村に在り本尊は  
千手觀音にして聖武帝の御  
代僧行基に命じ建立せしめ  
給ひし古刹なり本堂須彌壇  
は足利時代の建築にて内務  
省保護建造物となれり

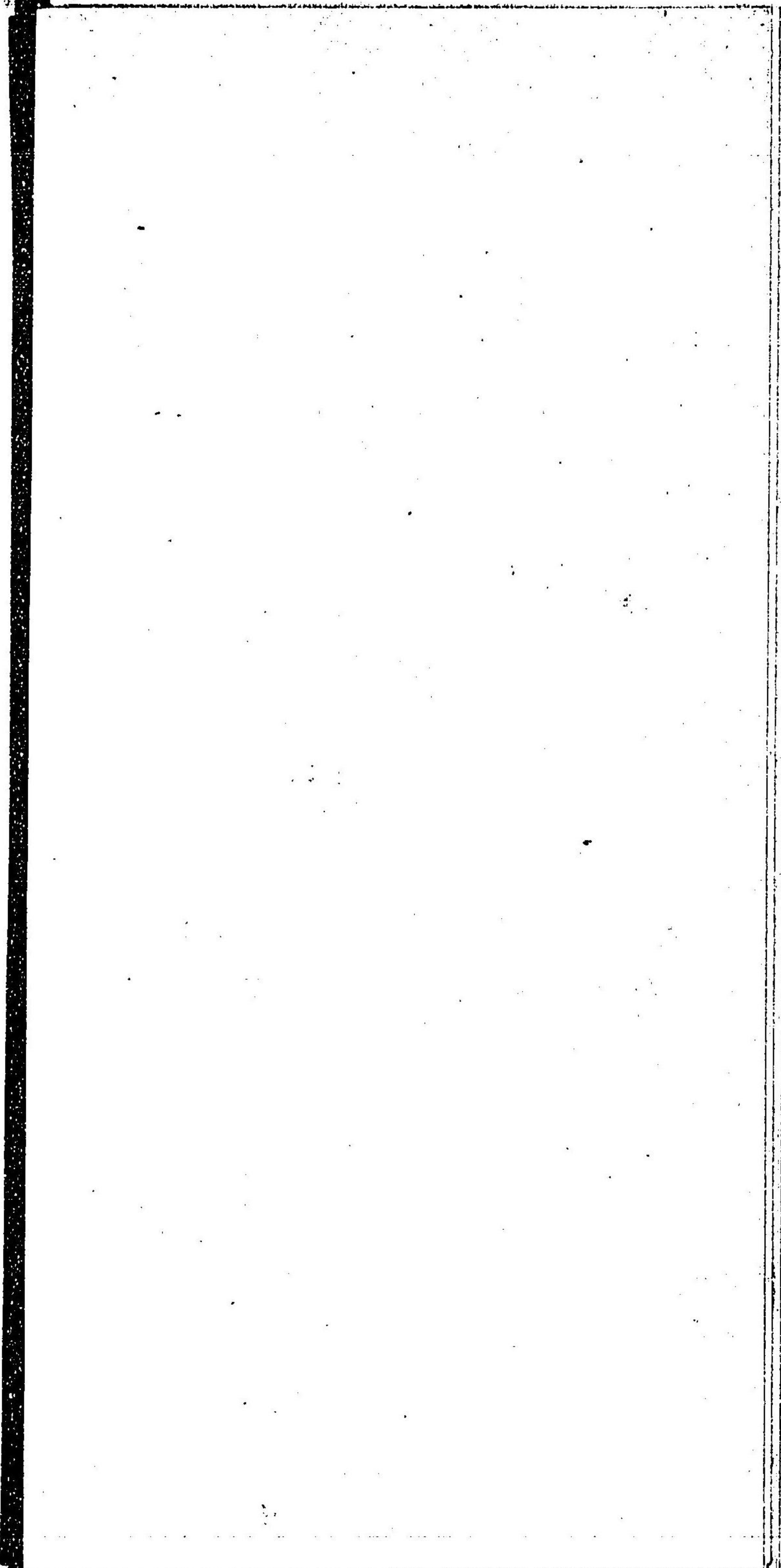


丁 縣廳所在地の概況  
 六十一、人口三万六千餘  
 里南非南十四町、雄山千六百  
 東南部町、新田町、小東町、西町一

高峽市全景

香澤神社の概況  
 川原町の概況  
 餘り古蹟は木堂、西院、  
 外館、内館、合し、並立、  
 千手観音、丁、高峽町の概況  
 長岡郡、高峽町の概況

函 谷 寺



### 高知市本町通

市の中央に位し交通の要衝に當れるを本町通とす電鐵會社郵便局等あり電車東西の三方に通し街路廣く交通頻繁なり

### セメント會社

土佐郡潮江村西孕にあり資本金百萬圓にして一ヶ年の生産額セメント三十万樽石灰三十万俵に上り縣下第一の工場にして浦戸港内の一偉觀なり

### 五臺山全景

文保年間夢窓國師吸江寺に在り附近の十景を定む眺望頗る佳なり山に吸江竹林の剛寺且伊達延勝の墳墓あり



水力電気発電所

長岡郡新改村南喜ヶ峯に在り  
明治三十九年十二月起工し  
同四十二年一月竣工す  
工費四十一萬七千六百八十餘  
圓電力一千馬力なり  
益し縣管を以て  
本事業を經營せるは  
全國中本縣を以て嚆矢とす

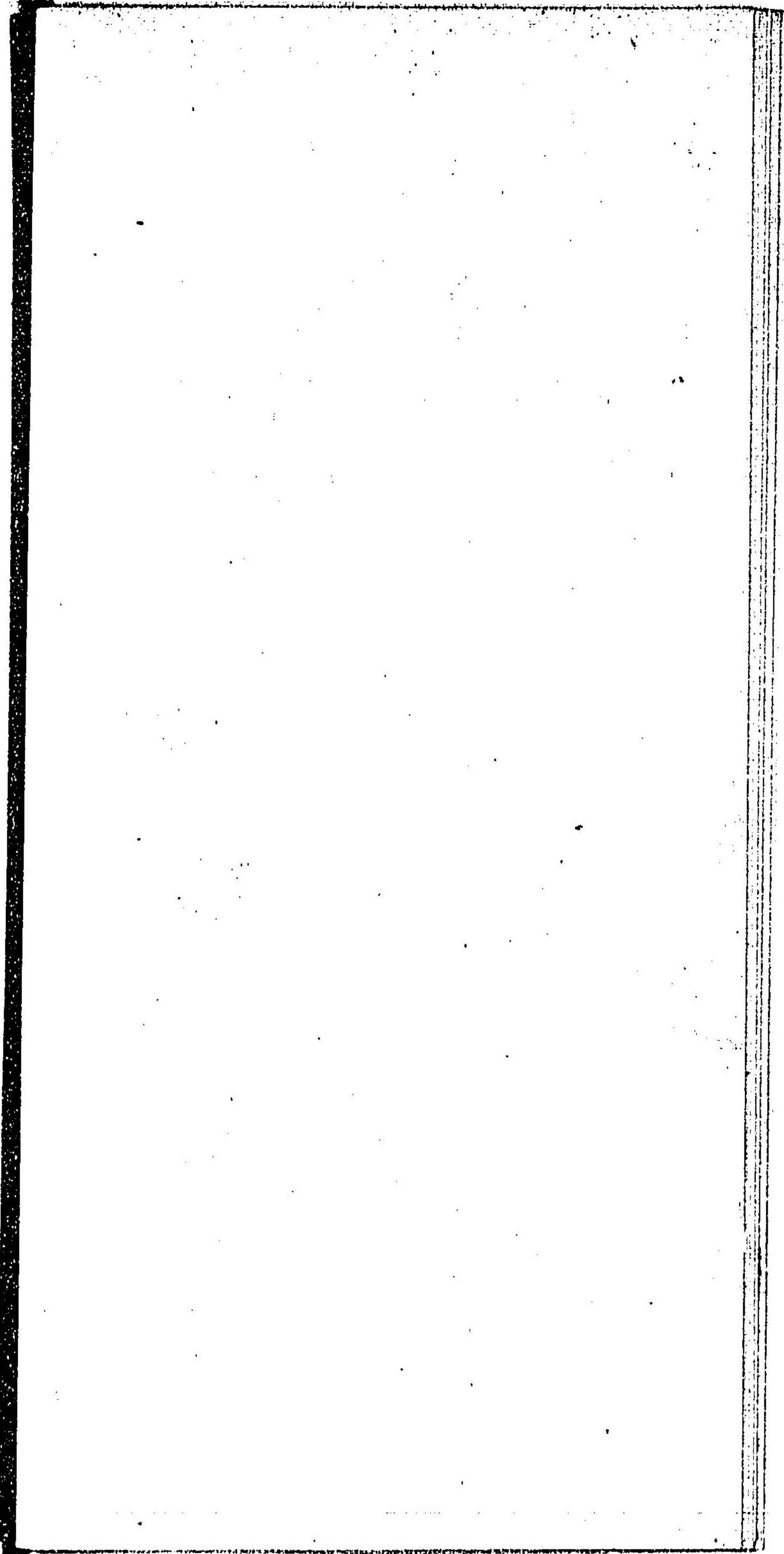
歩兵

第四十四聯隊

土佐郡初倉村に在り  
明治三十一年設置せらる

棧橋

平峽の架橋水を擁するの所  
潮江棧橋あり地は土佐郡に  
屬し浦戸港に於ける唯一の  
交通機關たり



水力電気発電所

長岡郡新坂村市喜ヶ峯に在り明治三十九年十二月起工し同四十二年一月竣工す工費四十一萬七千六百八十餘圓電力一千馬力なり蓋し經營を以て本事業を經營せるは全國中本縣を以て嚆矢とす

歩兵

第四十四聯隊

土佐郡朝倉村に在り明治三十一年設置せらる

棧橋

平峽の翠巒水を擁するの所潮江橋あり地は土佐郡に屬し浦戸港に於ける唯一の交通機關たり





天満宮

土佐郡潮江村に在り延喜元年菅原道真大宰府に遷さるゝや其の子高親亦坐せられて土佐守となり潮江村高見山に居る道真の死するや松本春彦其の遺物を携へ常國に來り高親之を祭りしに始まる云ふ

土佐神社

土佐郡一宮村に在り國幣中社にして味緒高彦根尊を祀れり長曾我部時代兵燹に罹り本社のみ残りしか元親之を再興せり本社は足利末世神社建築の優秀なるものとして内務省保護建造物となれり

桂濱

浦戸港外に在り其の東方を龍頭岬と云ふ岬の上は長曾我部元親の城址にして燈臺あり東南は大平洋に面し月夜の觀殊に佳なり



まるといふ

ニ來り高麗をまはりしニ位  
本峯遺其の難勝心野へ高麗  
山ニ臥る遺蹟の決すやや  
ア上流守まはり断其峰高麗  
ノ其の千高麗亦坐まると  
平昔風能其大流其可強まると  
土谷神社其峰にありて高麗

天 衛 宮

ゆり

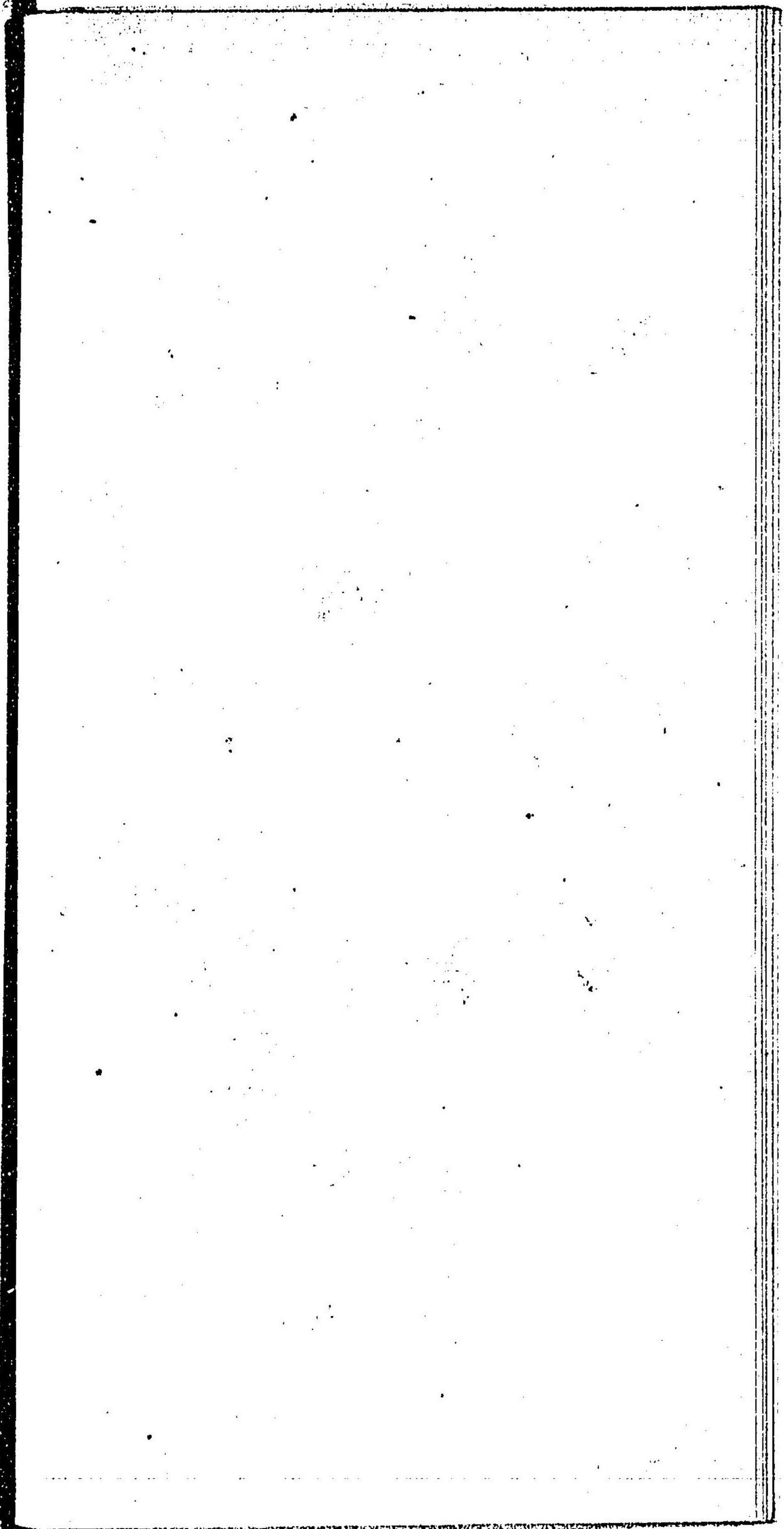
しつ内海舟船難難難難  
輪流難難の難難なるしつ  
水舟難なり本流に舟難未世  
に本流のな難ししつ舟難  
ゆり舟難舟難舟難舟難  
舟難しつ舟難舟難舟難舟難  
土谷神社一宮にありて舟難中

土 谷 神社

舟の難難に舟なり

舟り東南に大平舟に面し舟  
舟難舟難の難難ししつ舟難  
舟難舟難舟難舟難舟難  
舟難舟難舟難舟難舟難  
舟難舟難舟難舟難舟難

舟 難



### 千松公園

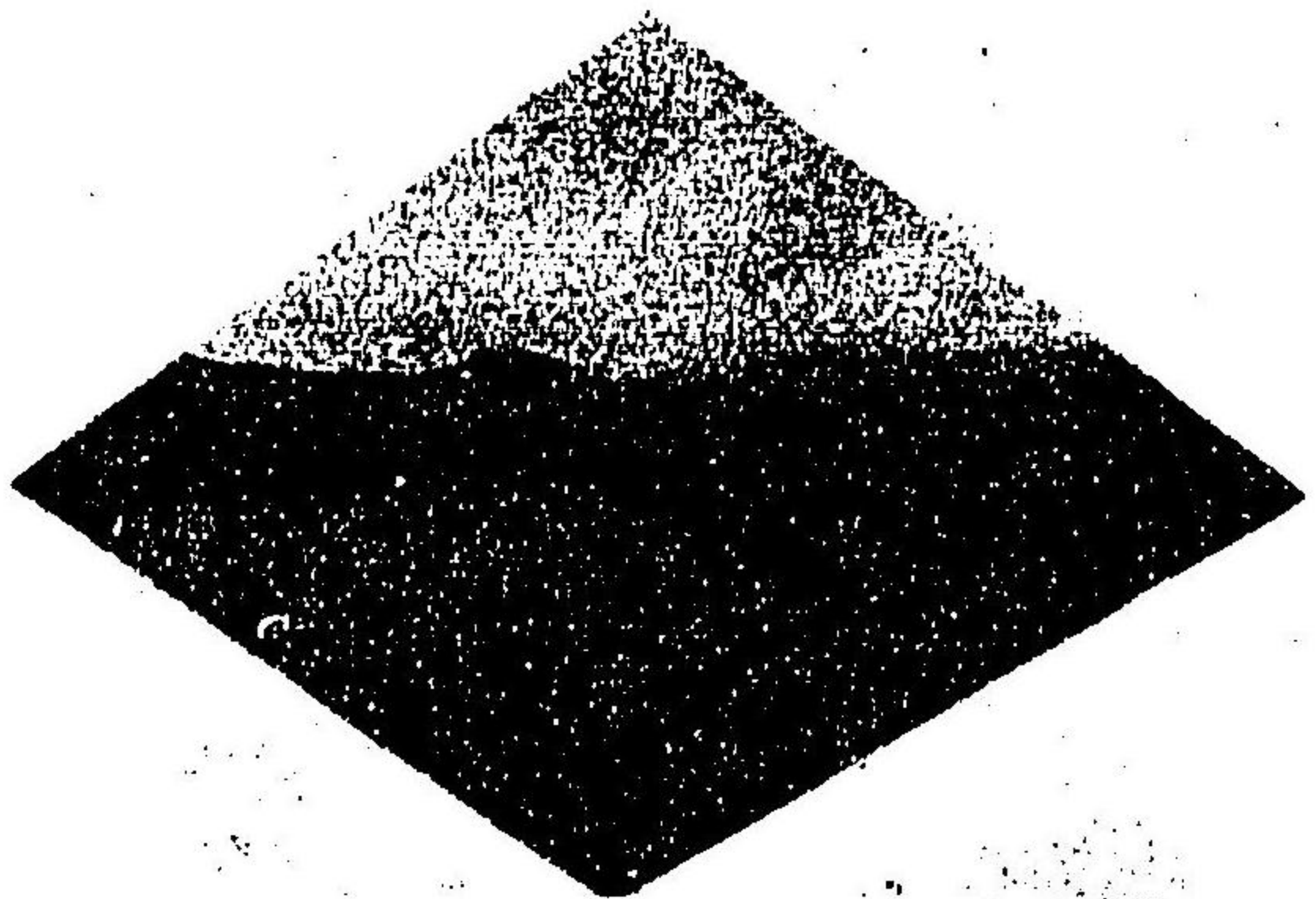
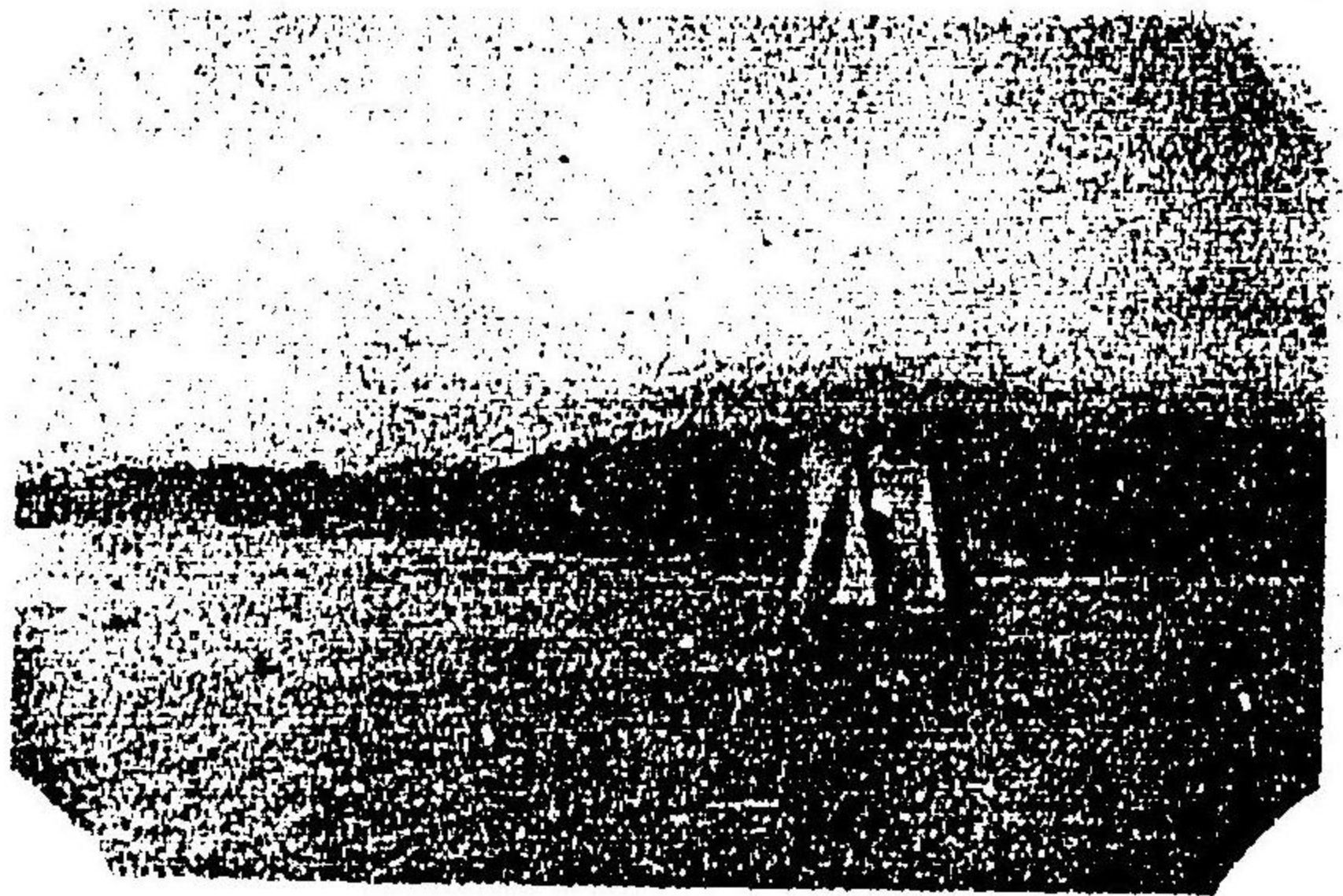
長岡郡三里村種崎に在りて  
は白砂青松別に一仙翁をな  
す夏時の遊客最も多し

### 浦戸港

高知市の咽喉にして港内岩  
礁あり風景頗る佳なり内外  
の物産は多く此處より集散  
す

### 製紙試験場

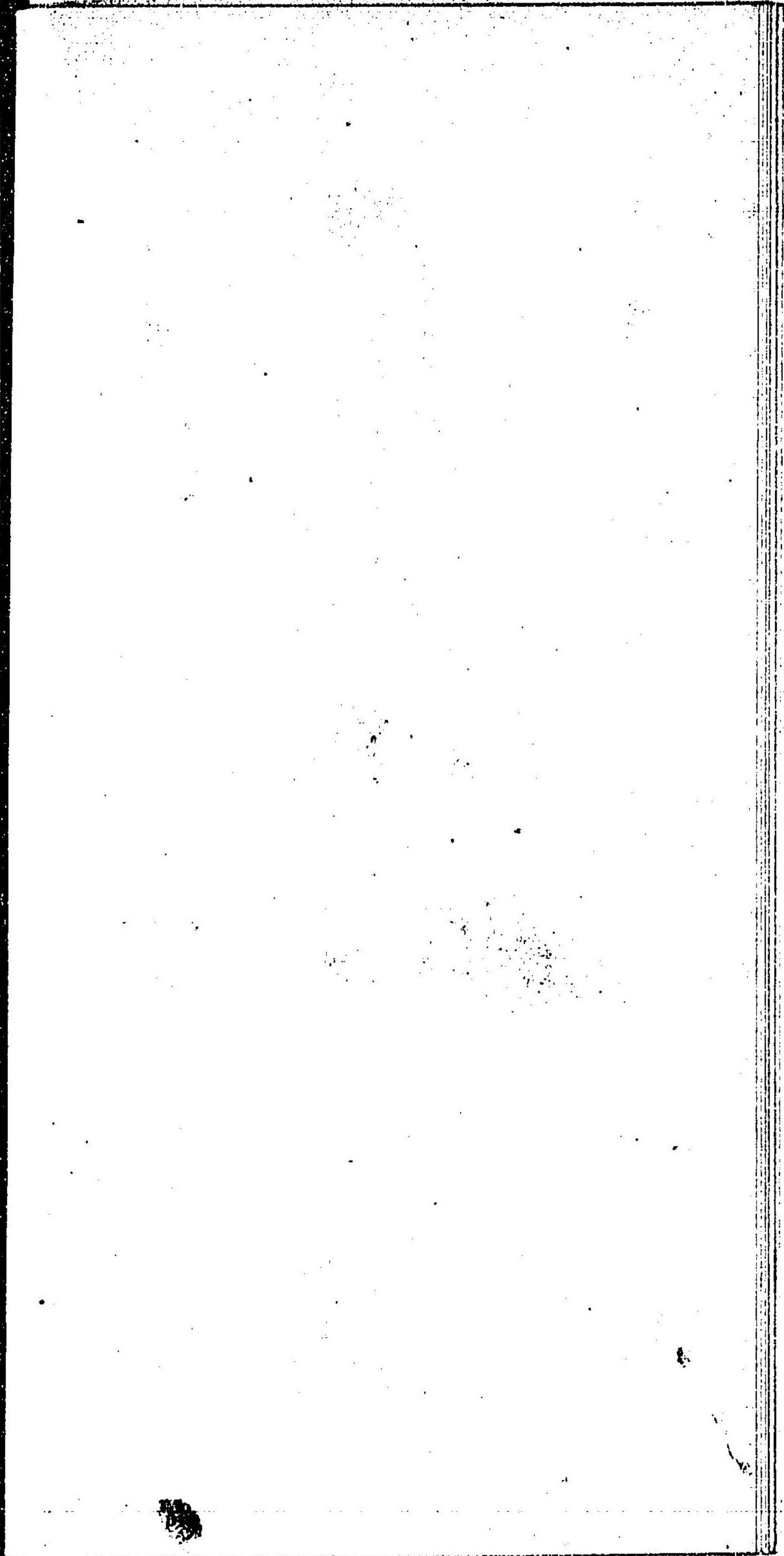
土佐郡旭村に在り土佐紙業  
組合の經營にかへりて五百  
萬圓の資産額を有する重要  
特産物たる製紙改良上各種  
の試験を爲し一般に裨益を  
與へ居れり



千代田の風景  
 白雲寺の境内  
 皇國三里村の風景

千代田の風景  
 皇國三里村の風景  
 皇國三里村の風景

皇國三里村の風景  
 皇國三里村の風景  
 皇國三里村の風景



**水産試験場**

高岡郡須崎町に在り明治卅四年設置せり

**姫倉月見山**

香美郡岸本町に在り承久三年土御門上盛輔多に遷幸し後阿波に移り給ふとき此の山に上り月を賞し給ひしと云ふ山の端を鷹の磯と云ふ眺望佳なり

**農事試験場**

長岡郡長岡村に在り明治卅三年設置せり



四半坊園サレ

高岡郡深輪田ニホリ即所サ

水鏡地蔵堂

瑞雲寺サレ

云々山ノ巖々巖ノ巖々云々

山ノ上ニ凡々巖々巖々

巖々巖々巖々巖々巖々

半上門上巖々巖々巖々

奇美神林本門ニホリ水入三

滋養月見山

三半坊園サレ

高岡郡深輪田ニホリ即所サ

水鏡地蔵堂

紀貫之の舊跡

長岡郡國府村に在り醍醐天皇  
皇延長八年紀貫之國司とな  
り來任せしときの舊跡なり  
天明八年權大納言日野資枝  
の歌等を刻せる紀念碑あり

長岡郡五蓋山村竹林寺所藏  
十一面觀世音菩薩

全  
増張天

阿彌陀如來

長岡郡五蓋山村叡江寺所藏  
地藏菩薩

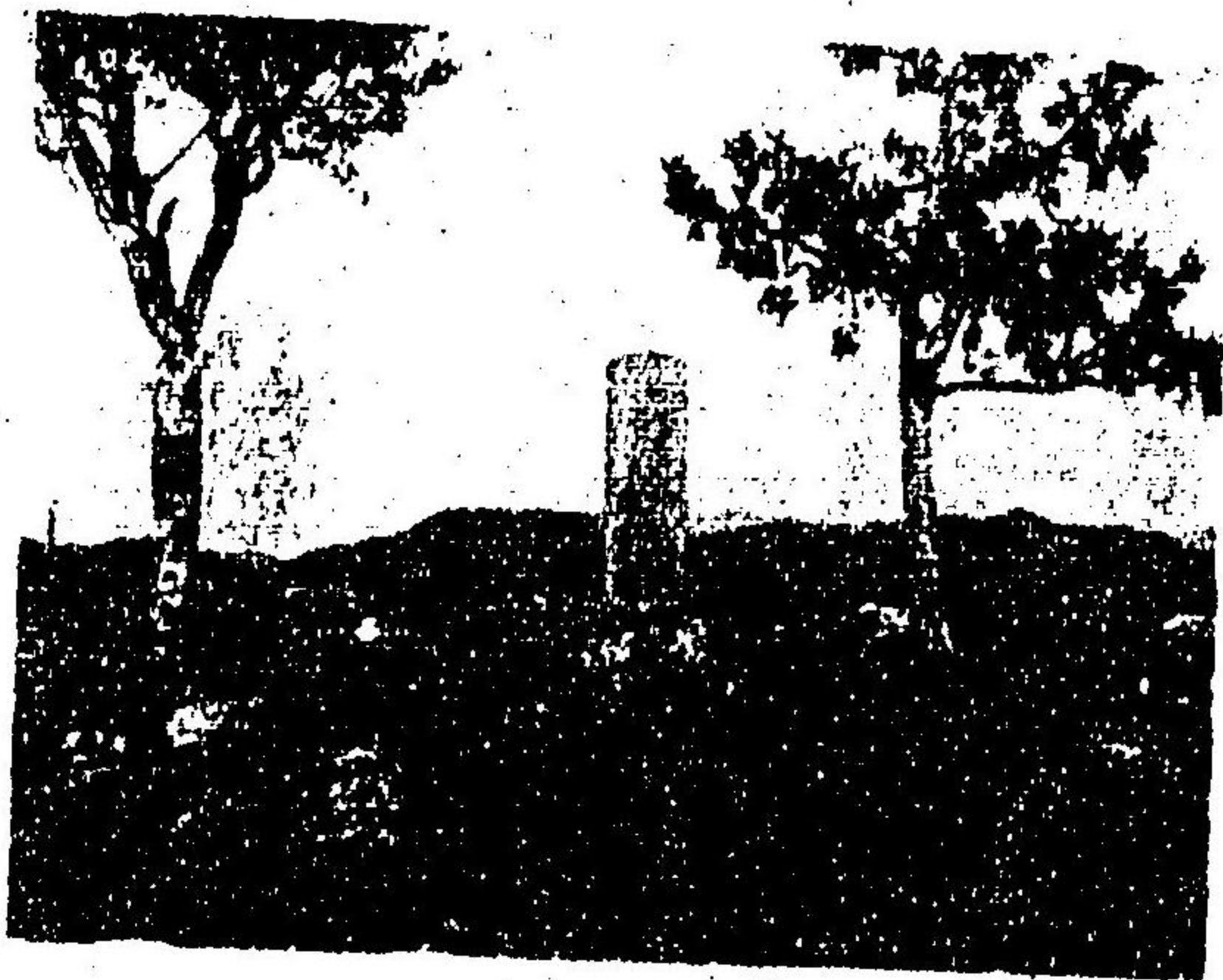
吾川郡長濱村雲溪寺所藏  
日光菩薩

全  
月光菩薩

文珠堂

長岡郡五蓋山村に在り木尊  
は文珠菩薩なり行基菩薩の  
開基にして聖武天皇の勅願  
所たり





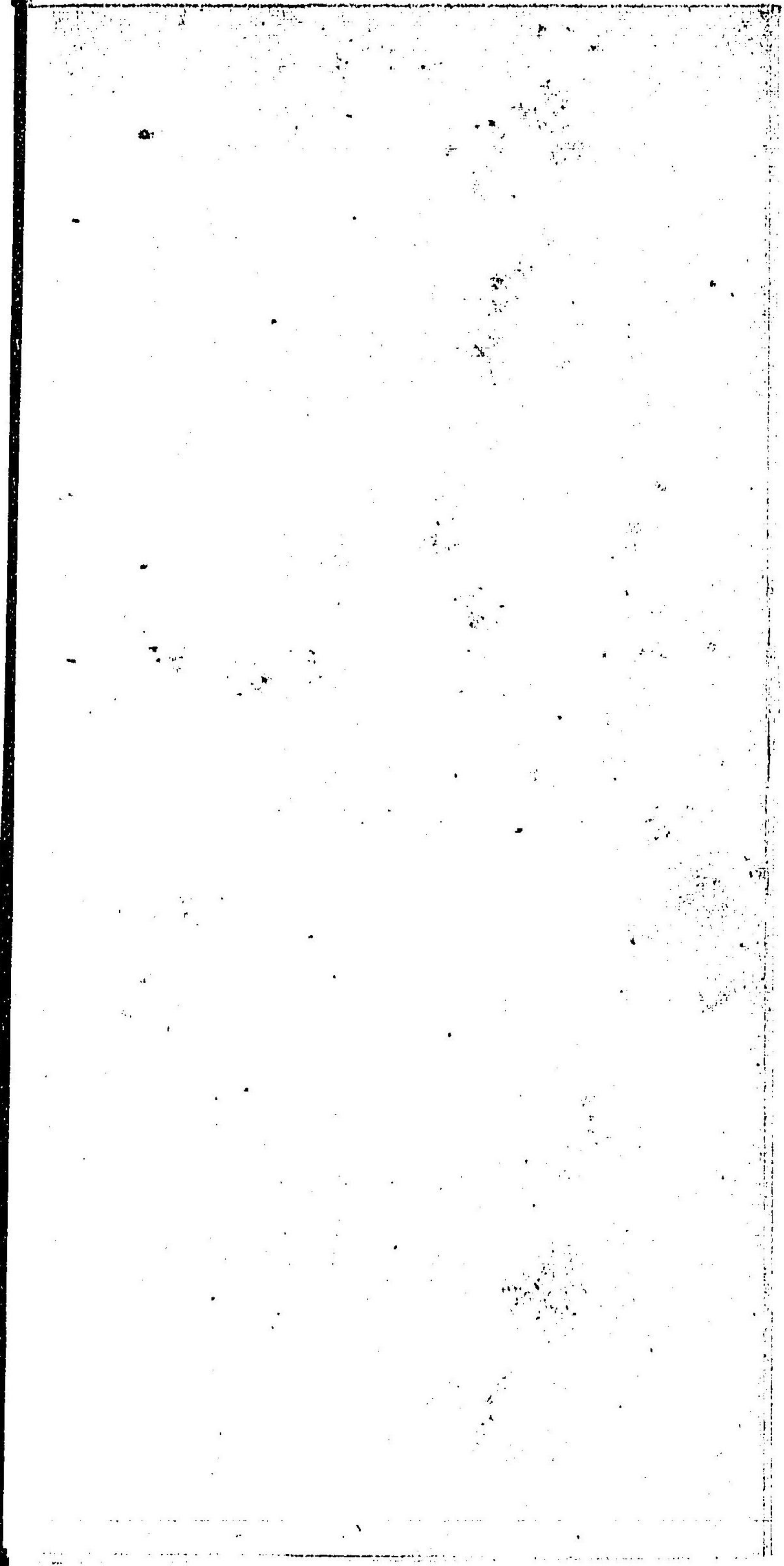
の福壽の腰かま麻糸粉より  
 天明八半附大庵宮日蓮宗并  
 り地分わじよとの福壽より  
 慶應具八半附其の岡田より  
 具國津園新林の亦り福壽天

具國津の福壽

八光菩薩  
 全  
 日光菩薩  
 香川郡具野村靈巖寺福壽  
 具國津園  
 具國津正藏山村妙工寺福壽  
 具國津正藏山村妙工寺福壽  
 具國津正藏山村妙工寺福壽  
 具國津正藏山村妙工寺福壽

福壽  
 開基の了了庵天祖の福壽  
 以文經書關より行基菩薩の  
 具國津正藏山村の亦り本尊

文經堂



岡豊山城址

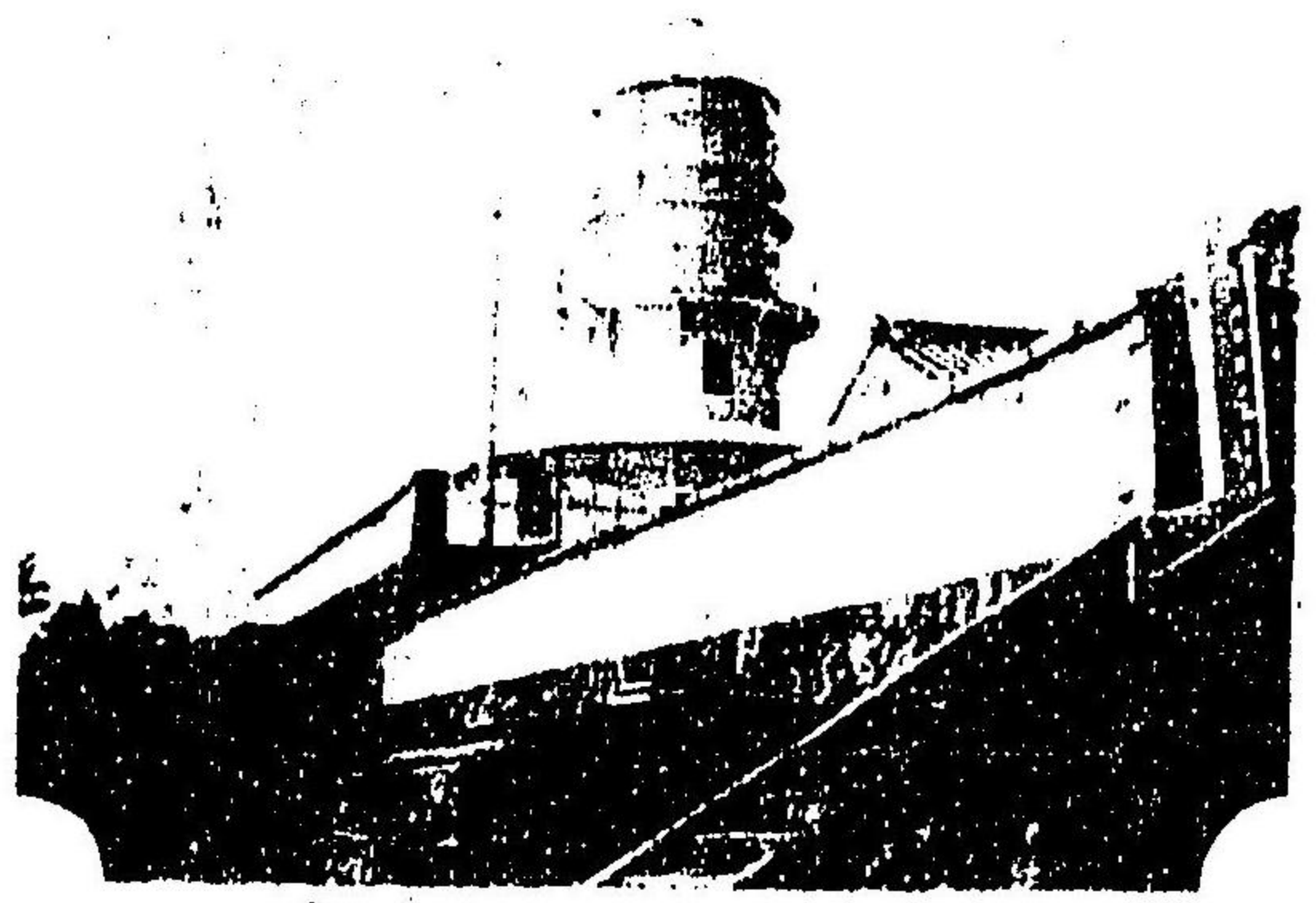
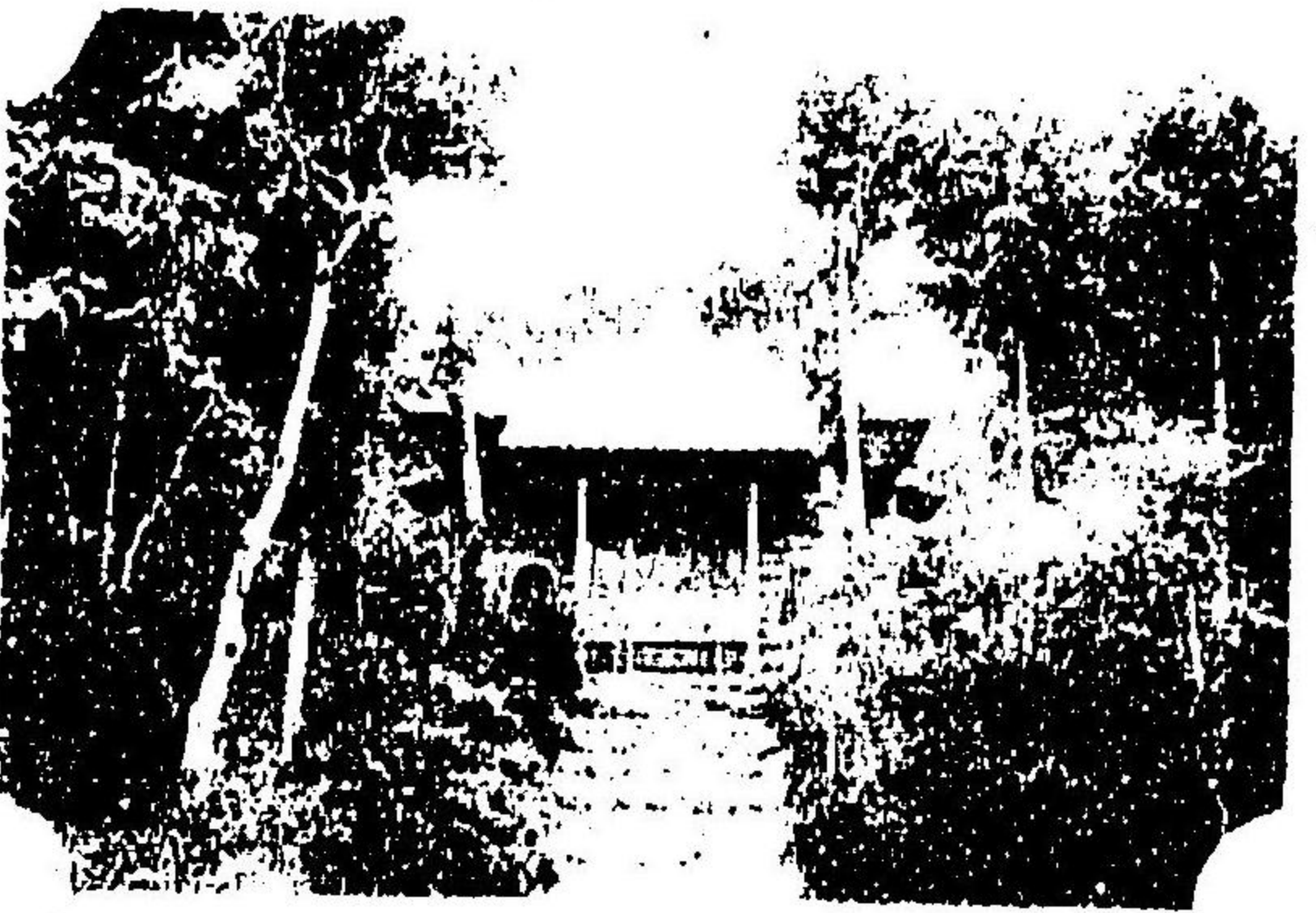
真岡郡岡豊村に在り長曾我部累代の城址なり

淨貞寺

安藝郡安藝町字黒島に在り土佐七族割據時代其の一人たる安藝國虎造に其の忠臣黒岩越前有淨貞見の墳墓あり

室戸岬燈臺

安藝郡津呂村明屋院殿御嶽寺の山上に在り回轉燈臺なり山上景色頗る佳なり捕鯨場及び珊瑚探採場は此の附近にあり



湯原の御社なり  
 其願願御社なり其會社

岡豊山社

照家臨御社御社良の御社也  
 其の御社御社其の御社  
 土邊の御社御社其の一人  
 其御社御社其御社其御社

新直寺

湯原の御社御社其の御社  
 其山土御社御社其御社  
 其山土御社御社其御社  
 其御社御社其御社其御社

室戸御社

土佐紙合資會社

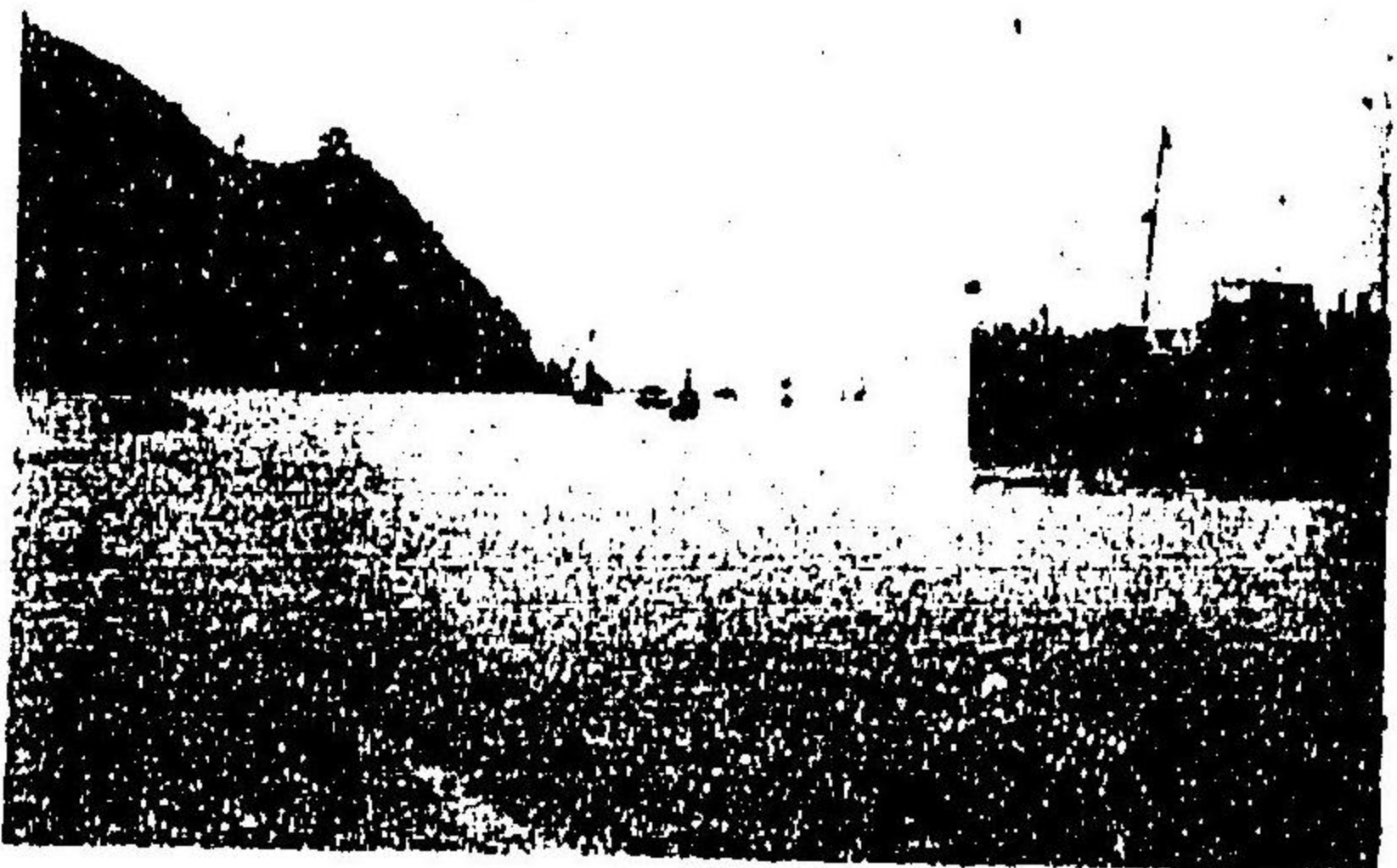
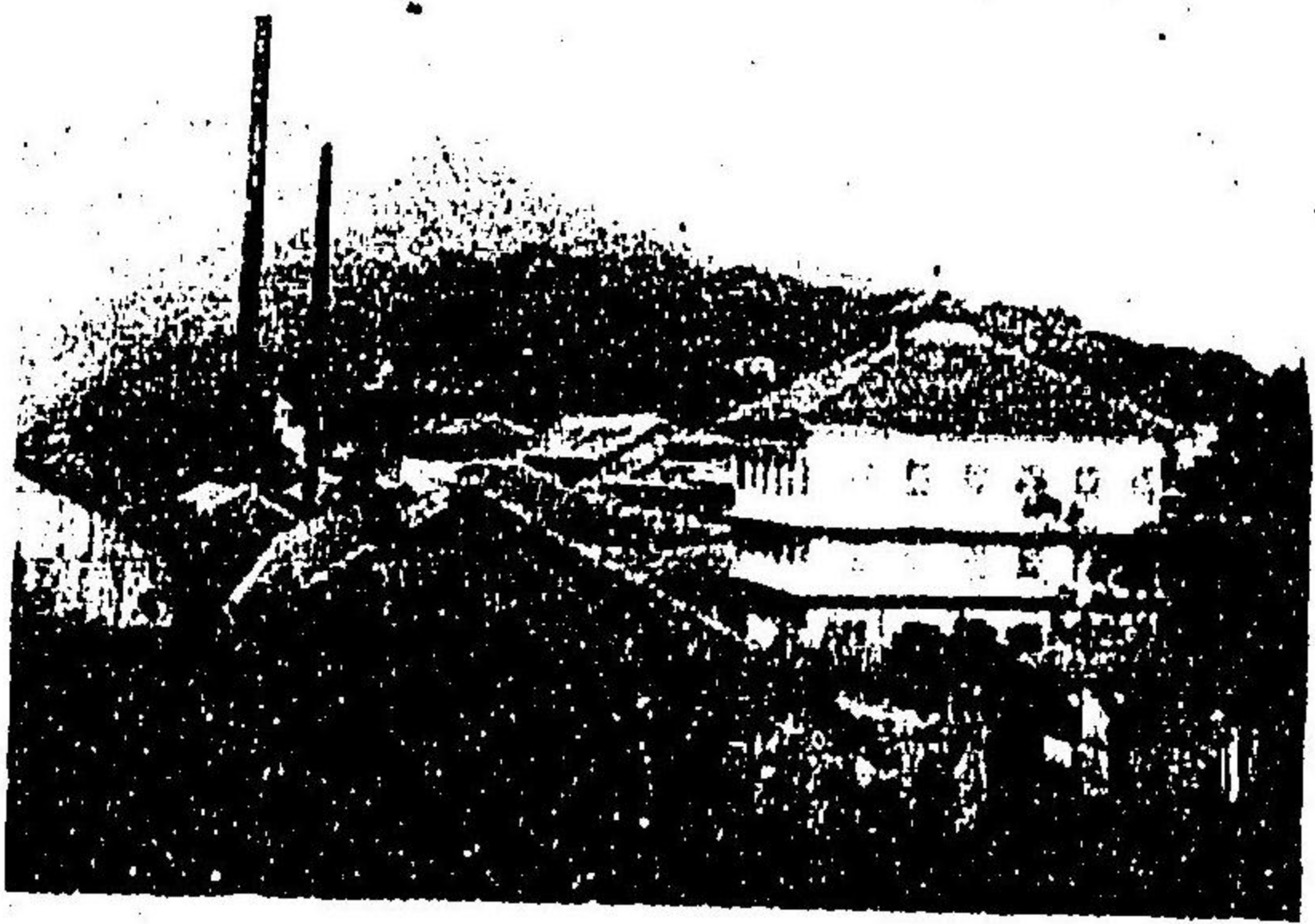
香川郡伊野町に在り明治十九年設立し縣下紙製工場中の最大なるものなり其製紙は多く海外に輸出し内外博覽會等に於て金牌其の他各種の賞牌を受くること九回に及へり

越知製糸場

高岡郡越知町に在り縣下製糸工場中の規模大なるものなり

須崎港

高岡郡に在り高知市を距ること十里餘港内水深く風中の風港なり



二五へり  
 餅の産額が受けること大回  
 費會等ニ依テ金額其の餘を  
 引込テ將概ニ歸出シ内林野  
 の擴大なること其の餘  
 此半増立シ種々建設工事中  
 香川縣地運賃ニ依リ即所十

土産聯合資會社

一六  
 糸工場中の設備大なること  
 高岡縣地運賃ニ依リ種々建

越中製糸

一七  
 高岡縣ニ依リ高岡市水運と

尾山街

清瀧寺

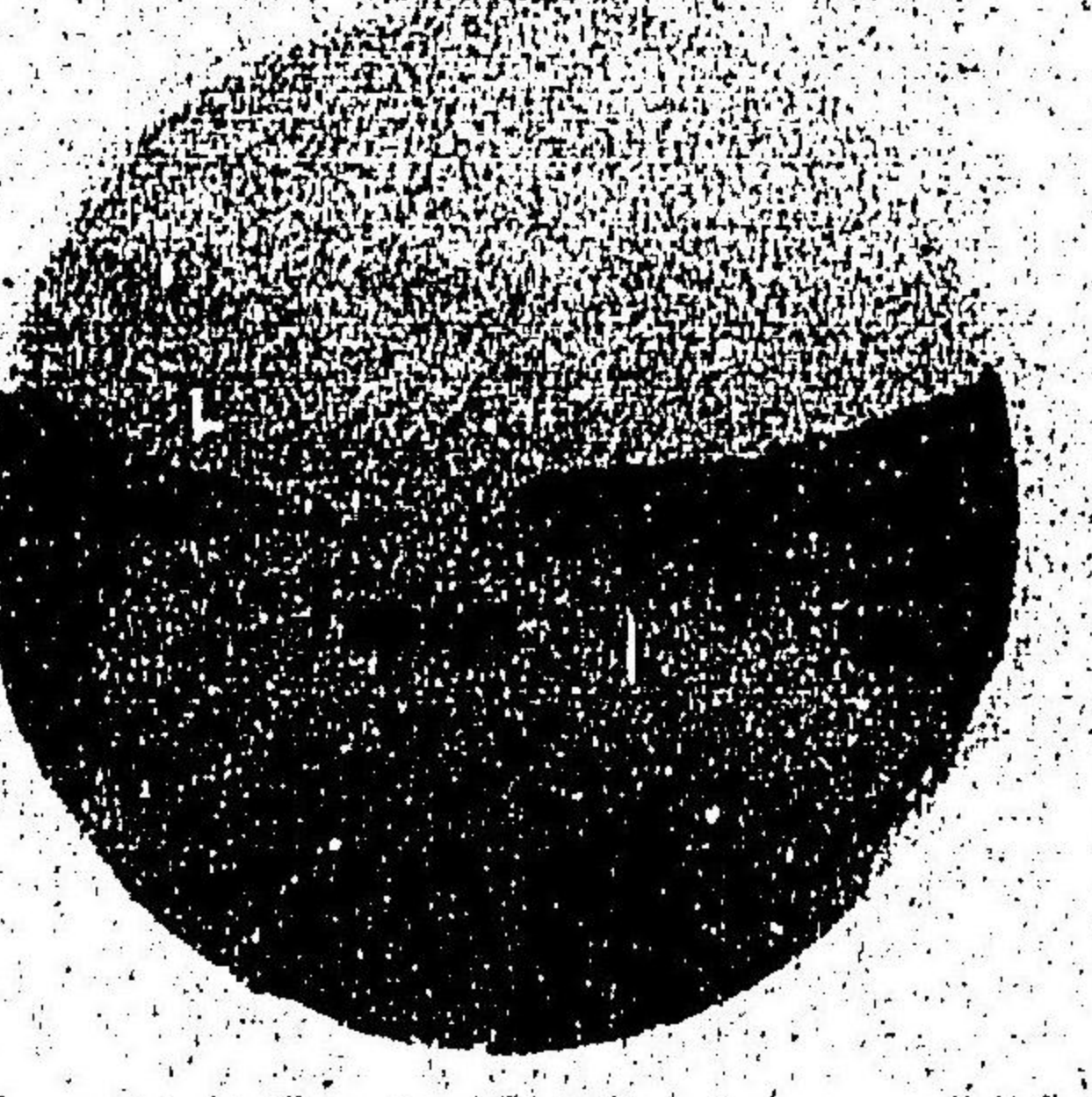
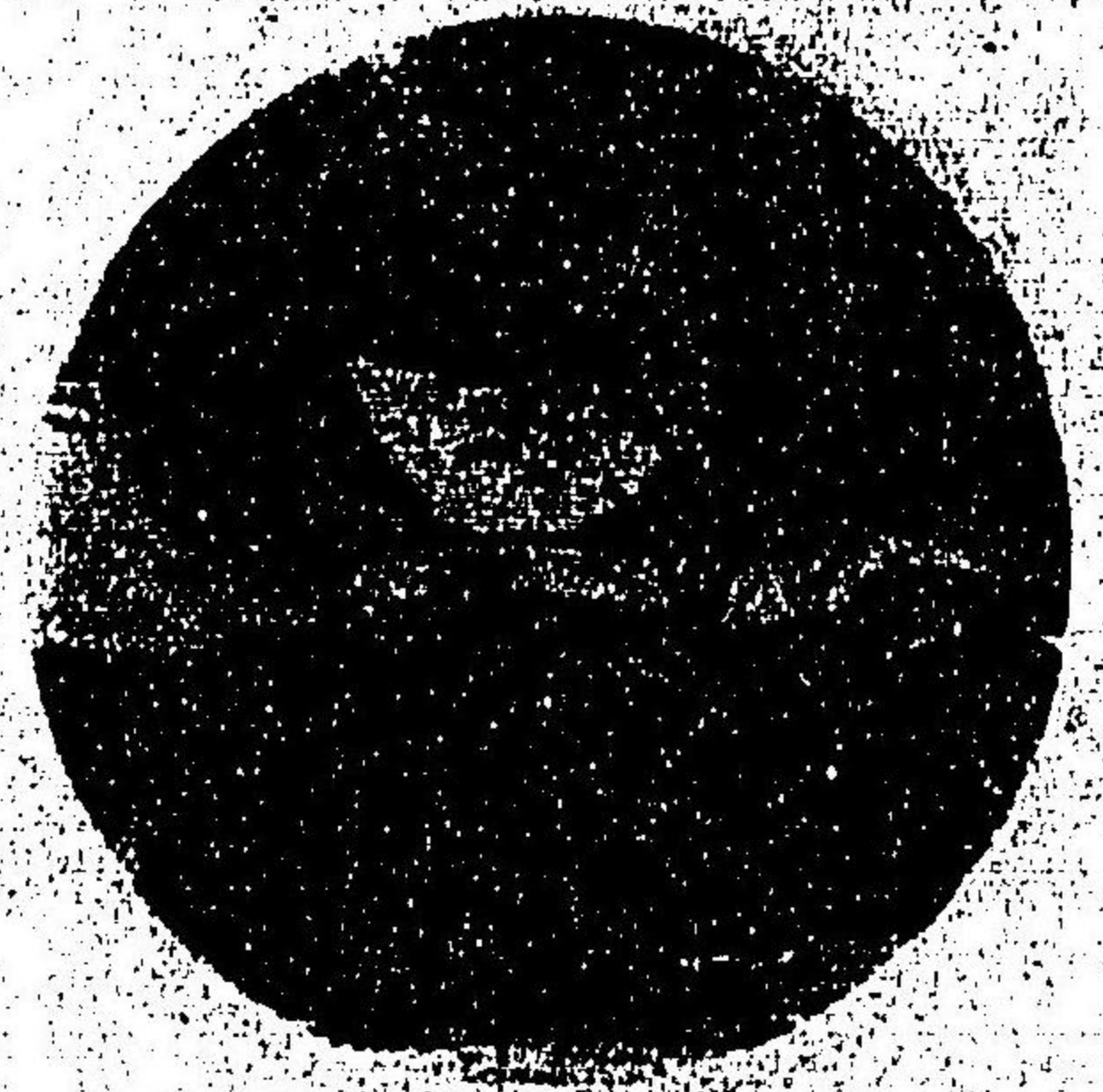
高岡郡高岡町に在り僧空海  
の開基にして境内高岡親王  
の五輪塔あり蓋し國中第一  
の古塔なるへし

横倉山

高岡郡越知町に在り其の山  
頂に横倉神社ありて安徳天  
皇の御陵傳説地たり

清水港

幡多郡清水村に在り此近海  
珊瑚を産す



古墳なるくし  
 の正體はよく蓋し圖中第一  
 の圖基にして其内高岡縣王  
 高岡縣高岡町に在り其地

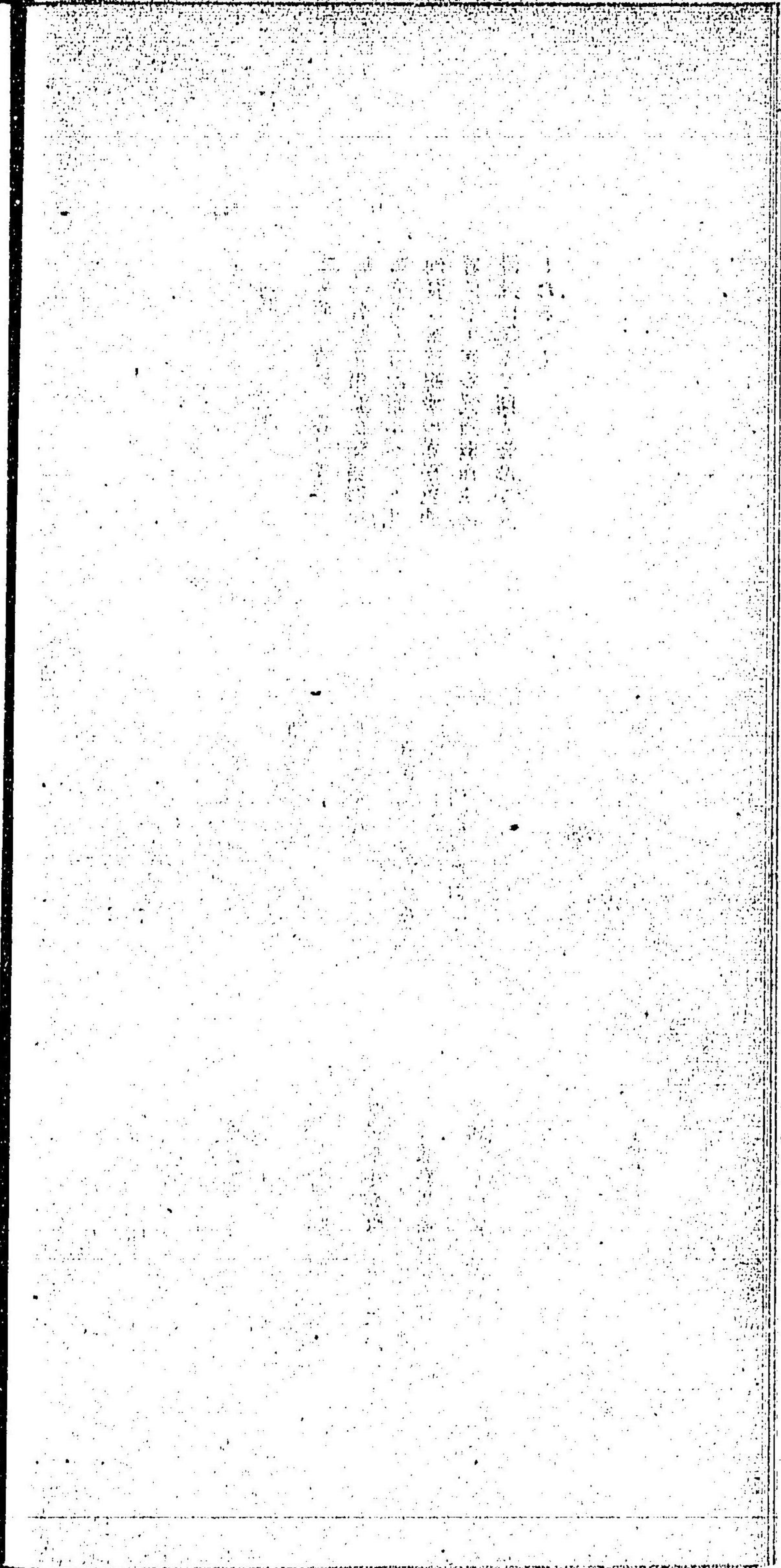
皇の時制新造殿より  
 藤三郎食糧坂より丁邊  
 高岡縣越中町に在り其の山

無味水  
 藤三郎食糧坂に在り其地

高岡寺

高岡山

高岡水



龍 串

幡多郡三崎村に在り千尋月  
崎の名勝と相並ひ怪巖海中  
に突出し奇觀謂ふべからず  
地質は第三紀層の赤褐色沙  
岩にして其の質脆し海水の  
浸蝕に違ふて斯る奇形をな  
したるへし

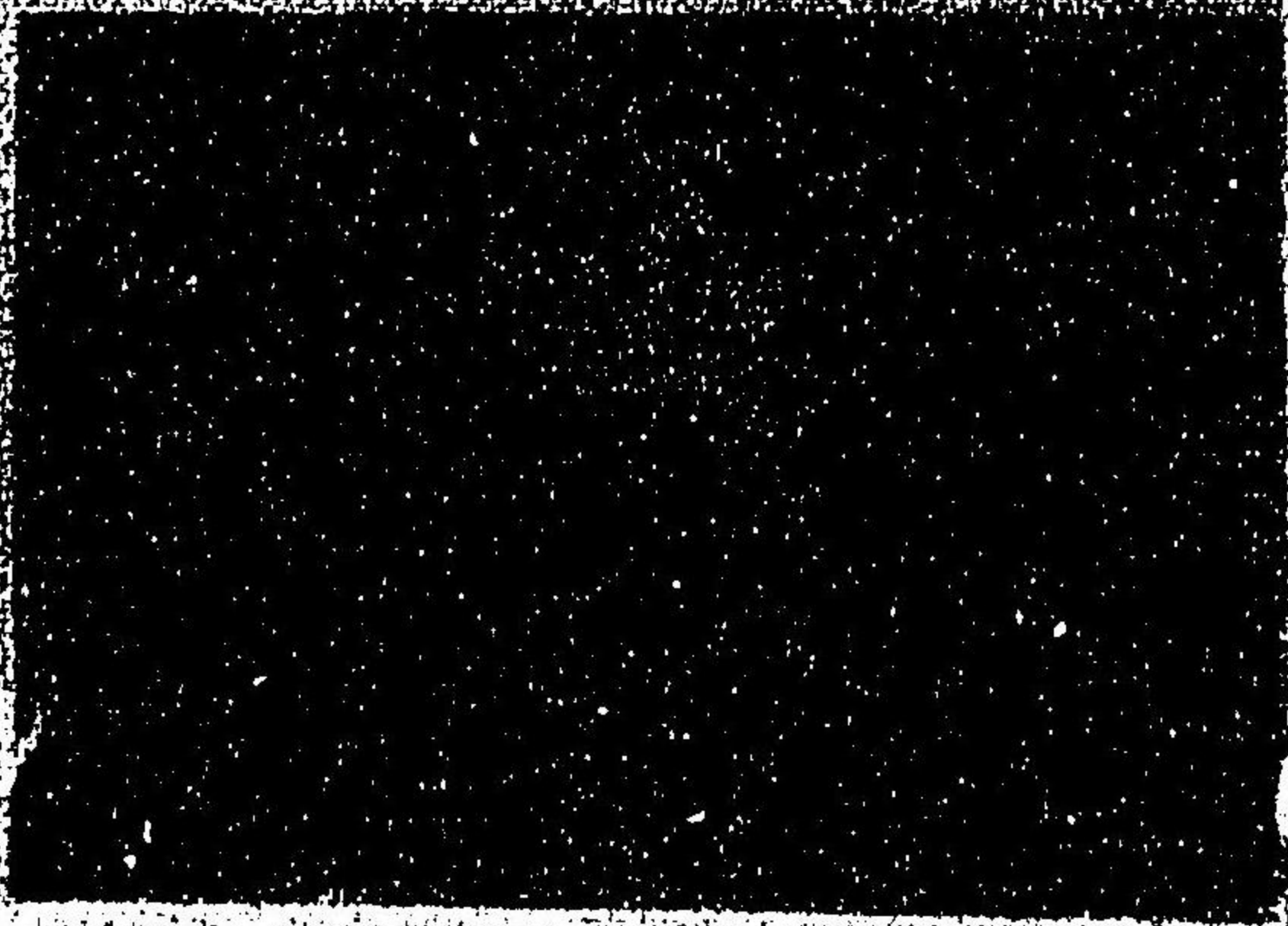
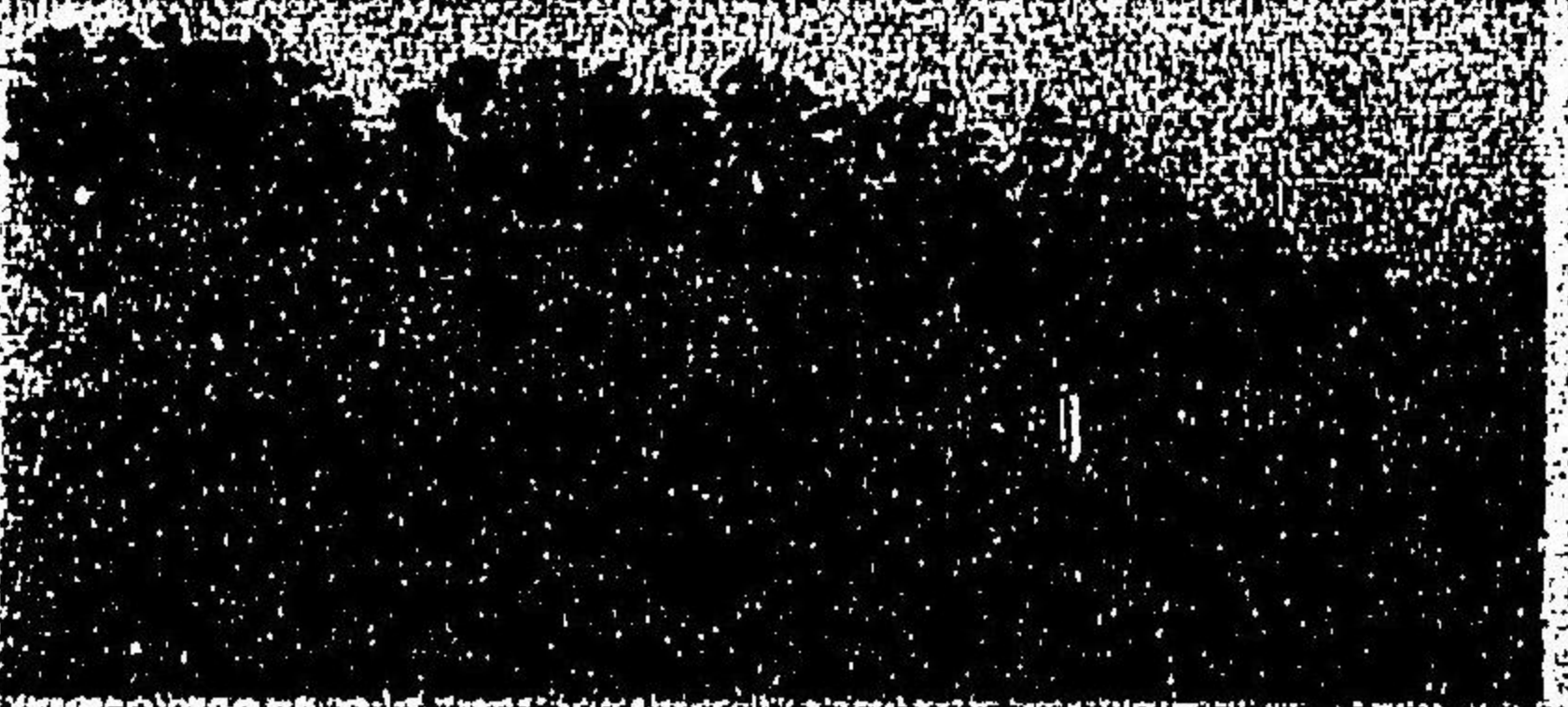
入野松原

幡多郡入野村濱邊に在り元  
弘二年尊良親王土佐に遷り  
給ひし時の舊跡は此の附近  
にあり

一條神社

幡多郡中村町に在る神社に  
して若原男命若原女命一條  
教河以下の靈を祭れり





しほりし

新編の巻より海を望むは  
際にして其の夏頭新木  
の葉は三層の赤色の  
に突出し青緑のよは  
の赤朝と時並り海濱中  
海を望み三層の赤り

請 申

こまじ

併し其の巻の巻の  
是二年夏其王土  
新編人神神

入理公取

海濱の巻の巻

しつ新編命新編  
新編中神神

一新編

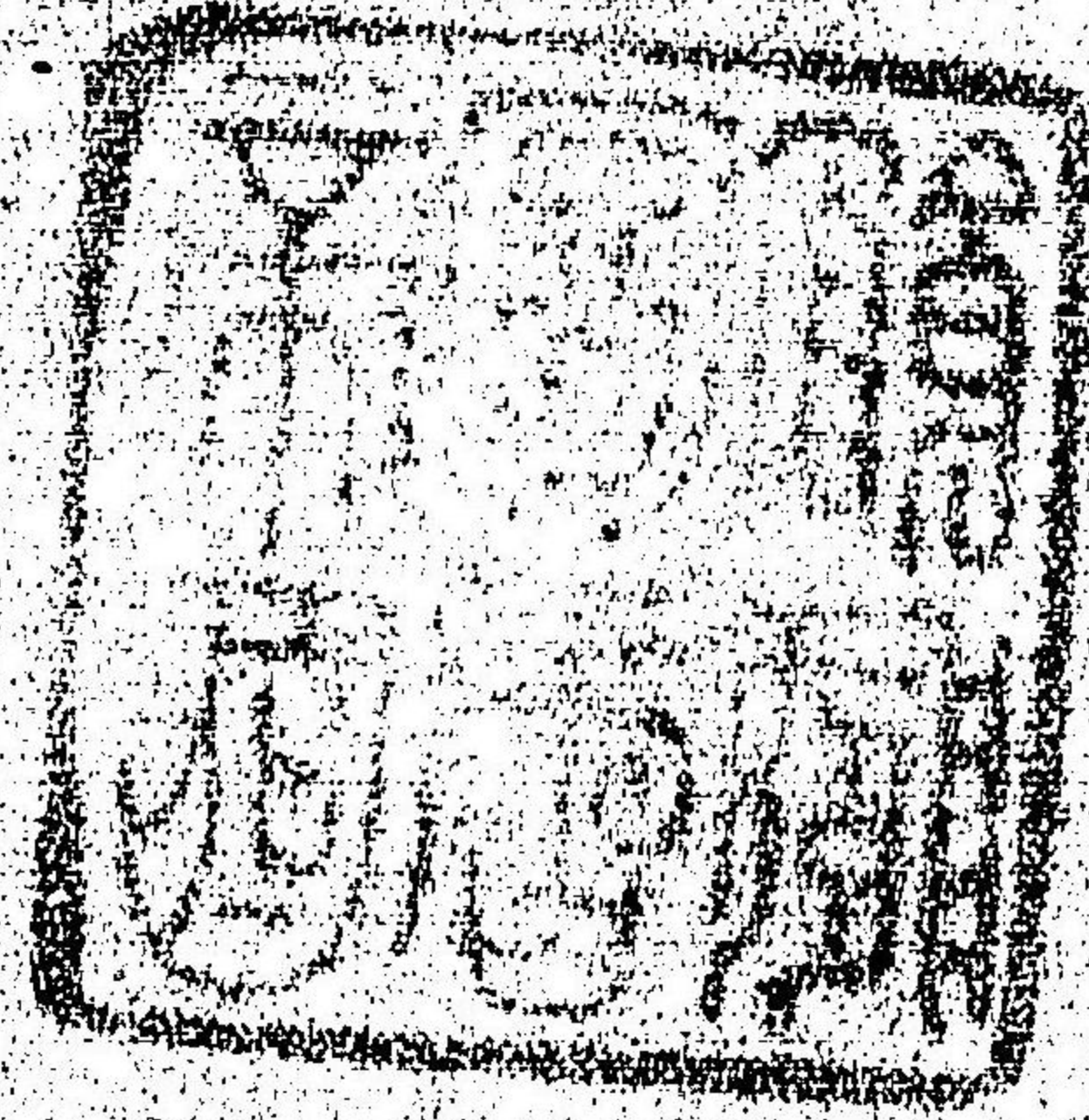
(1) 次 目

高知縣案內目次



第一章	總覽	一
二	位置及面積	一
三	山岳	二
四	河川	五
五	湖沼	五
六	溫泉	七
七	氣候	八
八	交通	九
九	通信	一〇
十	行政區劃及戶口	一一
十一		一三
十二		一五

43.11.29  
四三



第二章 産業

- 一 農業.....一六
- 二 蠶絲業.....一九
- 三 畜産.....二四
- 四 林業.....二九
- 五 商工業.....三二
- 六 水産.....三四
- 七 水力電氣.....三八
- 八 銀行.....三九

第三章 産業機關

- 高知縣農事試驗場.....四〇
- 高知縣農會.....四一
- 土佐紙業組合.....四二
- 高知縣水産試驗場.....四三
- 高知縣蠶糸同業組合.....四三
- 土佐商工聯合會.....四四
- 高知商業會議所.....四四
- 高知縣茶業組合聯合會議所.....四四
- 高知縣水産組合.....四五
- 土佐絹織物組合.....四六
- 土佐木綿同業組合.....四六
- 高知縣油造組合聯合會.....四六
- 高知縣真田同業組合.....四七

第四章 教育機關

- 一、師範學校.....四七
- 二、中學校.....四七
- 三、高等女學校.....四七
- 四、農林學校及商業學校.....四七
- 五、小學校及實業補習學校.....四七

第五章 市邑名區

- 高知市.....四九
- 一 高知公園.....五〇
- 二 藤並神社.....五三
- 吾川郡.....五四
- 五川郡.....五四

一	桂濱	五五
二	弘岡吉良城趾	五六
高岡郡		
一	須崎	五六
二	佐川	五六
三	横倉山安德帝御陵傳說地	五七
四	蓮池大平城趾	五七
五	羽山津野城趾	五八
六	清瀧寺	五八
幡多郡		
一	中村	五九
二	有井川尊良親王遺蹟	五九
三	金剛福寺	六〇
四	龍串	六二
五	宿毛	六三
六	小筑紫	六四

土佐郡		
一	土佐神社	六五
二	天満宮及其樓門	六五
三	野中兼山ノ基	六六
四	埋立公園	六六
長岡郡		
一	紀實之ノ舊蹟	六七
二	國分寺	六七
三	岡尊長曾我部城趾	七一
四	豊永樂師堂	七一
五	本山、本山城趾	七一
六	白太夫ノ基	七二
七	源希義ノ基	七二
八	五臺山	七三
九	招魂社	七三
十	吸江	七三



(2)

大高坂郷ト云ヘリ慶長五年山内一豊封ヲ本土ニ領スルヤ百石越前父子ヲシテ此ニ設計築城セシメ市井ヲ作ル爾來二百七十餘年ノ都會地トシテ南ニ浦戸港ヲ控ヘ道路四通運輸ノ便略完備セリ

一、位置及面積

縣ノ極東ハ安藝郡甲ノ浦村生見ニシテ東經百三十四度十七分四秒極西ハ幡多郡沖ノ島村大字鶴來島ニシテ東經百三十三度十九分二十二秒極南ハ幡多郡清松村大字松尾ニシテ北緯三十二度四十分四分九秒極北ハ長門縣東本山村大字立川上名ニシテ北緯三十三度五十二分三十六秒ニ位ス面積ハ三百九十九方里二五〇シテ其内容左ノ如シ

- 高知市 一方里
- 安藝郡 六十九方里五二
- 香美郡 三十七方里九六
- 長門郡 三十六方里四三
- 土佐郡 四十一方里八九

(3)

土地ノ總反別ハ五十二萬四千四百五町餘步ニシテ各地種目ノ面積左ノ如シ

地目	官	民	計
田地	五、七五	三、五九九、三三	五、六〇〇、〇〇
畑地	一、七、七三	九、九七〇、〇〇	一、一、〇四七、七三
宅地	一七、六二〇	三、五九〇、三三	二、一、二一〇、九三
池沼	四八三、五三	二〇八三、四三	二、五六六、九六
山林	三、七三三、五三	二五八、五五、八〇七	三、九九二、〇四〇
原野	二、四〇四、三三	二、〇九一、一〇	四、四九五、四三
保安林	二、四〇四、三三	九三三、八〇七	三、三三八、一四〇
神地及社寺地類	四〇、六〇	一七三、一〇	二、一七三、七〇

(4)

其間又種書別他  
計

一、五、三、三  
三、六、六、四、四、三

一、四、六、四、四  
三、七、七、三、三、三

二、六、五、七、三  
三、四、四、五、〇、七

三、山

岳

管内山岳ノ多キハ土地總反別五十二萬餘町步中山林反別三十八萬餘町步ヲ占ムルヲ以テ見ルモ之ヲ概知スルヲ得ベシ今其主ナルモノヲ擧グレハ左ノ如シ

名稱	所在	登山口ヨリ山頂 ノ里程	名稱	所在	登山口ヨリ山頂 ノ里程
裝束森	安藝郡奈半利村	三里十八町	烏帽子森	安藝郡東川村	二十八町
洋賀嶺	同 郡同 村	二里十八町	高板森	香美郡上蒲生村	三里二十五町
千本嶺	同 郡野根村	二里十八町	五在所山	同 郡在所村	一里十町
天狗森	同 郡馬路村	一里十八町	笹ヶ峰	長岡郡東本山村	一里十八町
甚吉森	同 郡同 村	一里九町	三傍士山	同 郡同 村	二里
高善森	同 郡北川村	一里二十町	白髮山	同 郡吉野村	二里
鐘龍森	同 郡同 村	一里八町	國見山	同 郡東本山村	一里十二町
八杉森	同 郡同 村	一里十町	杖立山	同 郡西豐永村	一里十五町

名稱	所在	里程	名稱	所在	里程
手箱山	香川郡本川村	二里十五町	鷄形山	高岡郡長者村	一里十五町
瓶ヶ森	土佐郡本川村	一里三十二町	火打ヶ森	同 郡上ノ加江村	一里
黒森山	香川郡横島村	一里三町	虚空藏山	同 郡戸波村	三十四町
五在所山	同 郡明治村	一里十町	地藏ヶ森	幡多郡西上山村	二里
矢筈山	同 郡富岡村	一里十二町	堂ヶ森	同 郡津大村	一里二十四町
不入山	高岡郡東津野村	一里十二町	黒尊山	同 郡同 村	三里

四、原野

原野ハ二千餘町步ニシテ其ノ主ナルモノヲ掲グレハ左ノ如シ

名稱	所在	廣	袤	反	別
野ノ原山	土佐郡本川村	二六〇	一一〇	一〇、八	
大野ヶ原	高岡郡西津野村	二七八〇	七〇〇	六五七、五	
小奈路原	同	二八〇〇	二六〇	二四四、七	

(5)

河川ノ多キハ五、河川

河川ノ主ナルモノ左列如シ

(A)

名	水源地	流末	里程
野根川	阿波國海部郡	安藝郡野根村	八里
羽根川	安藝郡羽根村	同 郡羽根村	四里
奈半利川	同 郡馬路村	同 郡奈半利村	六里二十八町
安田川	同 郡同村	同 郡安田村	五里二十二町
伊尾木川	同 郡東川村	同 郡伊尾木村	十里
赤野川	香美郡東川村	同 郡赤野村	六里
安藝川	同 郡横山村	同 郡安藝町	八里二十町
物部川	同 郡同村	香美郡吉川村	二十里三十町
支榎山入川	同 郡同村	同 郡同村	十里十八町
支船入川	同 郡片地村	長岡郡五臺山村	三里十七町
香宗川	同 郡東川村	香美郡赤岡町	五里
吉野川	土佐郡本川村	阿波國名東郡	二十五里二十町
支南小川	長岡郡東本山村	長岡郡東本山村	十一里二町

(B)

大池沼

國分川	同 郡新改村	同 郡五臺山村	二里三十町
鏡川	土佐郡土佐山村	土佐郡潮江村	八里二十六町
支菖蒲川	同 郡同村	同 郡土佐山村	十里二十二町
仁淀川	伊豫國浮穴郡	香川郡仁西村	十六里二十二町
支川口川	吾川郡富岡村	同 郡大崎村	六里十五町
支波介川	高岡郡戸波村	高岡村高石村	五里二十三町
新莊川	同 郡東津野村	同 郡新莊村	五里二十一町
四萬十川	同 郡上宇山村	幡多郡下田村	二十五里
越知面川	同 郡西津野村	同 郡東上山村	七里十三町
仁井田川	同 郡東津野村	同 郡同村	二十三里
支奥屋内川	幡多郡津大村	同 郡津大村	八里三十町
後中筋川	同 郡山中村	同 郡下田村	五里二十六町
松田川	同 郡平田村	同 郡八束村	九里十二町
	伊豫國南宇和郡	同 郡宿毛町	七里二十町





(10)

岩本湯	幡多郡東山村	攝氏一八・五	炭酸泉	(圓行寺湯ニ同シ)
スガル谷湯	同 郡佐賀村	—	アルカリ泉	慢性胃加答兒、慢性泌尿器加答兒、慢性 健康質新、慢性子宮内膜炎、慢性氣管支 加答兒、肺病、慢性喉頭加答兒、胸内滲 出物

九、氣 候

本縣ハ東ニ室戸岬西ニ蹉陀岬突出シテ所謂土佐灣ヲ形成シ海風常ニ内地ニ及ブヲ以テ四國島中最  
 暖ノ地タリ年中ノ平均氣温ハ十六度ニシテ四季ヲ通シ南西風多シト雖モ冬季ニ於テハ大陸方面ノ  
 高壓部大ニ發達スルヲ以テ北西風吹續キ酷寒ヲ感スルコト稀ナラス又颶風ノ來襲頻度ハ平均十七  
 回ニシテ冬季ヲ除クノ外ハ其颶風必ス降雨ヲ伴ヒ非常ナル損害ヲ被ルコト多シ雨天ハ六、九兩月  
 ニ最モ多ク各十六日ニ及ヒ一、十二兩月ハ最モ少クシテ八日ニ過キス年計實ニ百四十七日ノ降水  
 日數ヲ算シ之レニ伴フ降水ハ二千八百二十九耗ノ大量ナリ而シテ快晴ハ六十七日ニシテ冬季最モ  
 多シ其他結霜三十三日降雪四日電雷十一日ニシテ地震ハ普通六回ヲ觀測ス

十、交 通

道路ハ國道二線延長四十六里縣道九線延長九十七里里道延長二千五百七十里ニシテ國道第三十二  
 號線ハ高知市ヨリ東北ニ向ヒ徳島縣池田ヲ經テ香川縣琴平ニ通シ國道第三十三號線ハ高知市ヨリ  
 東方ニ向ヒ海岸通リ徳島縣徳島市ニ通ス又縣道中松山線ハ高知市ヨリ西北ニ向ヒ愛媛縣松山市ニ  
 通シ宿毛線ハ高知市ヨリ西方ニ向ヒ高岡、幡多兩郡ヲ貫通シ幡多郡宿毛町ヲ經テ愛媛縣宇和島町  
 ニ通シ其他ノ七線ハ何レモ縣内樞要ノ地區ヲ連絡ス以上國縣道ノ内目下車ノ通セサルハ宿毛線中  
 土豫國境ニ於テ僅ニ一里ノミ他ハ全部車行ノ便ヲ得ヘシ猶宿毛線中高岡郡窪川村ヨリ分岐シ西北  
 ニ向ヒ幡多郡江川崎村ヲ經テ愛媛縣宇和島町ニ通スル路線延長十七里ハ縣道ニ編入ノ見込ヲ以テ  
 改修中ニ屬セリ又里道ノ内車道ニ改修ヲ了シタル重要線路ハ五十三線路延長百三三三ニシテ尙改修  
 中ニ屬スルモノ二十七線路延長百二十四里ナリ

(11)

電氣鐵道ハ高知市街ヲ基点トシテ南方浦戸港棧橋ニ西方吾川郡伊野町ニ東方土佐郡下知村ニ達ス  
 ル十一哩餘ハ既ニ開通シ下知村ヨリ長岡郡後免町ニ達スル四哩餘ハ目下工事中ニ屬セリ

(12)

港灣中主要ナルモノハ浦戸港、甲ノ浦港、須崎港、片島港等ニシテ神戸大阪其他四國九州ノ縣  
諸港及縣内各港ト往復スル漁船日々發着ス

國縣道起終點及延長

路 線 名	起 終 點	延 長
國道第三十二號線	自高知市本町元標 至高岡郡四角元標	十五里十四町
同 第三十三號線	自高知市本町元標 至安藝郡甲ノ浦村阿波國境	三十一里七町
假定縣道松山線	自高知市本町元標 至高知縣名取川村伊豫國境	十七里三十四町
同 縣 線	自高知市本町元標 至高知市本町元標	一 町
同 宿 毛 線	自高知市本町元標 至高知市本町元標	四十二里十四町
同 浦 戶 線	自高知市本町元標 至高知市本町元標	二十八町
同 下 田 線	自高知市本町元標 至高知市本町元標	二里七町
同 大 枋 線	自高知市本町元標 至高知市本町元標	十一里二十九町
同 津 野 山 線	自高知市本町元標 至高知市本町元標	十五里三十町
同 片 島 線	自高知市本町元標 至高知市本町元標	二十九町
同 須 崎 線	自高知市本町元標 至高知市本町元標	五里一町

十一、通 信

縣下郵便局ハ一等局一箇所ニシテ他ハ二等局ナリ就中電信電話事務ヲ取扱フモノ左ノ如シ  
電信ヲ扱フモノ

(13)

局 名	所 在	局 名	所 在
高知郵便局	高知市本町	山田郵便局	香美郡山田町
高知農人町郵便局	同 市農人町	本山郵便局	長岡郡本山町
安田郵便局	安藝郡安田村	後免郵便局	同 郡後免町
奈半利郵便局	同 郡奈半利村	豐永郵便局	同 郡西豐永村
甲ノ浦郵便局	同 郡甲ノ浦村	朝倉郵便局	土佐郡朝倉村
浮津郵便局	同 郡室戸町	伊野郵便局	吾川郡伊野町
佐喜濱郵便局	同 郡佐喜濱村	下ノ加江郵便局	幡多郡伊豆田村
安藝郵便局	同 郡安藝町	三崎郵便局	同 郡三崎村
長濱郵便局	吾川郡長濱村	才角郵便局	同 郡月灘村

(14)

高岡郵便局	高岡郡高岡町	下田郵便局	幡多郡下田村
佐川郵便局	同郡佐川町	宿毛郵便局	同郡宿毛町
久禮郵便局	同郡久禮町	佐賀郵便局	同郡佐賀村
窪川郵便局	同郡窪川村	柏島郵便局	同郡奥内村
須崎郵便局	同郡須崎村	清水郵便局	同郡清松村
越知郵便局	同郡越知町	野市郵便局	香美郡野市村
上ノ加江郵便局	同郡上ノ加江村	杉市郵便局	長岡郡東本山村
中村郵便局	幡多郡中村町	上川口郵便局	幡多郡畠川村
津呂郵便局	安藝郡津呂村	赤岡郵便局	香美郡赤岡町
池川郵便局	吾川郡池川村	與津郵便局	高岡郡與津村
大崎郵便局	同郡大崎村	有岡郵便局	幡多郡中筋村
橋原郵便局	高岡郡橋原村	入野郵便局	同郡入野村
新田郵便局	同郡東津野村	弘見郵便局	同郡奥内村
船戸郵便局	同郡同村	下川口郵便局	同郡下川口村
姫野々郵便局	高岡郡下半山村		
仁井田郵便局	高岡郡仁井田村		

電話ヲ取扱フモノ

局名	所在	局名	所在
朝倉郵便局	土佐郡朝倉町	赤岡郵便局	香美郡赤岡町
伊野郵便局	吾川郡伊野町	佐川郵便局	高岡郡佐川町
高岡郵便局	高岡郡高岡町	安藝郵便局	安藝郡安藝町

十二、行政區劃及戶口

(15)

郡市別	市町村數	市町村役場數	現住戶數	現住人口
高知市	一	一	八、一二〇	三七、七八一
安藝郡	二五	二五	一四、八〇二	八二、五三三
香美郡	二八	二七	一五、四三三	七九、五五五
長岡郡	二五	二四	一三、六三七	七五、二七七
土佐郡	一九	一九	一〇、三三七	五四、八七六
吾川郡	二六	二六	一一、七七三	六八、九二〇

(16)

高岡郡	三三八	三三八	二六、七四六	一四七、六八三
幡多郡	三六	三六	二二、九六二	一二六、八九九
合計	一九八	一九六	一二三、八一〇	六七三、五二二

第二章 産業

一、農 事

甲 普通農事

本縣ノ地勢タル北ハ連峰層巒ヲ負ヒ南ハ渺茫タル大洋ニ面セルヲ以テ山林及水産ノ二業ハ收利頗ル饒多ナリト雖モ山間ニ介在セル耕地ノ面積ハ比較的狭少ニシテ水田ノ總反別僅々三萬六千四百餘町トス而シテ農家ノ戸數ハ八萬四千七百餘戸ナルヲ以テ毎戸平均四反三畝餘歩ニ過ギズ又畑地ノ面積ハ約九萬町歩ヲ算スト雖モ其ノ大部分ハ伐畑ニ屬シ毎歲耕種ニ適スベキモノハ甚ダ少シ耕地ハ概シテ地味豊沃氣候亦温暖ナルヲ以テ穀菽其他ノ農作ニ適シ特ニ桑樹及楮三極等ノ如キハ到ル處之ガ栽培ニ適セザルノ地ナシ此ヲ以テ古來農作ノ改善發達ニ對シ意ヲ用ヒタルヲ甚ダ深カ

クシト雖モ當時ノ農民ハ尙未ダ頑迷ニシテ著シク改良ノ効果ヲ收ムルニ至ラザリシガ明治二十三年九月創メテ農學校ヲ設ケ一般農家ノ子弟ヲ教養シテ學理ト實地ノ併行ヲ促セシ以來農事改良ノ必要ハ漸ク一般ノ認識スル所トナレリ其後三十一年九月農事試驗場ヲ設立シ又縣令ヲ以テ農會規則ヲ發布シ町村農會ヨリ郡縣農會ニ至ル迄悉ク系統的ニ設立セシメ茲ニ全ク農事改良ニ關スル機關ノ設備完成ヲ告グ農界ノ活動漸ク旺盛ニ趣ケルト同時ニ改良ノ効果懸々トシテ見ルベキモノアルニ至レリ

今試ニ耕作田地ヲ表示スレバ左ノ如シ

(一) 田地ノ區分

一毛作田地	桑樹果樹其他樹木ヲ植付ケタル田地	六、六〇三
計	其ノ他ノ普通ノ一毛作地	四九、七五四
二毛作以上田地	普通作物裏作地	九、三五二
計	綠肥植物裏作地	一一五、四五六
		二〇六、八〇八

(17)

(18)

(二) 自小作地ノ區別

田	自作地	小作地	計
五九二、二九二	二〇八、五七七	一五六、二五〇	三六四、八二七
八五五、四九八	二六三、二〇六	八五五、四九八	
(三) 自小作別農家戸數			
自作	小作	自作兼小作	計
三三二、六八二	一五、九五六	三六、五六四	八五、二〇二

乙 果 樹

本縣ノ氣候土質共ニ果樹ノ栽培ニ適應セリト雖古來之ガ栽培ヲ試ムルモノ少ク從テ產額僅少ニシテ品質亦劣悪ナリ之ヲ以テ明治三十六年始メテ農事試驗場ニ果樹模範園ヲ設置シ之ト同時ニ專門技師ヲ置キ常ニ指導獎勵ノ任ニ膺ラシメ又三十七八年戰役ニ際シ紀念事業トシテ各戸ニ栽植ヲ勸

(19)

年 度	柑 橘		柑 橘 以 外 ノ 果 實	
	數 量	價 格	數 量	價 格
三十七年	六〇四、一九一	三四、五九四	一、三二〇、八九二	一七一、〇四〇
三十八年	六六八、〇六七	八九、七二二	一、二五〇、一一三	一九九、四〇四
三十九年	六〇一、六六九	六九、九一八	一、〇四八、二二五	一六八、六九二
四十年	六九三、五〇二	一一六、四三五	九八五、八九一	二二一、五二五
四十一年	五八八、三四六	九三、三二六	八九五、二〇〇	一九三、六一三
四十二年	六九六、三三七	一〇六、〇五五	八一、四六五	一八二、三四七

メ尙試驗場ニ苗圃ヲ設ケテ苗木ノ配布ヲ爲ス等極力獎勵ヲ加ヘタル結果近時著シク發展ノ趨勢ヲ示シ特ニネーブルオレンジノ如キハ其ノ品質優良ニシテ非常ノ好評ヲ博シツ、アリ今統計ニ依リテ其產額ヲ表示スレバ左ノ如シ

一、蠶 糸 業

(20)

本縣ノ蠶糸業ハ極テ發達ニ係ルト雖モ其ノ起源ハ遠ク千數百年ノ昔ニアルモノ、如シ其始メテ舊記ニ顯レシハ今ヲ距ル凡ソ千四十年前ニシテ清和天皇ノ貞觀年間ヨリ醍醐天皇ノ朝ニ涉リ絹帛ヲ朝貢セシ事蹟アリ而シテ延喜式ヲ以テ庸調及料度畫一ノ法キヨリ國內ノ蠶糸ヲ上中庶ノ三級ニ區別セシ際我土佐ハ中系國ニ屬セルヲ以テ當時已ニ比較的發達ノ域ニアリシヲ推知スルヲ得ベシ其後七百有餘年ヲ經テ慶長六年山内入國後寛永寛文年間ニ於テ一般奢侈ノ風習ヲ矯メ猥ニ絹帛ヲ用ケルヲ嚴禁シタルモ執政野中兼山盛ニ蠶桑ノ業ヲ獎勵セリ爾後殆ンド記録ノ見ルベキモノナキヲ以テ此間ニ於ケル斯業ノ盛衰ハ之ヲ詳ニスルヲ得ズト雖モ當時ニ於ケル藩主施政ノ方針及其他ノ狀況ニヨリ查察セバ毫モ進歩ノ認ムベキモノナキノミナラズ却テ漸次衰退ノ悲況ニアリタルヲ想像スルニ難カラズ維新以後ニ於テハ明治七年始メテ縣費ヲ以テ信州地方ヨリ桑樹數萬本ヲ購入シテ之ヲ各郡ニ配布シ同時ニ教師ヲ派遣シテ栽培ノ方法ヲ教ヘシメ後或ハ模範桑園ヲ設ケ或ハ桑園ノ苗圃ヲ設ケ以テ獎勵ニカラテ致シタル結果栽桑養蠶ノ業ハ漸ク縣内ニ普及スルニ至レリ從テ蠶繭ノ產額逐年多キヲ見ルモ製糸ノ術頗ル幼稚ニシテ繭價振ハズ動モスレバ斯業ノ頓挫ヲ來

サントスルノ恐アリシニヨリ百方創策主カテ製糸業ノ發達ニ注ギ座繰製糸傳習所ヲ設ケ又ハ器械製糸場ノ設置ヲ獎勵セシ以來著シク蠶繭ノ需要購買力ヲ増進シ間接ニ養蠶ノ發達ヲ促進シタル効果尠カラズ其ノ收購石數已ニ三萬八千餘石ニ達シタリト雖モ種類雜駁加フルニ殺蛹乾繭ノ方法未ダ充分ナラザルヲ以テ原々種ノ改良統一ヲ計ルト同時ニ稚蠶共同飼育所及殺蛹乾繭所ノ設置ヲ獎勵シ特ニ縣下製糸ノ大部分ヲ占ムル座繰達摩糸ニ對シ共同揚返組合及其聯合會ヲ組織セシメ検査類別ヲ爲シ共同販賣ヲ實行セシメタル等一般蠶糸業ニ關スル施設經營ハ着々良好ノ成績ヲ收メツ

今試ニ明治十一年以降養蠶ニ關スル統計并ニ器械製糸場及座繰達摩共同揚返組合ノ現在數ヲ掲ク

レバ左ノ如シ

(21)		桑園反別		飼育口數		收購石數	
年次	年	不明	一〇二五〇	不明	不明	四四二	七〇〇
十一年	十一年						
十五年	十五年						

二十五年	二十五年	二十五年	二十五年	二十五年	二十五年	二十五年	二十五年	二十五年	二十五年
不明	五二六七	四、八五一三	二、七三四一	二、三九七〇	二、五二五五	三、〇五九五	三、七六九六	不明	一五、一九四
不明	二九、五九八	三四、一七五	三五、八九一	三五、五六四	三五、〇四六	三四、一四五	不明	二、五四三	四、三三三
二、五四三	一九、一八七	一五、九四五	三〇、九九八	三六、〇一一	三六、三〇一	三八、三七七	不明	二、五四三	四、三三三

備考 三十五年收購少キハ箱書アリケルニ由ル

器械製糸場 (四十二年現在)

場別	所在地	組織	釜數
並村製糸場	安藝郡安藝町	組合會社	五〇
片地全	香美郡片地村	組合	五〇
朝峰全	長岡郡介良村	全	五二
白洋全	土佐郡一宮村	全	五〇
越知製糸株式會社	高岡郡越知町	株式會社	二七〇
幡多製糸場	幡多郡中村町	組合	九八
中村全	全	全	三〇
嶺北共同製糸場	土佐郡森村	全	二四

座繰達摩生糸共同揚返所 (四十二年現在)

所別	所在地	組織	揚返台數
香長共同揚返所	長岡郡新改村	組合	五七
岩鷹全	香美郡佐治村	全	三〇
山田全	長岡郡山田町	全	一六八
大藤全	長岡郡大藤村	全	三〇
明治全	香美郡明治村	全	五〇
岩改全	全	全	三〇
美良布全	全	全	八〇



(24)

前嶺共同場返所	香美郡前濱村	組	三〇
豊永全	長岡郡東豊永村	全	三〇
佐川全	高岡郡佐川町	全	二四
西畑全	香川郡仁西村	全	一六
越知全	高岡郡越知町	全	三〇
新高全	全 新居村	全	四〇
大柄全	香美郡旗山村	全	三〇
宇佐全	高岡郡宇佐村	全	三〇
赤野全	安藝郡赤野村	全	三〇
川北全	全 川北村	全	三〇
和食全	全 和食村	全	三〇
幡東全	幡多郡七郷村	全	三〇
安田全	安藝郡安田村	全	三〇
高知全	土佐郡小高坂村	全	三〇
合			

三、畜産

縣下ニ於ケル畜産事業ニ就テハ昔時ニ在リ既ニ數箇所ノ牧場ヲ各地ニ設置シ之ガ生産ヲ獎勵シタルコト舊記ニ散見セルノミナラズ古來土佐駒垂生牛等ノ名聲ハ汎ク世ニ知ラレ今ニ至テ衰ヘサル事實ニ徴スルモ畜産事業ハ本縣ニ最適應セル好箇ノ副業タルヲ證スルニ足ルベク從テ之ガ保護獎勵ニ關シテ從來施設經營シタルコトモ亦鮮シトセズ今試ニ牛馬ノ沿革消長ニ關スル大要ヲ略叙スレバ左ノ如シ

畜牛

從來縣下産牛ノ地ハ香美郡旗山並生ノ兩郷及幡多郡江川崎地方ナリシモ年々ノ生産僅少ナリシヲ以テ多少ハ隣縣ヨリ輸入シ主ニ耕耘運搬ノ爲メニ使用シ蕃殖ノ用ニ供スルモノハ甚ク稀ナリシカ世運ニ進歩ト共ニ肉食ノ途大ニ開ケ畜牛ノ數、年毎ニ減少セルニヨリ明治十二年以來數年間縣費ヲ以テ牧牛試驗場ヲ置キ隣縣並ニ但馬地方ヨリ牝牛數百頭ヲ購入シ養ニ勸農局ヨリ貸付ヲ受ケタル種牛二頭ト共ニ之ヲ主産地ニ貸與シ專ラ生産ノ用ニ供セシメ漸次之カ普及ヲ計レリ其ノ後明年二十年ニ至リテハ高知牧牛會社ノ創立セラル、ヤ從來各郡ニ貸與セル種牛牝牛千餘頭ハ之ヲ聞

(25)

(26)

會社ニ拂下ダ斯業ノ改良普及ニ從事セシムルコト、セルモ幾モナクシテ會社ノ經濟窮迫ニ陥リ拂下ヲ爲シタル畜牛ヲ賣却スルニ至リタルヨリ一時改良ノ機運ニ向ヒタル畜産事業モ茲ニ復ヒ墜跌ヲ來タシ漸次ニ退歩ノ傾向アルノミナラズ時運ノ趨勢ト共ニ益々畜牛ノ改良蕃殖ヲ計ルノ急要ナルヲ認メタルヲ以テ明治三十九年度以來各郡ニ産牛馬組合ノ設立ヲ促シ毎年種牡牛ヲ購入セシメテ專ラ改良蕃殖ニ努メツ、アリ

馬 匹

馬匹ハ從來ノ主産地ハ高岡郡江波郷幡多郡中筋地方及中村麻岡ノ諸村ニシテ世ニ土佐駒ト稱シ蹄最モ堅ク徒足能ク峻坂ヲ跋渉スルニ足ルモ體軀矮少其性猛烈ニシテ到底實用ニ適セズ故ニ藩政時代ニ於ケル軍用馬匹ハ多ク奥州地方ヨリ購入シ常ニ數百頭ハ厩舎ニ收養スルヲ例トセリ而シテ藩主ノ乗用馬匹ハ勿論其ノ他各藩士ノ繋留セル軍馬ニシテ廢用ニ歸シタルモノ、中體格善良ナル者ハ之ヲ主産地ニ配付シテ種付ニ供用セシメタルヲ以テ漸次改良ニ赴キツ、アリタルモ廢藩置縣ト共ニ一時全ク保護獎勵ノ法ヲ廢シタルヲ以テ次第ニ退歩ノ舊態ニ復スルニ至レリ其後明治十四年ニ

至リ官民之レカ改良ノ必要ヲ唱フルニ及ビ縣費ヲ以テ奥州ヨリ種牡馬數頭ヲ購入シ宮内省及陸軍々々馬局ヨリ貸下ヲ受ケタル二頭ノ種馬ト共ニ之ヲ主産地ニ貸付セリ其ノ後農商務省並ニ陸軍官憲ヨリ雜種馬五頭ト漆洲及露産牝馬十五頭ノ貸付若ハ特賣ヲ受ケ各郡産牛馬組合ニ交付シ尙毎年補助金ヲ交付シテ牝牡數頭ノ購入ヲ爲サシメツ、アリ右ノ外明治三十一年度以來縣費ヲ縣農會ニ交付シテ主産地ニ馬匹ノ品評會ヲ開設セシメタリシモ四十年以降ハ是等品評會ハ各郡ノ自營ニ委シ更ニ縣共進會ヲ開催スルコト、シ百方獎勵ヲ加ヘタル効果空シカラス近年ニ至リ著シク其面目ヲ一新シ頗ル優等ナル馬匹ヲ産出スルニ至レリ

畜牛統計

(27)

年次	牝	計	生産數
二十四年	九、一五〇	一五、一八五	一、一一四
二十七年	九、九八九	一六、六三八	一、五二三
三十年	一二、八七三	一九、七七九	二、一六七
三十三年	一一、一六五	一七、四三四	二、〇九七

(28)

三十九年	九、九四六	四、八六六	一四、八二四	一、五四五
三十九年	一〇、〇四四	四、四六一	一四、五〇五	二、二六二
四十年	一〇、七〇六	四、八三七	一五、五三三	二、七三七
四十年	一〇、九六八	五、四二〇	一六、三七八	三、一〇五
四十二年	一、七六九	五、七三六	一七、五〇五	三、五七四

馬匹統計

年次	牝	牡	計	生産數
二十四年	一三、六二六	一五、〇一九	二八、六四五	一、三五八
二十七年	一四、一三五	一三、六八三	二七、八三八	一、六〇三
三十年	一六、九六五	一六、一九五	三三、一六〇	一、五七一
三十三年	一六、五三四	一四、五七四	三一、一〇八	一、八二六
三十六年	一四、五九七	一四、六六一	二九、二五八	一、五六五
三十九年	一三、六六二	一二、六一二	二六、二七四	一、七六七
四十年	一二、八五六	一二、九五三	二五、八〇九	一、八〇一

四、林業

本縣ノ山林ハ國有林十二萬餘町歩民有林二十五萬餘町歩合計三十八萬餘町歩ノ大面積ヲ有シ縣下全地積ノ約八割ヲ占ム、而シテ山岳ノ形狀ヨリ氣候地質等一トシテ營林事業ニ適應セザルハナク之ガ施設宜キヲ得經營其當ヲ誤ラザルニ於テハ實ニ本縣ニ於ケル無盡ノ富源タリ

本縣山林ノ經營ハ其起源遼然トシテ之ヲ推認シ難シト雖モ過去六百年前ニ於テ既ニ土佐木材ハ本邦著名ノ物産ニ數ヘラレ其名聲噴々タリシ事實ヨリ考フレバ起源ハ尙遠ク其以前ニ在リシヲ推知スルコトヲ得ベシ而シテ此森林ノ保護經營ニ就テハ古來意ヲ用フルコト殊ニ深ク就中元祿大定目中ニ規定セシ山林定規ノ如キ林制頗ル完備セルヲ見ルベシ、爾來廢藩ニ至ル迄更ニ山奉行ヲ置キ或ハ仕置役ニ附屬セシムル等多少ノ變遷アリ又時ニ寛嚴ノ差ナキニアラズト雖モ其保護監督ノ點ニ於テハ大同小異ニシテ毫モ遺憾ナカリシガ如シ故ニ隨所鬱蒼タル樹林ヲ以テ蔽ハレ年々幾多良ノ

(29)

(80)

材巨木ヲ產出セシヲ以テ築城其他建築用材トシテ之ヲ國外ニ輸出シ又ハ獻納セシ實例尠シトモズ然ルニ明治初年ニ至リ廢藩置縣ト共ニ制度ノ弛緩ニ伴ヒ斧鉞山林ニ入り昔日ノ蔚蒼タリシ深林巨樹モ唯僅ニ國有林ニ其殘影ヲ止ムルノ外民有山林ハ年々濫伐ノ慘禍ニ遭遇シ漸次荒廢シテ秃山緒峰ト變シ隨テ土砂ノ崩壞洪水ノ氾濫等年々ノ患害一ニシテ足ラザルノ慘況ヲ呈セリ此ニ於テ一般殖林ノ獎勵ハ寸時モ忽諸ニ付スベカラザルヲ認ムルト共ニ時運亦益營林ノ急要ヲ促スノ趨勢トナレリ明治三十年森林法ヲ發布セラレ痛ク林政上ニ於ケル上下ノ注意ヲ喚起スルト同時ニ林業界ノ前途漸ク多事ナルノ好況ヲ示セリ此時ニ當リ本縣ハ大ニ林業ノ進歩發達ヲ企圖セシガ爲ニ明治三十年度ヨリ縣費ヲ支出シ私有林ニ對スル補助獎勵ノ方法ヲ設ケ或ハ林業巡回教師ヲ置キ或ハ縣内各地ニ講話會ヲ開設スル等益々林業ノ鼓吹ニ努メタル効果空シカラズ爾來林業思想ハ著シテ發達シ殖林面積ハ年々倍加スルノ盛況ヲ見ルニ至レリ尙去ル三十五年度ヨリ多額ノ縣費ヲ投シテ森林調査員ヲ置キ縣下主要ナル河川流域ニ屬スル民有林野伐畑等ヲ普ク調査シ茲ニ營林及治水上ノ方針ヲ確立シ爾來之ニ基キテ開墾ノ禁止或ハ造林命令等ノ實行中ニ屬セリ今前記民有林補助ノ成績

ヲ舉クレハ左ノ如シ

### 民有林補助成績

年 度	植 栽 樹 苗 數	植 栽 面 積	補 助 金
三 十 年 度	四八三、五六五	一四〇、四八、一四	四六七、四九三
三 十 一 年 度	一、一四二、二〇〇	一三八、六六、一〇	六八五、五一〇
三 十 二 年 度	一、一五三、七六一	一三八、二三、一五	一、二六二、五三〇
三 十 三 年 度	二、一三一、四五三	二五三、〇四、二一	一、二一三、九五四
三 十 四 年 度	一、九四三、六四〇	二三四、六三、二三	一、一八七、二〇一
三 十 五 年 度	三、〇五三、二七二	四一二、六五、一三	一、四八四、九二〇
計	九、八九七、八九一	一、三一七、七二、〇六	六、三〇一、六〇八

(81)

縣下公有山林ハ近時著シク減少セリト雖モ尙四萬七千餘町歩ヲ有シ而モ一般私有林ニ比シ荒廢甚シキヲ以テ之カ保護監督ノ方法ニ就テハ一層嚴密ナラシメン事ヲ期シ去ル明治三十六年ニ於テ公有山林取締規程ヲ設ケ特別ノ事情アルモノヲ除ク外全部造林セシムルノ方針ヲ以テ爾來林野ノ整

(82)

理に着手し、明治三十八年度より戦時記念林設置獎勵之目的ヲ以テ公共團體ノ造林ニ對シ補助金ヲ交付シ、今尙繼續施行中ニ屬セリ、其成績左ノ如シ

公共團體造林補助成績

年次	植栽樹苗數	植栽面積	補助金
三十八年	二、〇一五、二一五	五二七、五〇〇	二、九九九、八九〇
三十九年	一、四一六、四三四	三一九、五〇〇	二、九九九、九二四
四十年	二、一六五、四一四	四三六、四八一	三、〇〇〇、〇〇〇
四十一年	七三二、八一	二〇五、〇〇〇	二、九九九、九九九
四十二年	七二六、九八四	二二一、四〇〇	二、九九九、八七五

五、商工業

本縣ノ商工業ハ陸ニ鐵道ノ敷設ナク海ニ良好ノ港灣乏シキヲ以テ貨物ノ運搬遲滯シ加フルニ運賃高價ニ上及尙一般ニ勞銀高値ナルヲ以テ從來特ニ原料ノ豊富ナルモノ、外ハ其ノ發達遲緩ナルヲ免レス然レトモ近時縣營水力電氣事業モ既ニ完成シ低廉ナル動力ヲ供給スルニ至レルヲ以テ今後鐵道開通ノ便ヲ得ルニ至ラバ商工業ハ漸次好況ヲ呈シ一層發達ノ機運ニ遭遇スル期アルベシ今重要ナル工産物ニ付左ニ其梗概ヲ掲ク

紙

(83)

紙ハ一ヶ年ノ産額約四百萬圓ニシテ縣下工産物ノ首位ヲ占ム其產地ハ各郡市ニ亘リ就中吾川、高岡ノ二郡最盛ナリ種類ハ三十餘種ニシテ典具帖、コッピ―紙及薄柳紙ハ海外ニ輸出セラレ其額約三十萬圓ニ達ス今本縣ニ於ケル製紙ノ起源ヲ釋スルニ推古天皇ノ御宇僧曇徴ノ始メシ所ナルカ如ク其後延喜式ノ御用品トシテ献上セシコトアリ國主山内氏ハ國中ニ令シテ楮ノ栽培ヲ爲サシメ又製紙ノ販路擴張ヲ圖ル等諸種ノ方法ヲ以テ紙業ヲ獎勵シ爲ニ國內ニ普及ス維新後ハ需用益多ク産額亦増加セリ明治十八年當業者相謀リテ高知縣紙業組合ヲ組織セシニ機未タ熟セズ遂ニ二十二年ヲ以テ解散スルニ至リシカ更ニ二十九年土佐紙業組合ヲ組織シ爾來獎勵保護及取締ヲ行ヒ斯業ノ發達ニ努メンコト少カラズ爲ニ今日ノ盛況ヲ見ルニ至レリ而シテ輸出紙ハ十八年ニ海外諸國ニ

(34)

製 茶

見本ヲ送リ二十年ニ神戸ニ於ケル米國商館ニ販賣ヲ試ミシニ始リ爾來益好況ニ向ヘリ  
 製茶ハ近年米國ニ於ケル商況不振ノ爲メ産額減少セシト雖由來本縣ハ野生ノ茶樹頗ル多キヲ以テ  
 一朝販路ノ開クルニ至ラバ産額直チニ増加スベシ現時其種類ハ紅茶、綠茶其他數種ニシテ就中紅  
 茶ハ明治十年勸農局ガ本縣ニ於テ試製ヲ爲シ十一年及十二年ニハ傳習所ヲ開設シ十三年ニハ製造  
 及販賣ノ目的ヲ以テ縣下ノ有志者相結合シ混々社ト稱スル會社ヲ設立シテ官金ヲ資本ニ融通シ以  
 テ同社ノ發達ヲ助ケ一時盛ニ營業セリ其後三十七年ニハ露國ニ試賣セントシ將ニ發セントスルニ  
 方リ戰端開ケシ爲轉ジテ之ヲ濠洲シドニニ試賣シ三十九年ニ滿洲ニ於ケル販路ヲ調査セリ  
 磚茶、烏龍茶ハ二十年ニ茶業組合ヨリ委員ヲ支那臺灣ニ派遣シテ傳習ヲ受ケシメ二十二年ニ至リ  
 始メテ之ヲ製造セリ其後重テ傳習生ヲ派遣シ又ハ海外ニ委員ヲ派遣シ販路ノ調査ヲ爲ス等益斯業  
 ノ發達ニ努メツ、アリ

六、水 産

本縣ハ海岸線約百里ニ達シ黒潮常ニ沿岸ヲ洗フヲ以テ各種ノ魚族饒多ニシテ漁獲物年額約三百餘  
 萬圓製造物約百六十萬圓ニ上ル而シテ漁獲物ノ主ナルモノハ鯉、鮪、鰻、鱒、鯖、鯨及珊瑚等ニ  
 シテ製造物ノ主ナルモノハ鯉節、鮪節、鰻、煮乾鰻等ナリトス營業者明治二十一年ニ於テ同業組合  
 ヲ組織シ爾來斯業ノ改良發達ヲ圖リ又縣ニ於テモ三十二年ヨリ二箇年間巡回教師ヲ置キ三十四年  
 以降水産試驗場ヲ設置シ年々各種ノ試驗ヲ施行シ獎勵ニ努ムルノ外漁船ノ改良韓海通漁燈臺及暴  
 風信號標ノ建設等施設獎勵ヲ加ヘタルコト尠カラズ今其主要ナルモノニ就キ梗概ヲ述ブレバ左ノ  
 如シ

鯉

鯉ハ漁獲高一箇年約八十萬圓ニ上リ漁業中ノ首位ヲ占メ鯉節ハ其價格八十萬圓ニ達シ製造業中ノ  
 首位ヲ占ム鯉漁業創始ノ年代ハ詳ナラズト雖モ今ヨリ凡ソ二百六十年前紀伊ノ人ニ依リテ傳ヘラ  
 レタルモノ、如シ、又鯉節ハ藩政時代ニ於テ藩主ヨリ幕府ヘ献上ノ品タリシヲ以テ其製造及漁業  
 ニ付藩廳ヨリ資金ヲ融通シ製品ノ検査ヲ行ヒシ爲事業盛大ニ趣キ品質亦改良セラレ土佐節ノ名聲

(35)

(36)

ヲ發揚スルニ至レリ然ルニ維新後ハ右ノ保護及取締廢セラレ斯業一時退歩ノ傾アリシモ一般需用ノ増加ニ伴ヒ産額著シク増加シ既往十ヶ年前ニ比シ約倍數ノ多キニ上レリ近時又水産試驗場ニ於ケル試驗ノ結果漁船ニ石油發動機ヲ應用スルニ至リ大ニ漁獲ヲ増加シ現時石油發動機船約二十餘艘ニ達シ追年増加ノ狀況ニシテ遠ク九州五島近海ニモ出漁スルニ至リ著シク盛況ニ向ヘリ

鮪

鮪ハ一箇年漁獲高約十五萬圓ニ上リ鮪節鹽鮪ノ製造價格約六萬圓ニ達ス漁法ハ一本釣延繩ニシテ大敷網ハ弘化年間長門ノ人ヨリ傳ヘシト云フ

鰹

鰹ハ沿海到ル所ニ産シ其額年々約十萬圓製造物價格約六萬圓ニ達セリ漁法ノ主ナルモノハ地曳網縛リ網八田網棒受網揚網瓢曳網等ニシテ製造法ノ主ナルモノヲ煮乾、素乾、鹽乾及節トス就中節ハ明治二十七年頃ノ創始ニ繫リ其製造ハ全國中本縣ヲ以テ嚆矢ト爲スガ如シ

鯨

鯨ハ從前主トシテ建網ヲ以テ漁セシガ明治三十年ニ宮崎縣ヨリ鯨大敷網ヲ移シ之ヲ高岡郡ニ敷設セシニヨリ漁獲著シク増加シ各地競フテ敷設スルニ至レリ一箇年ノ産額約二十五萬圓ヲ算ス

鯖

鯖ハ一箇年漁獲高約十萬圓其ノ製造物價格約三四萬圓漁法ハ建網一本釣ニシテ夜焚漁業ハ慶應年間日向ヨリ傳ヘシモノニシテ製法ハ鹽漬及節ニ製ス

鯨

鯨ハ本縣ノ特産物ニシテ之ヲ捕獲スルニハ從來網ヲ以テシ獵額毎獵期二十頭内外價格五六萬ナリシガ三十九年ヨリ銃殺法ヲ行フ者アルニ至リ其ノ成績頗ル良好ナルヨリ同漁業者續々増加シ一獵期中僅少ノ日子ニ於テ頭數約二百價格二十五萬圓ニ達セリ而シテ本縣ニ於テ鯨ヲ獵獲セシハ天正十九年ニシテ此ノ鯨ハ當時ノ國主長曾我部氏ヨリ形ノ儘ニテ豊臣氏ニ獻上シタリト云フ其後山内氏ノ時代ニ於テ捕鯨業ニ特別ノ保護ヲ與ヘテ之ヲ經營セシメ維新以後繼續シ明治三十九年銃殺捕鯨ノ開始ニ依リ舊來ノ網取法ハ廢絶セリ

(87)

(38)

### 珊瑚

珊瑚モ亦本縣ノ特産物ニシテ其産額毎年約二十五萬圓ニ上ル探採場ハ安藝郡室戸岬及幡多郡陸陀崎沖合ニシテ夏期盛漁ノ頃ハ探採船數百艘ニ上リ頗ル賑盛ナル光景ナリ藩政ノ頃ニ在リテハ探採ヲ禁ゼシ爲竊ニ之ヲ採取スルニ過ギヤリシガ維新以後ハ各地ノ漁民競フテ探採シ現ニ兩漁場共盛況ナリ漁具ハ初ハ桁ヲ付シタル網ナリシガ近來ハ桁ヲ廢シ網束ヲ用フルコト、ナレリ販路ハ内國用ニ供スルモノアリト雖モ主ニ伊太利ニ輸出シ居レリ

### 錫

錫ハ清國向輸出品ニシテ一箇年ノ産額約二萬圓ナリ藩政以前ニアリテハ産額甚ダ僅少ナリシガ維新以後島賊夜焚漁法盛ナルニ至リシヨリ漸次増加セリ

### 七、水力電氣事業

各種事業ノ原動力ヲ廉價ニ供給シ縣下産業ノ振興ヲ促シ公益ヲ増進スル爲メ縣費ヲ以テ水力電氣事業ヲ經營シ長岡郡新改村ニ於ケル浦喜峯疏水ヲ利用シ有効ノ落差六百呎ヲ以テ同村平山ニ發電所ヲ設ケ延長十餘哩ノ輸送線路ヲ經テ土佐郡江ノ口町ナル變壓所ヨリ高知市附近ノ各町村ニ馬力一千ノ電力ヲ供給セントス本事業ハ當初三箇年ノ繼續事業トシテ經費二十六萬二千圓ヲ投シ電力五百馬力ヲ供給スルノ目的ヲ以テ計畫セラレシモ偶々日露戰役起ルニ會シ一般經費ノ節約ヲ圖ルノ必要ニ迫ラレ繰延ノ已ヲ得ザルニ至リシカ平和克復後明治三十九年度ニ至リ初メテ其工事ニ着手セリ然ルニ戰後ニ於ケル縣下産業界ノ大勢ハ到底既定ノ五百馬力ヲ以テ需用ヲ充タス能ハザルベキヲ認メ供給馬力ヲ一千馬力ニ増加センガ爲其計畫ヲ變更シテ前後兩度ニ三十九萬二千圓ノ縣債ヲ募集シ明治四十二年一月ヲ以テ工事全部ノ完成ヲ告ケ全年二月十一日ヨリ事業ヲ開始セリ爾來日尙ホ淺ク未タ豫期ノ需用ヲ見サルモ頗ル良好ノ成績ヲ收メツ、アリ蓋シ縣營ヲ以テ本事業ヲ經營セルハ全國中本縣ヲ以テ嚆矢トス

### 八、銀行

(39) 本縣ニ於ケル銀行ハ普通三貯蓄二農工一アリ何レモ基礎鞏固ニシテ信用アリ今各銀行ノ資金、拂込濟資本金、積立金及利益配當割合左表ノ如シ



(40)

銀行名稱	創立年月	資本金	拂込資本金	積立金	最近利益配當割合
高知銀行	三十年三月	八〇〇,〇〇〇	八〇〇,〇〇〇	五〇,〇〇〇	年六歩
土佐銀行	三十九年三月	一,〇〇〇,〇〇〇	五〇〇,〇〇〇	一五〇,〇〇〇	年一割
土佐貯金銀行	二十九年四月	一〇〇,〇〇〇	二五〇,〇〇〇	五〇,〇〇〇	年一割五分
高知貯蓄銀行	二十九年三月	一〇〇,〇〇〇	五〇,〇〇〇	一三〇,七〇〇	年一割二分
土佐農工銀行	三十一年九月	四〇〇,〇〇〇	四〇〇,〇〇〇	二四一,五〇〇	年九歩
赤岡銀行	三十三年三月	一〇〇,〇〇〇	二五〇,〇〇〇	五二,〇〇〇	配當セス

### 第三章 産業機關

#### 高知縣農事試驗場

本場ハ明治三十二年長岡郡長岡村ニ設置シ一町五反餘歩ノ試作地ヲ有シ各種試驗ノ傍ラ主トシテ米麥改良ノ模範ヲ示スヲ目的トシ別ニ六反歩ノ採種田ヲ置キ各郡採種田ト氣脈ヲ通シ品種ノ改良ニ資セリ又三十六年四月同郡久禮田村ニ一町一反歩ノ果樹模範園ヲ設ケテ栽培其他ニ關スル模範ヲ示シ之カ普及發達ヲ促シツ、アリ尙又農家ノ副業トシテ速成栽培ノ普及ヲ計ランカ爲メ長岡郡三里村ニ速成栽培所ヲ設ケ各部ニ甘藷ノ速成栽培ヲ囑託シ今尙繼續施行中ニ屬ス

家禽亦改良ノ急要ナルヲ認メタルニヨリ優良ノ種禽ヲ購入シ種卵ノ配付ヲナサシメツ、アリ

#### 高知縣農會 (高知市西弘小路)

農事ノ改良發達上農會設置ノ急要ナルヲ認メ明治三十一年四月縣令ヲ以テ農會規則ヲ制定シ町村農會ヨリ順次郡縣農會ニ至ル迄悉ク之ヲ系統的ニ設立セシメ翌三十二年農會法及農會令ノ發布セラレタルヲ以テ直ニ該法令ニ依リ之ヲ承繼シ以テ今日ニ及ベリ此ノ如ク本縣農會ハ法令發布以前ニ於テ既ニ悉ク成立ヲ見ルニ至リシト雖モ其基礎未タ鞏固ナラス從テ所要ノ經費ヲ一般會員ニ負擔セシム得ザルヲ以テ當初ヨリ現時ニ至ル迄毎年巨額ノ縣費ヲ補助シ普通農事ノ改善ハ勿論更ニ進テ養蠶畜産等ノ普及發達ニ盡瘁セシ結果着々良好ノ成績ヲ收メツ、アリ今試ニ農會ノ施設經營セル各種事業中其主要ナルモノヲ列舉スレバ左ノ如シ

一、農事ニ關スル講話講習會

二、種子澆水撰

(41)

(42)

- 三、稻正條植
- 四、立毛品評會
- 五、郡町村採種田設置
- 六、害虫驅除
- 七、麥奴豫防
- 八、堆肥場設置
- 九、稚鷺共同飼育
- 十、農產品評會
- 十一、畜產品評會
- 十二、果物品評會

土佐紙業組合 (高知市本町)

本組合ハ明治二十九年縣令ノ下ニ組織セラレ設置以來巡回教師數名ヲ置キテ巡回指導ヲ爲シ或ハ検査員ヲ置キテ取締ヲ嚴密ニシ全三十年以降ニ於テハ數年間補助ヲ與ヘテ大ニ原料ノ栽培ヲ獎勵シ全三十二年ニ至リ組合内ニ手漉器具ヲ設備シ原料藥品等ノ試験ヲ爲セシニ漸次擴張ノ必要ヲ生シ更ニ四十一年度以降縣費ノ補助ニ依リ土佐郡鴨田村ニ製紙試驗場ヲ設置シ手漉試驗ヲ爲シ次テ器械漉工場ヲ増設シ爾來各種紙類ノ試験分拆等ヲ爲シツ、アリ其他組合ニ於テハ原料製法ノ改良、設備ノ改善販路ノ擴張ヲ圖ル等其他施設セル事業頗ル多シ

高知縣水産試驗場

高知縣水産試驗場ハ明治三十四年高岡郡須崎町ニ設置シ漁撈、製造、養殖ノ三課ヲ置ク主ナル施設事業ハ漁場ノ探検、遠洋漁業試験及重要製品ノ改良試験並魚介藻ノ養殖試験、海洋觀測等ニシテ眞珠介ノ養殖ハ明治三十七年度ヨリ高岡郡浦ノ内灣須ノ浦ニ三萬四千余坪ノ養殖場ヲ設ケ人工眞珠養成試験ヲ實行セリ海洋觀測ハ本場ノ外幡多郡柏島安藝郡室戸ノ二箇所ニ觀測場ヲ設ケ施行ス又漁獵員及製造技術員養成ノ爲講習規程ヲ設ケ當業者ノ子弟ニ漁撈製造ノ技術ヲ講習セシメ其外水産上ニ關スル各種ノ試験ヲ施行シ當業者ヲ指導獎勵シツ、アリ

高知縣蠶絲同業組合 (高知市帶屋町)

(43)

本組合ハ蠶種製造、全販賣、生絲製造、全販賣ノ四種營業者ヲ以テ組織シ明治三十四年四月創立セルモノニシテ基礎漸次鞏固ヲ加ヘ基本財産積立額ハ四千七百余圓ニ達シ組合員數千四百八十七人ヲ有セリ而テ現時ノ事業ノ概目左ノ如シ

一 春蠶種ノ改良統一

(44)

- 一 生絲ノ改良及其共同販賣
- 一 繭懸賞購入、補助
- 一 製絲教師養成

土佐商工聯合會 (高知市帶屋町)

本會ハ明治廿七年六月高知市内ニ於ケル商工業組合ノ聯合ヲ以テ組織シ四百余名ノ會員ヲ有ス  
本會ハ商工業ニ關スル利害得失ヲ講究シ斯業ノ發達ヲ圖ルヲ以テ目的トシ特ニ商取引ニ關シテハ  
舊來ノ惡慣ヲ去リ改善ノ方法ニ留意ス

高知商業會議所 (高知市帶屋町)

高知商業會議所ハ明治二十三年ノ設立ニ係リ高知市一圓及土佐郡下知村、江ノ口町、小高坂村、  
旭村ノ聯合ヲ區域トシ商工業ニ關スル調査研究ヲ爲シ其ノ改善發達ニ資シツ、アリ

高知縣茶業組合聯合會議所 (高知市九反田)

明治二十年茶業組合規則ニヨリ各郡市ニ茶業組合ヲ設置シ翌二十一年二月ニ至リ是等組合ノ聯絡

發達ヲ期スル爲聯合會議所ヲ設置シ爾來巡回教師ヲ置キ營業者ヲ指導シ或ハ縣外ヨリ講師ヲ聘シ  
各地ニ講習所ヲ開設シ三十三、四ノ兩年度ニ於テハ製茶器械數台ヲ購入シ主産地ニ配付シテ器械  
製茶ノ獎勵ヲ試ミ尙販路擴張ヲ目的トシ屢々海外ノ情態ヲ調査シ其ノ他製茶ノ検査ヲ爲シ不正品  
ノ取締ヲ爲ス等斯業ノ改良發達ヲ期シツ、アリ

高知縣水産組合 (高知市中島町)

水産組合ハ明治十九年漁業組合準則ニ依リ同二十年ニ創立シタルモノニシテ當時ハ海面漁業組合  
ト稱シ漁業者ヲ以テ組織セシカ明治二十九年水産業取締規則制定ニ依リ組織ヲ變更シテ漁業者并  
水産製造業者ヲ加盟セシメ水産業組合トナリ明治三十四年漁業法ノ發布ニ依リ全法ニ基キ現時ノ  
水産組合トナレリ組合ノ地區ハ浦戸灣ヲ除キタル縣下沿岸一圓ニシテ事務所ヲ高知市ニ設置シ  
多郡奥内村柏島、全郡清松村清水、高岡郡須崎町、安藝郡室戸町ノ四ヶ所ニ出張所ヲ置ク組合業  
務ノ主ナルモノハ漁船漁具ノ改良獎勵、重要製品ノ改良獎勵、朝鮮海出漁獎勵、漁業者救濟方法、  
博覽會共進會品評會出品獎勵、縣外漁業調査漁業組合ノ保護督勵、漁業者紛議調停等ニシテ其外

(45)

(46)

水産業ニ關スル學術并經驗アル有力者ヲ招聘シ主ナル漁業地製造地ニ水産集談、研究會、講話會ヲ開催シ又ハ改良漁具試驗并調査ヲ爲シ組合員ヲ指導獎勵セリ

#### 土佐絹織物組合 (高知市帶屋町)

本組合ハ明治三十年十二月高知縣絹織物製造業者ヲ以テ組織シ絹織物ニ關スル業務ノ改良増殖ヲ圖リ業務上ノ弊害ヲ矯正シ織物ノ品位ヲ進メ信用ヲ保持シ倍々販路ヲ内外ニ擴張スルヲ以テ目的トス

#### 土佐木綿同業組合 (高知市帶屋町)

本組合ハ綿織又ハ絹織交織ノ製造、仲買及販賣業者ヲ以テ組織シ明治三十二年二月創立セリ而テ主ナル事業ハ巡回教師ヲ置キ染織并ニ原糸撰擇等ノ指導實習講話ヲ開催シ織機ノ改良ヲ計レリ

#### 高知縣酒造組合聯合會 (高知市帶屋町)

本會ハ安藝郡香美郡、長岡郡吾川郡、高岡郡幡多郡及高知市ノ各酒造組合ヲ以テ組織シ明治三十四年九月創立セシガ稅務署管轄區域廢合ノ結果明治四十三年三月長岡吾川兩郡組合ハ高知組合ニ加入セリ事業ノ概目左ノ如シ

- 一 酒類釀造法ノ改良
- 一 酒類販路ノ擴張及販賣方法ノ攻究
- 一 酒價ノ制限ニ關スル協定
- 一 酒類品評會ノ開設
- 一 酒類賣掛代金ノ取立方法ノ協定
- 一 酒類密造ノ防遏

#### 高知縣眞田同業組合

明治三十六年十二月同業組合法ニ依リ組織シ爾來巡回教師ヲ置キ或ハ模範工場ヲ設置シ獎勵ニ努メシ結果本縣眞田業ハ一時隆盛ニ赴キシト雖近時海外商況不振ノ爲頓ニ挫折ヲ來シ未タ振興ノ機運ニ會セズ

(47)

#### 第四章 教育機關

明治五年學制ヲ發布セラレタル後縣下教育ノ施設漸次緒ニ就キ今ヤ中等學校公私立十校實業學校

(48)

ニ類スル各種學校二校小學校五百十五校小學校ニ類スル各種學校五十九校實業補習學校三十五校ニ及ヘリ

一、師範學校 明治七年創立シ土佐郡小高坂村ニ在リ本科卒業生千二百七十六名生徒定員四百八十五名經費四萬壹千余圓トス

二、中學校五校アリ第一中學校ハ明治十一年創立シ市内追手筋ニ在リ本科卒業生千參百六十名生徒定員六百名經費貳萬壹千余圓、第二中學校ハ明治三十二年創立シ土佐郡小高坂村ニ在リ本科卒業生三百七十七名生徒定員四百五十名經費壹萬五千余圓、第三中學校ハ明治三十三年創立シ安藝郡安藝町ニ在リ本科卒業生百二十五名生徒定員二百名經費壹萬余圓、第四中學校ハ明治三十三年創立シ幡多郡中村町ニ在リ本科卒業生百三十五名生徒定員貳百名經費壹萬壹千余圓、中學海南學校ハ明治九年舊藩主山内豊範ノ創立ニ係リ市内雜喉場ニ在リ明治二十二年縣立トナレルモ其經費ハ山内家ノ寄附ナリ本科卒業生六百二十五名生徒定員四百五十名經費壹萬四千余圓本校創立以來ノ前校長故吉田數馬ハ明治四十年三月藍綬褒章ヲ賜リタリ

三、高等女學校 二校アリ縣立高等女學校ハ明治二十六年創立シ市内帶屋町ニ在リ本科卒業生八百七十三名生徒定員四百名經費壹萬余圓、私立土佐高等女學校ハ明治三十五年創立シ市内追手筋ニ在リ高知共立學校協會ナル社団法人ノ設立ニ係レリ本科卒業生三百九十五名生徒定員五百名經費壹萬貳千余圓トス

四、農林學校及商業學校 縣立農林學校ハ明治二十三年創立シ市内北門筋ニ在リ本科卒業生三百八十一名生徒定員二百五十名經費壹萬六千余圓、市立商業學校ハ明治三十一年創立シ市内帶屋町ニ在リ本科卒業生二百八十三名生徒定員二百五十名經費壹萬六千余圓トス

五、小學校及實業補習學校 小學校ハ尋常小學校三百六十九校高等小學校二十一校尋常高等小學校百二十五校實業補習學校ハ農業二十六校水産一校商業二校工業六校アリ

### 第五章 市 邑 名 區

土佐ハ頗ル勝地ニ富ミ古來配流者ノ遺蹟群雄割據時代ノ城地戰場等ノ史乘若クハ口碑ニ存スルモノニ至リテモ其類亦頗ル多シ今煩冗ヲ避ケ其特ニ顯著ナルモノヲ左ニ録ス

(49)

高知市

(50)

土佐郡ノ東南部ニ位シ東ハ下地村ヲ隔テ、吸江ニ接シ西ハ旭村ニ連リ南ニ鏡川北ニ江ノ口町アリ  
東西約一里南北約十町戸數七千九百九十一、人口三萬六千一紀貫之國司タリシ頃ハ此近傍ハ内海  
ナリシガ長曾我部元親ノ頃ハ土地漸ク高マリシモ尙屢洪水ノ患アリシト云フ近時電車市内掘詰ヲ  
起點トシテ東ハ葛島西ハ伊野町南ハ潮江棧橋迄貫通シ水陸相連絡セリ市内ニハ縣廳裁判所其他諸  
官衙學校病院又銀行會社等諸種ノ宏壯ナル建築物多シ

里程 (高知市ヲ基點トス)

東	二里三十五町	百四十二哩	三百七十五哩二
大	同	同	二十哩三
神	同	同	二十七哩二
香	川	同	二十一哩五
德	島	同	八十九哩一
愛	媛	同	
岡	山	同	

(51)

伊	野	二里二十七町	
桂	濱	二里三十五町	
弘	岡	二里二十四町	
須	崎	九里三十一町	
佐	川	六里二十八町	
横	倉	八里二十一町	
速	池	四里七町	
高	岡	三里二十六町	
滑	瀧	同	
中	村	三十二里二十三町	
有	井	二十八里十九町	
金	剛	三十九里三十三町	
龍	福	四十二里十七町	
串	寺		

幡多郡

(52)

宿毛	三十八里三十一町
小筑紫	四十里十九町
土佐	郡
土佐神社	一里九町
天満宮	十八町
野中兼山墓	同
長岡	郡
紀貫之舊蹟	三里十二町
國分寺	同
岡豊長會我部城址	二里二十三町
豊永樂師堂	十三里十五町
本山	八里二十七町
白太夫墓	一里三十五町
源希義墓	一里三十一町
五臺山	一里十九町
招魂社	同

(58)

吸江	同
武市半平太墓	二里三十一町
千松公園	二里三十一町
香美	郡
山田	四里十七町
佐古	四里三十一町
姫倉月見山	五里二町
安藝	郡
土居	十里二十一町
福田寺	十四里二町
野根山	二十二里三十五町
最御崎寺	二十里十八町

一、高知公園

齊名大高坂城ト曰フ南北朝ノ頃南朝ノ臣前守護代河間光綱大高坂松王丸等之ニ據リ北朝方ノ諸兵

(54)

ト戰ヒシ古跡ナリ後延元三年南朝ノ諸親王諸將伊勢大港ヨリ出船シ遠江灘ニテ有名ナル難風ニ遭ヒ給ヒシ時後醍醐帝第七皇子花園宮滿良親王ハ當國ニ漂著シテ此城ニ籠ラレシカ曆應三年落城シ宮ハ行方ヲ失ヘリ當城義戰ノ事ハ近時帝國大學出版日本史料六編五卷ニ備サニ登載サレ不朽ノ事蹟トナレリ後天正年中長曾我部元親茲ニ居リシモ土地卑キガ爲メ浦戸ニ移リ後山内一豊入國スルニ及ンデ更ニ城ヲ修築シテ累世茲ニ居リシガ維新後之ヲ公園ト爲セリ今ハ城樓ノミヲ存シ咸臨閣ト云フ登臨スレバ山河ノ繁絡島里ノ錯綜古今滄桑ノ變歷々指點スヘク園内櫻樹多ク又梅園アリ四時風色絶佳ナリ

二、藤並神社

公園ノ東隣追手筋ニ在リ藩祖山内一豊夫妻及藩主忠義ノ三靈ヲ祀ル境内樹木鬱蒼自ラ神威ノ嚴然タルヲ感ゼシム

吾川郡

東北ハ土佐ニ連リ西ハ伊豫ニ接シ西南ハ仁淀川ヲ隔テ、高岡郡ニ隣リ南方海ニ面ス東西約七里南北約六里戸數一萬一千七百七十三、人口六萬八千九百二十、一町二十五村ニ分ツ地勢南部ハ稍平夷ナルモ西北ハ山嶽綿亘シ矢筈山北境ニ屹立セリ仁淀川ハ源ヲ伊豫ニ發シ南流シテ海ニ注グ舟楫ノ便アリ下流八田ノ堰アリ是レ溝渠ヲ通シテ仁淀川ノ水ヲ分流シ灌溉ニ充ツルモノニシテ野中兼山ノ遺工ナリ伊野町ハ郡ノ首邑ニシテ郡役所警察署等アリ戸數千五十九、人口六千六百十一、郡内北部ノ産物ハ皆コ、ニ集ル殊ニ製紙ノ業盛ナリ

伊野村

高田春塘

柳蔭竹處自成郷、鷄犬聲中接短牆、怪底春暄餘雪白、家々製紙曝斜陽

浦戸

中山高陽

南渚回孤棹、東風度晚天、濤聲何處雨、冥色滿江烟、鐘近尋山寺、岸遙引野船、迷途得投跡、願此寄逃禪

一、桂濱

(55)

浦戸港ノ南岸ニ在リテ龍頭岬ハ其東ニ出テ岬上ニ燈臺アリ山上ハ長曾我部ノ城趾ニシテ松樹鬱茂シ海岸ハ奇岩磊々トシテ起伏ス波濤之ニ激シテ韃韜白玉ヲ散ス又東南ハ直チニ太平洋ニ面シ遠ク



(56)

香蕨ノ山河ヲ望ミ西ハ蹉跎岬雲烟糶糊ノ間ニ陰見シ景勝洵ニ雄偉ナリ秋夜ノ觀月殊ニ佳ナリ

二、弘崎吉良城趾

弘岡中ノ村一丘陵ノ上ニ在リ七族ノ一人ナル吉良宜直之ニ居レリ吉良氏ハ源希義ノ後ナリト云フ

高岡郡

東北ニ仁淀川ヲ界シテ吾川郡ニ接シ西ハ伊豫ニ連リ南ハ幡多郡ニ隣リ東南一帯海ニ面ス地勢丘阜多クシテ平野乏シク殊ニ西部伊豫國境ニハ山岳綿亘シテ岬嶠ヲ極ム河流ハ仁淀川ノ外ニ井田川越知面川アリ南流シ幡多郡ニ入ル海岸ハ屈曲多ク東郡ニ大浦アリ其口ヲ宇佐港トシ海水西ニ灣流スル三里横波三里ト云フ須崎港ハ郡ノ中央海岸ニ在リ郡ノ東西約十一里南北約十里戸數二萬六千七百四十六、人口十四萬七千六百八十三、五ヶ町三十三ヶ村アリ

一、須崎

郡ノ首邑ニシテ東南部ニ位シ郡役所、警察署、水産試験場等アリ人口七千六百十七、戸數千五百七十五、須崎港ハ東西九町南北二十四町深サ十四尋ニシテ港中ニ中島戸島ノ二嶋嶼アリ大船巨船自由ニ碇泊シ得ベク國中第一ノ良港ナリ

二、佐川

山隈ノ都邑ニシテ人口五千百四十二、戸數九百九十二アリ長曾我部元親ノ老臣久武親直ノ城趾ナリシガ山内一豊ノ入國スルヤ家臣深尾和義等アリタルノ地ニシテ維新前後勤王ノ士ヲ出セリ深尾氏後裔今男爵ヲ賜リ華族ニ列ス

三、横倉山安徳帝御陵傳説地

越知町ノ西北ニアル高山ニシテ深林蒼鬱夏時尙冷涼ノ氣人ヲ襲フ山麓ヨリ約二里ニシテ達ス中腹ニ杉原神社頂上ニ御嶽神社アリ社ノ下ニ岩窟アリ之ヲ距ル五六町安徳天皇御陵墓傳説地アリ山頂ニ上リ岩角ニ踞シテ瞰下スレバ群峰足下ニ走リ四望廣濶天涯渺茫人ヲシテ羽化登仙ノ感アラシム

(57)

横倉山

南 洗

平家更隱處、今尙紫雲生、陰暈深樹裏、只聞猿一聲

かんこ鳥の誠に淋し横倉山

御嶽山や下に開ゆるほとぎす

岩穴やいく年経たる花苔ぞ

### 四、蓮池大平城址

七族ノ一人タル大平山城守ノ城址ニシテ縣道ヲ左折シ上ルコト數十歩ニシテ丘上ニ達ス南蜿蜒ク  
ル丘嶽ヲ迎ヘ東方開ケテ田畝ヲ望ム當時東高岡ヨリ西佐川越知ニ至ル數邑ヲ領セリ今ハ古木數株  
轉々荒涼ヲ極ム

### 五、羽山津野城址

七族ノ一人タル津野元實ノ城址ナリ須崎ヲ往クコト約四里此邊山嶽相重ナリ田畝漸ク少シ

### 六、清瀧寺

高岡郡清瀧寺ハ僧空海ノ開基ニシテ寺内高岡親王ノ塔アリ境内古木鬱蒼畫尙暗キ處數十ノ五輪塔  
樞徑ヲ挾ンデ相並ビ前方其最モ大ナルモノニ向テ立ツ大ナルモノハ高サ六尺計リアリ雨他風餐古  
色蒼樸タリ親王弘仁ノ亂皇太子ヲ廢セラレ後唐ニ入ル時漂泊シテ高岡郡大内村ニ假居シ給ヒシト  
ノ口碑アリ此塔ハ當時土民又ハ遣臣ノ建ツル所ト云ヒ傳フ蓋シ國中第一ノ古塔ナルベシ

清瀧寺有眞如親王逆修浮圖王求法赴印度羅越國遷化云士僧月晚

四州八十八名震、神觸如、茲知幾山、傳法燈紅千載耀、打包人踏九天、攀雲開蒼海、東嶺一角、  
帆掛斜陽、走樹間、何者呼醒浮世夢、磬聲長與水聲間。

### 幡多郡

國ノ西端ニ位シ東南ハ一帯海ニ而シ西ハ伊豫ニ接シ東北ハ高岡郡ニ界ス東西約十五里南北約二十  
里人口十二萬六千八百九十九、戶數二萬二千九百六十二、ニケ町三十四ヶ村アリ郡役所ハ中村ニ在  
リ地勢山嶽丘陵起伏シテ高低一ナラズ中央渡川ノ貫流スル所僅カニ平地ヲ存ス海岸ハ犬牙錯雜シ  
テ岬角江海出入シ其最モ海ニ斗出セル處ヲ蹉跎ノ岬ト云フ

### 一、中村

(60)

中村ハ郡ノ首邑ニシテ郡役所、中學校、監獄署、警察署、裁判所等アリ人口五千四百十八、戸數千  
百二十二、文明年中長曾我部元親等ノ請ニ依リ一條教房其子房家ト共ニ此ニ來リ爾後國司タルコ  
ト四世九十四年ヲ經一時土佐文化ノ中心タリ當時城廓ノ結構京都ニ摸シ川流北方ヨリ東方ヲ圍繞  
シテ沙川ニ入ル上流ヲ鳴川ト稱シ河東ノ丘陵ヲ東山ト稱ス丘陵ノ北方高ク登ユル處半腹ニ寺院ア  
リ石見寺ト曰フ又市街ノ南方ニ縣社八幡宮アリ岩清水ノ八幡宮ヲ勸請セシモノナリト云フ今縣社  
一條神社アリ一條家累代ノ靈ヲ祀レリ一條氏、房家、房冬、房基三卿ノ墓ハ中村ヨリ三里許リ西  
方平田村舊藤林寺跡ニアリ

### 二、有井川尊良親王遺蹟

白田川村有井川ハ後醍醐天皇ノ御子尊良親王ノ此國ニ遷サレ給ヒシ時有井庄司館ノ傍ニ一室ヲ構  
ヘ置キ奉リシ遺蹟ナリ有井庄司ノ塚ハ今尙存シ數十ノ五輪塔アリ此邊一帶海濱ニシテ老松參差ト  
シテ錯ハリ四圍幽邃ナリ始メ親王ノ遷サレ給フヤ中將爲明之ニ隨ヒ佐々木大夫判官時信等兵ヲ率  
ヒテ護送シ有井庄司ガ館ノ傍ニ一室ヲ建テ、居給フ時ニ御息所京都ニ在リシガ親王ノ隨身秦武文

ニ衣一領ヲ與ヘ潛ニ行キテ之ヲ迎ヘシム武文御息所ヲ具シテ歸途攝津ノ尾ケ崎ニ來ル筑紫ノ海賊  
松浦五郎ナル者謀テ之ヲ奪ヒシカバ武文大ニ驚キ之ヲ追ヒシモ及バズ因テ天ヲ睨ンデ自殺ス松浦  
ノ船阿波ノ鳴戸ヲ過グル時暴風起リテ殆ド覆ラントス松浦恐レテ海神ノ祟リトナシ衣ヲ海中ニ投  
ズ風雨益々荒レ遂ニ御息所ヲ淡路ニ置テ去ル偶親王警護ノ兵京都ヨリ來ル者衣ノ袖ヲ海上ニ拾ヒ  
テ之ヲ親王ニ奉リシカバ親王見テ大ニ悲シミ給ヒ御息所既ニ死セリトナス俗間傳フル小袖貝ノ此  
邊ノ海中ヨリ産スルハ如上ノ因縁ニ由ルト云フ

有井川村

一宮尊良親王

鳴けば聞くさけば都の戀しきに此里過ぎよ山ほととぎす

鳥の音の驚かさすば夜と共に思ひ覺めざる夢も見てまし

我庵は土佐の山風さゆる夜に軒漏る月の影凍るなり

(61)

又伊田村ニ一字ノ古刹アリ東光院松山寺ト云フ本尊ハ延命地藏菩薩ニシテ弘法大師ノ開基ナリ昔  
ヨリ月ノ字ノ一字額アリ相傳フ紀貫之ノ筆蹟ナリト天明ノ頃尾池春水貫之ノ舊蹟ヲ調査シタルト

(62)

キ住持嘉淨ニ乞フテ之ヲ寫シ其元年三月京都日野大納言資枝ニ贈ル  
世に遠くあるかなきかの影とめて月をかたみの水壺の跡  
トイフ和歌ニ左ノ文章一篇ヲ添ヘ送レリ

資 枝

土佐州幡多郡松山寺有二月字額ニ古色苑然勁健可愛相傳以爲紀貫之眞蹟左京大夫藤原朝臣手自  
模刻以贈式部太輔益良卿卿喜若獲拱壁ニ先是接得上皇御園櫻御園蓋係貫之故宅ニ乃  
以其枝爲縁場之梁間一抑此蓋餘隻字何以賞也要之風流好古之所致耳昔人千金買駿馬骨  
不期年千里馬至斯卿好若斯稀世之物不至乎哉

關國協治孟冬望日

菅原爲徳識

此月字額今尙同寺ニ存ス

### 三、金剛福寺

清松村足摺岬ニ在リ僧空海ノ開創ニシテ嵯峨天皇ノ勅願所タリ堂宇稍廢頽セルモ猶舊觀ヲ存セリ  
堂宇ノ前面絶壁削立シ眼ヲ放テハ怒濤渺茫トシテ天ニ連リ風景豪壯ヲ極ハム望樓アリ近時無線電

信ヲ設ク古來弘法一夜ノ作石鳥居、不増不減水、龍馬ノ芝、午時ノ雨、潮盈干石、天燈龍燈松、  
動搖石ノ七不思議ノ稱アリ又東門ノ額「補陀洛東門」ハ嵯峨天皇ノ宸筆ナリト云フ

足摺岬

今村 樂

みけ向ふ南の海にさしてたる蹉跎の御岬に雲立ち登る  
雨雲の晴るゝまにゝ神さぶる蹉跎の御岬はさやに見へつゝ

蹉跎山

よみ人知らず

ふだらくやこゝをみささきの舟の棹とるもすつるも法のさだ山

從三位顯卿

(63)

今がしるしめちがはらにをく露をやかて衣のうらの玉とは  
影たのむ南の空は遠くともはるかにせらせ山のはの月  
ひすびおきし契有りてやあけの原みだれぬ筋を今も聞くらん

### 四、龍串

(64)

三崎村ノ岬角海中ニ突出スルコト長二十町其西方海濱ニ一小丘アリ此小丘ノ濱ニ奇岩怪石磊々トシテ起伏シ千態萬狀名狀スベカラズ實ニ國內ノ絶勝タルノミナラズ眞ニ天下ノ奇觀タリ、馬ノ鞍置石、狎石、秋ノ月石、根曳竹ノ石、男體山、女體山、碁盤石、鬼面石、龍門ノ瀧、座頭ノ晝寢石、五百羅漢石、千疊敷、面白不脊山、夢ノ浮橋、其他數十ノ名稱アリ枚舉ニ堪ヘズ蓋シ第三紀層ノ赤褐色沙岩ニシテ其質脆弱海水ノ浸蝕ニ逢ヒ奇形ヲ表ハシタルモノナルベシ

五、宿毛

土佐兩端ノ都邑ニシテ人口六千九十六、戸數千四百四十六、元山内家ノ家老安東氏ノ領地タリ安東氏後伊賀氏ト改ム維新前後人材ノ出デタルコト少ナカラズ伊賀氏ノ後裔今男爵ヲ賜リ華族ニ列ス

六、小筑紫

小筑紫村ニ在リ海水深ク灣入シ幡多郡西方ノ一良港タリ灣ノ立岸ニ接シ一島アリ樹木鬱蒼眺望絶佳ナリ往昔菅原道實筑紫ニ左遷ノ途次コ、ニ船ヲ止ムルコト七日ナリ故之ヲ七日島ト稱スト云フ又丞相磯、筆ノ海等ノ遺蹟モアリ

土佐郡

東ハ長岡郡ニ連リ西南ハ香川郡ニ接シ北ハ伊豫ニ隣リ高知市ハ其東南ノ一隅ニ點在ス東西約六里南北約十里戸數一萬三百三十七、人口五萬四千八百七十六、一町十八ヶ村アリ郡役所ハ高知市内ニ在リ地勢ハ北方山嶺重疊シ峻峻ヲ極ムルモ南方ハ稍平坦ニシテ地味豊饒ナリ鏡川ハ源ヲ土佐山村ニ發シ高知市ノ南ヲ過キ暖江灣ニ注グ

一、土佐神社

一宮村ニ在ル國幣中社ニシテ味相高彦根尊ヲ祀レリ長曾我部時代兵燹ニ罹リ本社ノミ殘リシガ元親再興シ結構舊ニ復セリ其神幸ノ祭式ハ數千ノ人衆白晝松明ヲ點シテ送り頗ル奇觀タリ本社ハ足利末世ニ於ケル神社建築ノ最優秀ナルモノトシテ現時内務省保護建物トナレリ老杉鬱蒼境内頗ル幽雅ナリ

二、天満宮及其ノ樓門

天満宮ハ高知市ニ隣接セル潮江村ニ在リ境内梅樹ニ富ミ花時ノ觀頗ル佳ナリ延喜元年菅原道真大

(65)

(66)

宰權師ニ遷サル、其ノ子右少辨高視亦庶シテ土佐權守トナリ潮江村高見山ニ居ル道真ノ死スルヤ松本春彦其遺物ヲ携ヘ當國ニ來リ高視之ヲ祀リシニ始ル其樓門ハ嘉永年間山内藩主ヨリ寄進トシテ建築セシモノナリ當時欄間楯門ニ彫物ヲナサントシ國中ノ名工ヲ尋テ島村三四郎ヲ得タリ即三四郎ニ命ジ大鳳凰翔舞ノ狀ヲ刻マシム今樓門正面ニ掲ケラレタルモノ即是ナリ其刀法ノ輕快ニシテ氣品ノ優雅ナル實ニ國中比少キノ傑作タリ猶欄間ノ各面ニ牛ニ三之助、竹ニ虎、龍ニ雲等ノ彫物ヲナス殊ニ其龍虎相對ノ形ハ姿勢雄健咫尺ノ間ニ風生シ雲湧クノ概アリ猶欄間ニハ御抱大工重九郎ノ作ナル草刈童子、蝦蟇仙人等ノ像アリ是又刀法妙快傑作タルヲ失ハズ要スルニ此樓門ハ白木造ノ清楚瀟灑タル一門ニ過キズト雖モ欄間楯門ハ當國無數名工ガ心血ヲ凝ヤタル瑰異巧妙ノ彫刻ヲ飾リ千載ノ下水ク美術ノ模範トシテ其聲價ヲ失ハサルモノナラン

嶋村三四郎ハ名ヲ安孝トイヒ維新後尙長生シ明治三十二年八十餘歳ヲ以テ高岡郡須崎町ニ歿ス

### 三、野中兼山ノ墓

潮江村ニ在リ梅ノ辻電車ヲ下リ西南方ニ行クコト約十町右折シ妙國寺ノ西方ヲ上レバ達ス三方丘陵ヲ以テ圍ミ東南ハ田圃ヲ隔テ、浦戶港ヲ望ム兼山ノ墓碑ハ野中氏累代ノ墓ト相並ビ且其傍ラ當時殉死セル古楨重固ノ墓立テリ

### 四、埋立公園

潮江村棧橋ノ近傍ニ在リ數年前埋立テ、公園トナシタルモノニシテ諸種運動ノ設備掛店ナドアリテ杖ヲ曳クニ足ル

## 長岡郡

東南ハ香美郡ニ接シ西ハ土佐郡ニ連リ北ハ伊豫阿波ニ隣リ南ハ海ニ瀕ス東西約四里南北十里戸數一萬三千六百三十七、人口七萬五千二百七十七 二町二十三村アリ郡役所ハ大篠村ニ在リ地勢北方ハ峻嶺高峰相重ナルモ南方ハ田野開ケ香美郡ト共ニ米麥ノ産縣下第一トス吉野川ハ土佐郡ヨリ來リテ郡ノ北方ヲ東流シ阿波ニ入ル農事試驗場ハ後免町ノ隣村長岡村ニ在リ

### 一、紀貫之ノ舊蹟

紀貫之ノ舊蹟ハ國府村比江ニ在リ醍醐天皇ノ延長八年紀貫之國守トナリ來任セシトキ國府ノ在リ

(67)

(88)

シ鑿址ナリ後ハ比江山ヲ負セ前ハ遠ク開ケテ西國分寺ヲ隔テ、岡豊山ヲ望ミ東南ハ青田遙ニ連ル所國分川滯ノ如ク環流シテ自然ノ區劃ヲナス里俗内裏ノ田ト稱フ蓋古昔壯麗ナル殿舎廻廊相並ビテ建ヲシナランモ今ハ只一礎石ノ殘レルアルノミ

天明ノ頃土在ノ歌人尾池春水京師ノ歌人日野大納言資枝卿ノ依囑ニヨリ此遺址ヲ調ヘシガ斯カハル名跡ノ湮滅ニ歸センコトヲ惜ミ遂ニ一基ノ碑石ヲ建テ、其跡ヲ表セリ是レ實ニ寛政元年乙酉二月朔日ノ事ニシテ碑高サ四尺五寸幅一尺五寸厚サ一尺二寸跌石ニ重碑面ニハ藩主靖徳院山内豊雍ノ「紀子舊蹟碑」トイヘル篆額ト其下ニ日野大納言資枝ノ

ゆふ々世にやどりしところすへ遠く

傳へんためとのこす石ふみ

トノ和歌一首ヲ刻シ裏面ニハ左ノ正二位清原宣條ノ撰文ヲ鐫シ今尙翠嶠ノ間松櫻二樹ノ下ニ擁立セラル獨ニ示スモノ即チ是ナリ

世情稱紀子者和歌之仙也事於延喜聖朝爲御書所預名貫之夫上世有柿本大夫者和歌之聖也

漸道于時大振後之業之者綿々不絶及彼聖代其風繼興令紀子撰古今和歌集序亦成矣其脱固和歌之教戒也繼有詔更撰新撰和歌集傳曰延長八年出爲土州刺史時幸無爲治事餘暇漸以撰定之承平五年秩滿歸于京師民皆戀其德迄今不稱他爲其刺史者言必稱紀子一宣哉有彼序說教誡傳于無窮府跡今尙存焉其北則比江山東數百步而有老松相傳紀子之遺愛也南有公麻之古塲也相去纔數十丈嗚呼彼址之微若存若亡頃有尾池春水者與高村自安同民朝海併力欲刻石記請和歌於日野亞相資枝卿

又懇一語於余聊書其所聞以興之云爾

天明五年歲次乙巳夏五月

正二位 清原宣條撰

右權少將 源 家具書

(89)

是ヨリ東二寸一大礎石アリ是レ古國府東門ノ礎石ナリ尾止氏筆記ニ曰ク礎石ハ信府ノ跡ヨリ東ノ田間ニアリ南北ノ長サ九尺幅六尺四寸柱穴亘リ二尺六寸餘其中ニ又

(70)

亘リ四寸深サ三寸バカリノ小サキ穴アリ先年カヤウノ齋礎アマタアリケルヲ川普請ノ時取り用ヒテ只此石ノミ殘レリト云フ又或ル説ニ此大礎ノ有ル地ハ昔ノ寺跡ニシテ塔ノ楹ヲ受ケシ石ナリト云フ寸法大概大宰府ニ殘ル大礎ト同シマタ過ギン頃當村ノ土民官府ノ跡ヲ耕シケルニ一ツノ石ヲ掘リ出ス亘リ三尺計リ石工ヲ用ヒズシテヲノツカラ方ニ平カナル石ナリ是ハ官府ノ齋礎ナルベシトテ家ノ傍ニスヘヲケリ今重藏ト云フ者ノ前ニアリト

マタ「土在幽考」ニ曰ク

比江村古國府也村後山有日吉社一故爲名天正年中秦氏地檢帳題當村一作衛府中村南有國廳蹟一地主四段許古瓦小片出其田底土人謂其田字於府中東國府屋敷西惣社(近世遷國分寺境內)北有石名内裏等跡村民稱道仙屋敷有大礎石受柱圓穴一亘二尺五寸深三寸於其中間一又構一小穴一亘五寸深三寸此所亦瓦片出皆非近代物一往年軍人堀得重菊全紋瓦云々ト

以テ其大概ヲ知り得ヘシ是ヨリ東南三町寶塔寺及ビ公麻ノ跡アリト云フモ今知ルヘカラズ此ヨリ東三丁貫之遺愛ノ松アリ貫之月見ノ松ト稱ス或ハ傳フ貫之ノ任ニ此地ニ在ルヤ一女子ヲ失フ乃チ

此處ニ埋メテ其木ヲ植ヘタルナリト春水ハ此松ニ就キテ記シテ曰ク

貫之觀月松石清川(一名國分川)ノ東ノ岡野地村ノ内ニアリ此處ノ地名ヲ月ノ木ト云フ其西北ヲ松ノ表ト云フ是レ官府ヨリ見ル所ニヨリテ名付クルナリ中秋ノ頃月ノ此松ノ梢ヨリ出ルヲ見テ愛翫シ給フト云ヒ傳フ近年古松枯レケルヲ里俗其跡ヲ失ハシトテ松ヲ植ヘ繼グリト云フト

里人云フ其松今跡ヲ留メズト

## 二、國分寺

國府村國分ニ在リ四方平地ニシテ境內古木多ク雅趣ニ富ム聖武帝ノ御代僧行基ニ命シ建立セシメ給ヒシ古刹ナリ本堂須彌壇ハ足利時代ノ建築ニシ現時內務省保護建物トナル

## 三、岡豐長會我部城址

岡豐ハ長會我部氏累代ノ居城地ニシテ郡ノ中部ニ在リ南方遠ク平野ヲ望ム其城址ハ岡豐山ニシテ丘陵ヲ爲セリ今ハ村民行樂ノ地トナレリ

## 四、豐永藥師堂

(71)



(78)

長岡郡西豐永村寺内豊樂寺ニアリ國道ヲ上ル數町ニシテ達ス僧行基ノ創立トス其藥師堂ハ足別  
時代ノ古建築トシテ現時内務省保護建物ナリ此邊漸ク國境ニ近カク山嶽四方ヲ圍メリ

### 五、本山、本山城址

長曾我部時代七族ノ一人本山梅慶ノ居城地ニシテ山内時代ニ至リ野中兼山ノ采地タリ此邊山嶽重  
疊シ吉野川ノ上流其間ヲ貫流シ四境幽寂ナリ

### 六、白太夫ノ墓

大津村ニ在リ傍小丘アリ上ルコト數十間ニシテ達ス白太夫姓ハ松本名ハ春彦太神宮ノ仕人ナリ嘗  
摩道實筑紫ニ薨ズルヤ春彦侍シテアリ道真ノ遺命ヲ奉シ其子高視ノ土佐ニ在ルヲ尋ネント欲シ此  
處マデ來リ著スルヤ病ニ罹リ遂ニ高視ニ逢フ能ハズシテ死セリ

### 七、源希義ノ墓

介良村介良山ノ西麓モト西養寺内ニ在リ希義平治ノ亂後流サレテ介良ニ居リシガ兄頼朝軍ヲ起ス  
ニ及ビ此國平氏ノ徒急ニ之ヲ攻ム希義走リテ夜須ニ赴ク途ニシテ敵ノ爲ニ殺サル當時西養寺ノ僧

琳猷偶其遺骨ヲ路傍ニ發見シ之ヲ寺内ニ葬リシト云フ

### 八、五臺山

五臺山村ニ在リ山上ニ竹森寺山下ニ吸江寺アリ昔聖武帝支那五臺山ノ我國ニアルコトヲ夢ミ給ヒ  
僧行基ヲシテ廣ク諸國ヲ遊歴シテ之ヲ索メシメシガ行基此地ノ風景絶勝支那五臺山ニ勝ルモノア  
ルヲ見遂ニ寺院ヲ開キ勅願所トナル竹林寺是ナリ青柳橋ヲ渡リ行ク事數町更ニ石階ヲ上ル約八町  
ニシテ達ス境内幽邃ニシテ遠ク北方巍峩タル連山ヲ眺メ西南ハ近ク高知市ニ接シテ浦戸灣内ヲ下  
瞰シ四時ノ風景絶佳眞ニ天下稀有ノ勝地タリ又吸江寺ハ夢窓國師ノ開キタルモノナリ

### 九、招魂社

招魂社ハ維新以來死歿セシ忠烈ノ士ヲ祀レル所ニテ五臺山村吸江大嶋岬ノ上ニ在リ下ニハ南海忠  
烈碑アリ眼ヲ放テハ高知市ノ紅塵高ク西ニ揚カルモ見ユ或ハ漁夫ノ扁舟ニ棹シテ廻シ打ヲ試ムル  
モノ或ハ傘帆ノ下翁媪ノ靜ニ釣ヲ垂ル、モアリ或ハ汽船煙ヲ吐キテ出入スル等其眺望洵ニ佳ナリ

### 十、吸江

(79)

(74)

吸江ハ土佐長岡ニ郡ヲ來レル川水ヲ受クル入江ニシテ南ハ浦戸港ニ通シ西ハ青柳橋ヲ隔テ、高知市ヲ望ミ景勝實ニ國中ニ冠タリ古來吸江十景ノ稱アリ山崎園庵ニ學ビ後黒岩慈庵黒田侯ニ聘セラレノ吸江遊覽詩序中ニ之ヲ解シテ曰ク

夫吸江寺ハ昔僧夢窓此國ニ來リ初メテ之ヲ開キ其弟子義堂絶海相繼ヒテ居レリ元ハサバカリノ草庵ナリシモ漸々作り横ダテ今ハ大厦高堂トナレリ吸江トハ西江ニ臨ムヲ以テ彼ノ馬祖カ龍居士ニ示セル所ノ詩汝一口吸盡西江水向汝送トイフ語ヲ取テ名付シ成ベシ玄夫島トハ東坡カ詩ニ獨見玄夫隱日時玄夫ハ龜ノ事ナリ此詩ノ心ニテ此島ノ浮キ見ユル事龜ノ日ニサラサレテ居ルニ似タリトイフ心ナラン潮音洞トハ觀音經ニ梵音海潮音トテ梵音ノ妙ナルヲ湖聲ノ清キニ准ヘタリ此洞モ日夜潮音ノ響アレバ彼レニ基イテ名附ケル白鷺洲トハ汀州甚潔フシテ春祖ノ多ク顔頤スル所ニシテ季白ガ詩ニ二分流水白鷺洲ト金陵ノ景ヲ詠セシモカクヤトゾ思ハル吞海亭トハ海上ニ臨ンテ其勢吞ムニ似タリトヤ泊船岸トハ十堺ノ中特ニ孤絶ナル所ニテ或ハ虎ノ踞ルガ如キ石モアリ或ハ龍ノ蟠ルニ似タル松モアリテ遊人船ニ棹シテ多ク來ル所ナレバナリ兩華石トハ岩泉ノソ、キ落ツル事橋ニ花ノ散亂スル如クナレバ維摩經ニ所謂天女ノ花ヲ降ラスト云フニ譬フルナラン粹彌庵トハ夢窓此庵ニ住メル時曾氏ヨリ召サレテ急ニ洛ニ上ル因テ孔子齊ヲ去リ給フ時漸ヲウケテ去リ給フト云フ心ヲ引テ文字ヲ替ヘテ名付ルトナン粹ハ精シ米ナリ米ヲ取テ鬻グトイフ義ナリ慶徳堂トハ護國師高祖ト南嶽問答ノ故事ナリ今此堂モ參仰スル所ナレバカレヲ引用ヒタリ獨鈷水トハ昔浮屠空海此國行幸ノ時此所ニテ獨鈷ヲ擲サタレバ此水忽チ湧出タリト云傳ヘリモロコシ梁ノ景泰禪師寶積寺ノ山ニ居ル時其徒水無キ事ヲ思フ禪師錫杖ヲ地ニ立テタレバ泉湧キ出ヅル事數尺トイヘリ獨鈷水ノ事モ之ト同日ノ物語リト謂フベシ(中略)見國嶺トハ此峰最モ高クシテ國中ノ景象悉ク寸眸ノ間ニ悉レバナリ

吸江

夢窓國師

(73)

心あらん人に見せばや吸江の向の山の夕べ曙  
葉の岸に板の庇を差添へて音し音せぬ村時雨かな

泊船岸

黒岩慈庵

(78)

江中眼境本新鮮  
幾人致此泊遊船

况有奇松怪石連

尤是三時風物好

湖法

西行法師

小鯛つるあまのうけ網くりよせて浮きし業するしはさきの浦

### 十一、武市半平太ノ墓

三里村吹井ニ在リ稻生街道ヲ南ニ入ルコト約七丁民家ノ隣傍小丘ノ上ニ在リ半平太瑞山ト號ス土佐勤王家ノ巨擘ニシテ尊王攘夷ノ説起ルヤ國ヲ脱シテ京ニ入り公卿ノ間ニ周旋シ繁榮スル所頗ル多シ又屢言ヲ藩廳ニ陳ズルモ用ヒラレズ遂ニ獄ニ投セラレ慶應元年五月十一日死ヲ賜フ

偶成

武市瑞山

花依清香愛 人將仁義榮 幽因何所恥 只有赤心明  
燕雀得時擅 蒼鷹向暗眠 如何出獄裏 慷慨只呼天

夢覺而賦一律

戎夷歷海事方急

驚馬加鞭馳赴難

巨礮轟々如裂地

鯨濤沸々似崩山

因循君子忽飛魄

切迫頑生稍解顏

一臂憤揮夢驚覺

孤燈明滅雨潛々

### 十二、千松公園

三里村種崎ニ在リテ浦戸港ノ左方ニ當ル前ハ渺茫大洋ニ望ミ東方ハ長汀曲浦ヲ隔テ、室戸岬雲烟縹緲ノ裡ニ隱見ス而シテ後方丘陵ヲ負ヒ境內數千坪ニ亘リ老松幾千蔚蒼トシテ海邊ニ横ハリ濤聲松籟ニ和シ遊ブ者ヲシテ實ニ別天地ノ感ヲ爲サシム此ノ近邊海底ノ砂清クシテ海水浴ニ適シ夏時ノ遊客年々多キヲ加フ又種崎ニハ戸々桃樹ヲ植ヘ陽春花時ノ候ハ爛熳トシテ美觀ヲ極ム

### 香美郡

東南ハ安藝郡ニ交ハリ西北ハ長岡郡ニ連リ東北ハ阿波ニ隣リ南ハ海ニ瀕ス東西約四里南北約八里ニシテ戸數一萬五千四百三十三、人口七萬九千五百五十五アリ三ヶ町二十五村ヲ有ス地勢北方ハ山嶽丘岡起伏シテ原野ニ乏シキモ南部諸村及物部川沿岸ハ土地豊饒ニシテ長岡郡ト併稱シテ中郡

(77)

(78)

ト云ヒ縣下第一ノ農産地タリ物部川ハ源ヲ北方嶺山村ニ發シ三島村ニ至リテ海ニ入ル中途大楠橋村ニ堰ヲ設ケ此川ノ水ヲ分派シテ長岡郡ニ疏通シ吸江ニ注ガシム之ヲ舟入川ト云フ野中兼山ノ遺工ニシテ灌漑ノ利甚ダ大ナリ

赤岡町ハ郡ノ首邑ニシテ郡役所、警察署、登記所等アリ戸數八百三十七人口三千六百十二西ハ吉川村ニ隣接シ東ハ岸本町ニ連リ其東ニ夜須村手結港アリ

### 一、山田、山田城址

長曾我部時代七族ノ一タル山田元義ノ領地ニシテ當時ハ此附近ノ諸村ヲ合シテ山田郷ト稱セリ元義ハ今ノ楠目ニ居リシト云フ地勢高ク後ハ丘陵ヲ負ヒ前ハ香長ノ沃野ヲ控ヘ東物部川ヲ望ミ眼界頗ル廣濶ナリ山田町ハ戸數八百三十人口四千四百四十七香北諸村ノ咽喉ニ當ル

### 二、佐古紀夏井遺蹟

紀夏井清和天皇貞觀年中應天門ノ變ニ際シ弟ノ罪ニ座シ嘗國ニ流サレ茲ニ居ル父養寺母代寺ハ當時夏井ノ父母菩提ノ爲寺ヲ建テシ跡ト言ヒ傳フ物部川ノ東方丘陵錯綜セル高地ナリ

### 三、姫倉月見山土御門天皇遺蹟

岸本町ノ東端ニ在リ土御門上皇此山ニ登リ月ヲ賞シ給ヒシト云フ山上荆棘雜木相交ハル處松樹ノ點在シ濤聲ノ松籟ト相和スルヲ眺ク連山巒岬トシテ東北ニ亘リ香南ノ村落都邑ヲ圍ミ夜須村ト手結港トハ近ク其左方ニ迫リ赤岡岸本ノ商家ハ其右方ニ接シ幾多細流田畝ノ間ヲ繞リ而シテ西南土佐灣ノ盡クル所雲烟模糊ノ間ニ巒岬岬ヲ望ミ一タビ登臨セバ心氣自ラ爽然タリ宇田ノ松原ハ此ノ附近ナリ

宇田ノ松原

見渡せば松のうれ毎に住むたづは千代のとちとを思ふべらなる

紀 貫 之

### 安 藝 郡

(79)

國ノ東端ニ扁シ西ハ香美郡ニ接シ北ハ阿波ニ隣リ東南ハ一帯海ニ面ス東西約十里南北約八里ニシテ戸數一萬四千八百二、人口八萬二千五百三十二、一町二十四箇村ヲ有ス地勢山嶽疊沓シテ平地少ナク南岬角アリ海出スルコト三里餘室戸岬ト云フ西邊ニ巒岬岬ト相對シテ所謂土佐灣ヲナセリ

(80)

岬角ハ絶壁ニシテ海岸亂礁多シ安藝、伊尾木、安田、奈半利、野根ノ五川郡内ヲ流ル港灣ノ東岸ニ在ルヲ甲ノ浦港南岸ニ在ルヲ津呂、室津ノ二港トス安藝町ハ郡ノ首邑ニシテ郡役所、中學校、警察署、區裁判所等アリ戸數千三百五十三、人口六千八百四十六アリ

### 一、土居安藝城址

高知ヲ距ル凡十里所謂安藝庄ニシテ郡領安藝氏世々之ニ居リ國中ノ豪族タリ國虎ニ至リ長曾我部元親ノ爲メニ亡ボサル西方黒鳥ノ淨貞寺ハ其墓所タリ石碑ノ傍一大杉樹アリ、タモト杉ト云フ國虎室一條氏ヲ幡多ニ送り自殺スルヤ後一條氏杉種ヲ袖ニシテ茲ニ來リ之ヲ蒔キシモノナリト山内一豊入國スルニ及ビ老臣五藤ノ領地トナリテ土居ト稱ス城址ニ上リテ眼ヲ放テバ近ク安藝町ヲ瞰下シ遠ク海洋ヲ煙波ノ間ニ望ミ景色頗ル佳ナリ

### 二、福田寺二十三士ノ墓

野根山ノ西麓ニ沿ヒ流レ來ルモノハ奈半利川ナリ川口ヲ溯ルコト數町左折スレバ一寺アリ田野福田寺是ナリ境内清寂幾多ノ墳墓此ニ羅列ス幕末尊王攘夷ノ說湧起スルヤ藩論亦始メ二派ニ分ル當

時安藝郡ノ志士清岡道之助同治之助等慷慨悲憤藩論ヲ一定シ以テ土佐ヲシテ討幕ノ雄藩タラシメント欲シ爾士二十三人ト相謀リ野根山ニ屯聚シ以テ議ヲ藩廳ニ上ル事成ラズ阿波ニ走ル二十三士皆捕ヘラレテ奈半利川ニ斬ラル時ニ元治甲子九月五日ナリ寺内二十三士ノ墓碑ノ外其紀念碑アリ

### 三、野根山土御門天皇遺蹟

野根山ハ郡ノ東部深林蒼鬱幾々數里ニ亘ル嶺ニシテ往時阿波ニ越ユル者コ、ヨリセリ承久ノ亂土御門上皇幡多ニ遷サレ一年ノ後阿波ニ移リ給フトキ野根山ニ於テ大雪ニ逢フ山上岩佐ノ清水ハ上皇駐蹕ノ跡ナリト云フ左ハ當時上皇ノ御歌ナリト傳フ又維新前後二十三士ノ屯聚セシ地ナリ

浮世にはかゝれとてこそ生れけめ理り知らぬ我涙かな

野根浦

土御門天皇

うらくと寄る白波に云ひ問はんをさのことこそ聞まほしけれ

### 四、最御崎寺

國ノ東端ニ室戸岬アリ海中ニ斗出スルコト三里西壁屹岬ト相對シテ土佐灣ヲ成ス岬角ハ絶壁削レ

(81)

(82)

ルガ如ク矗立シ海岸ニハ怪石磊落トシテ起伏ス南ハ渺茫タル大洋ニ面シ右顧スレバ甲浦ヲ隔テ、阿波ノ大島ヲ雲煙模糊ノ間ニ望ミ左ハ龍頭岬ノ小岬突出シテ室戸灣ヲ形ツクル怒濤常ニ岸ヲ洗ヒテ壯觀云フヘカラス時ニ巨鯨白波ヲ噴キテ游泳スルヲ見ル可シ寺ハ岬ノ上方ニ在リ僧空海ノ開創ニシテ嵯峨、淳和兩朝ノ勅願所タリ元和中僧最勝中興シ落主山内忠義再造シ寺領百二十石ヲ附セリ岬上亦回轉燈臺アリ燈火二十里ニ達ス

室戸港

紀貫之

都にて山の端に見し月なれど浪より出で、浪にこそ入れ

室戸岬

僧空海

法性の室戸といへど我住めば有爲の浪風立ぬ日がなき

同

法印良守

室戸より南の岸をつたいけん人の跡問ふ浪の上かな

### 第六章 新聞雜誌

縣下ニ於テ刊行セラル、新聞雜誌左ノ如シ

▲土陽新聞 高知新聞 土佐新聞 (以上日刊) ▲土陽週報 高知月曜新聞 (以上週刊)

▲高知教育 土佐人 商業會議所月報 益糸時報 (以上月刊雜誌)

(88)

高知縣案内終

(68)

高知縣實業團

高知縣實業團  
發行所  
東京市神田區末廣町拾番地  
電話下谷八〇四番

明治四十三年十一月十一日印刷  
明治四十三年十一月廿五日發行

著作  
兼發行

高知縣實業團

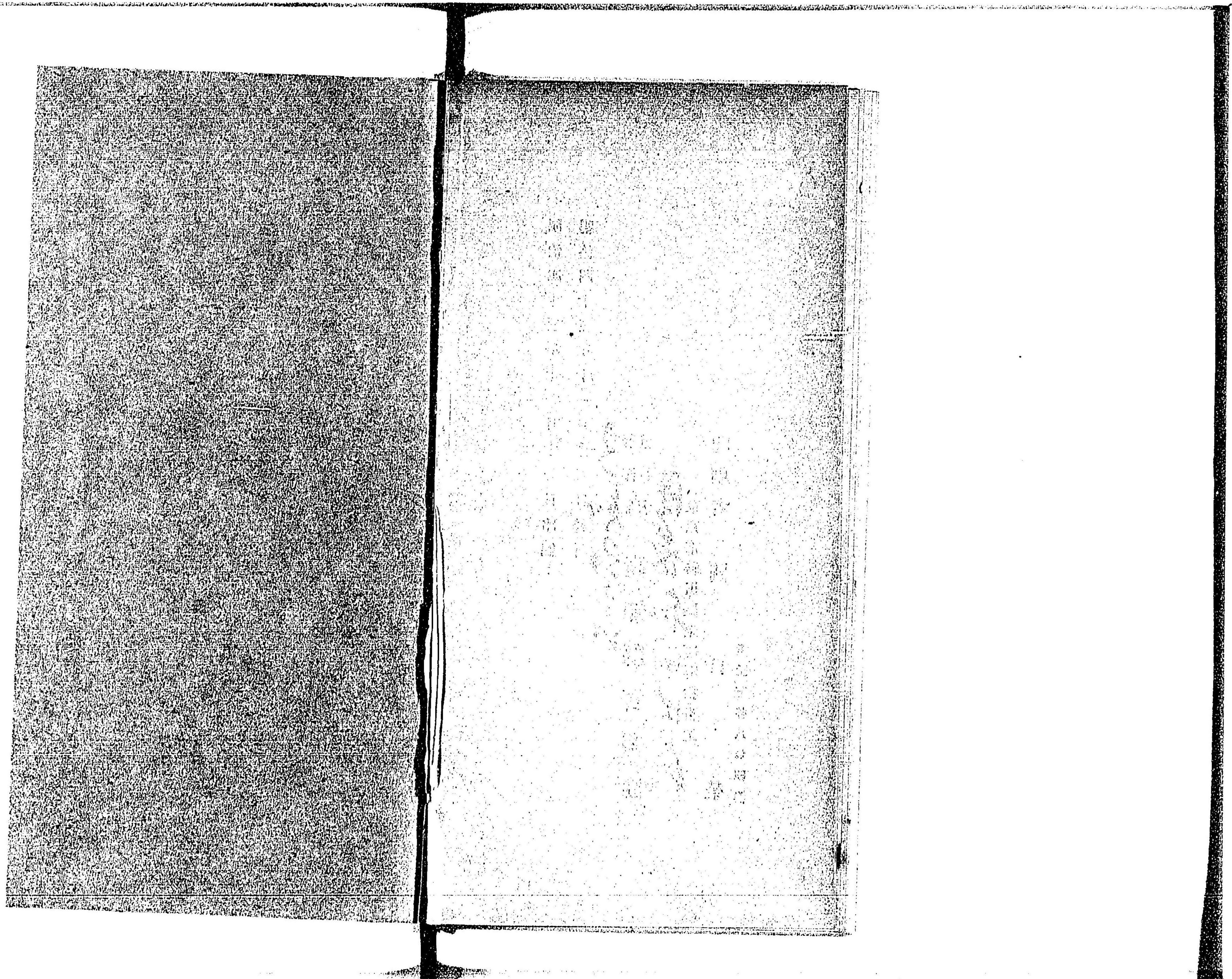
東京市神田區末廣町拾番地

印刷者 關

口

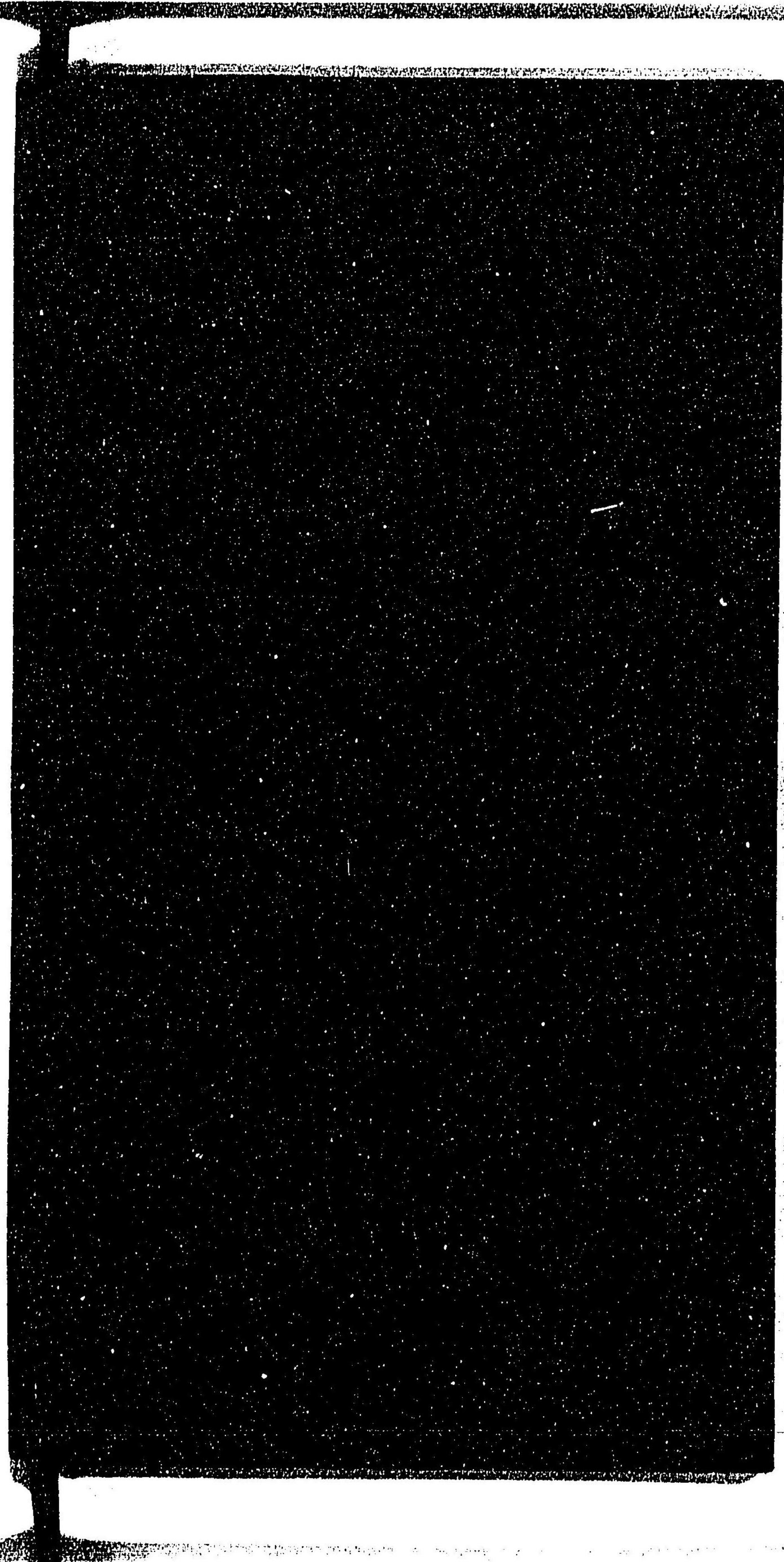
榮

電話下谷八〇四番





82  
627





026066-000-6

82-627

高知県案内

高知県実業団

M43

ADC-3719

